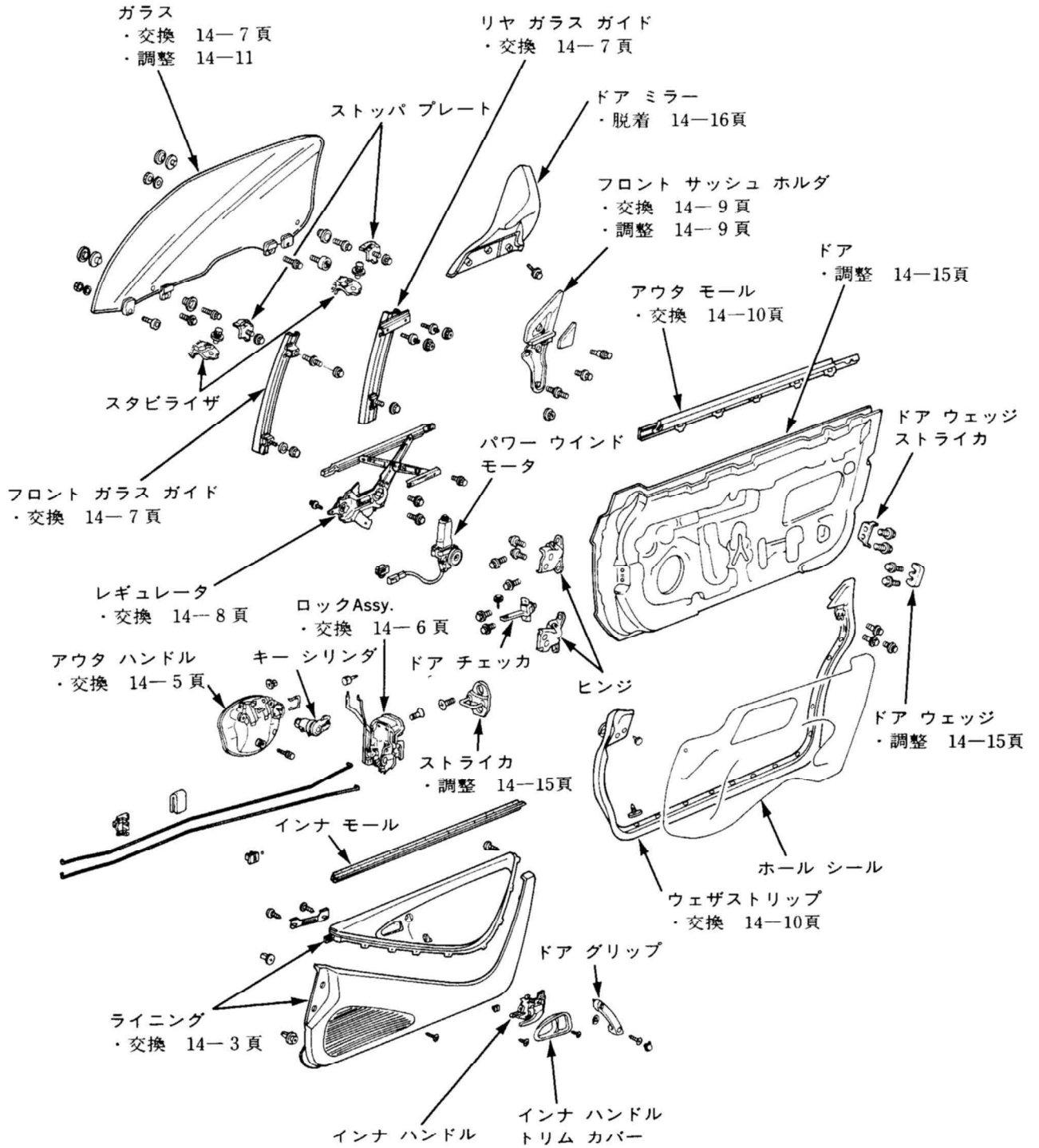


ボディ

ドア		フロント ガーニッシュ/ ウェザストリップ	14-37
展開図	14-2	カウル トップ	14-38
ライニング/ホール シール交換	14-3	インテリア ライニング/フロア マット	14-39
アウト ハンドル交換	14-5	リヤ トレイ/トランク ライニング	14-40
ロック Assy. 交換	14-6	シート 交換	14-41
ガラス/レギュレータ 交換	14-7	トリム カバー交換	14-42
フロント サッシュ ホルダの交換/調整	14-9	シート ベルト 交換	14-43
アウト モール交換	14-10	点検	14-44
ウェザストリップ交換	14-10	リヤ コンソール/ドキュメント ボックス	14-44
ガラスの建付け調整	14-11	フロント コンソール/センタ コンソール	14-45
位置調整	14-15	*インストルメント パネル 構成部品の交換	14-46
ストライカ/ドア ウェッジ調整	14-15	脱着	14-48
ミラー		バンパ	14-50
ドア ミラーの交換	14-16	ボンネット/オープナとロック	14-51
フェンダ ミラーの交換	14-16	トランク リッド	14-52
ミラー ガラスの交換	14-17	トランク リッド ロック	14-53
ルーム ミラー交換	14-17	フューエル リッド/オープナとロック	14-53
ウインド		エクステリア フィルム	14-54
展開図	14-18	トランク リッド スポイラ	14-58
フロント ウインド	14-21	エア インレット	14-58
ソフト トップ		エンブレムの貼付け	14-58
展開図	14-26	R/Lシート ベルト ベース 脱着	14-59
作業上の注意	14-27	サブ フレーム	14-62
ソフト トップ クロス取外し	14-27		
ソフト トップ クロス取付け	14-31		
ソフト トップ クロスの補修	14-33		
ソフト トップ Assy. 取外し	14-34		
ソフト トップ Assy. 取付け	14-35		
ロック/ストライカの交換/調整	14-36		

ドア

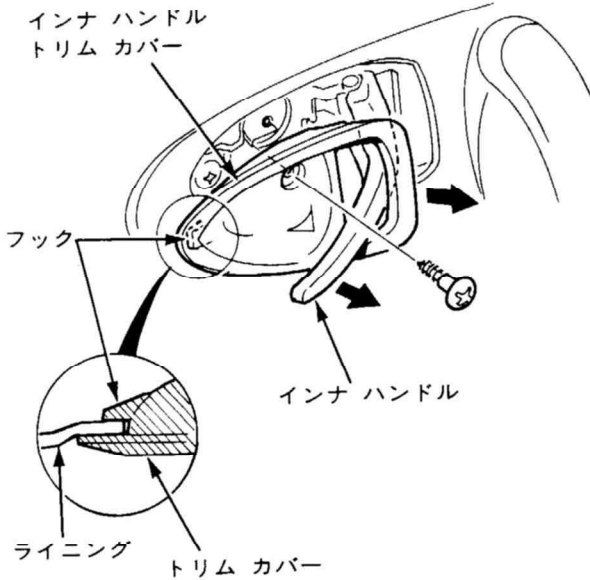
展開図



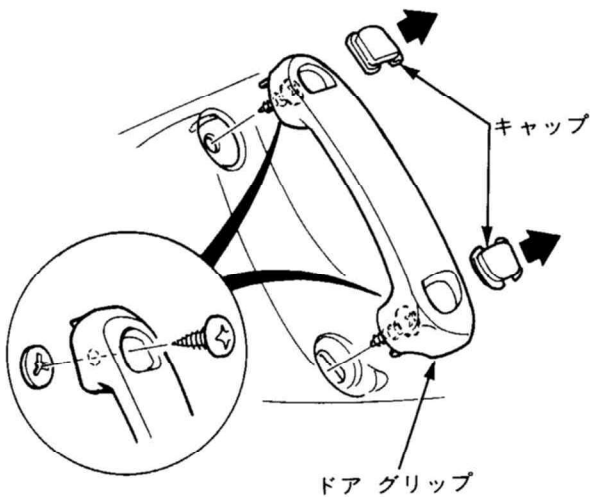
ライニング/ホール シールの交換

① 取付けスクリュー1本を外し、インナ ハンドル トリム カバーを取外す。

* ハンドルを引きながら、トリム カバーを後方へずらし、フックの接続を外して取外す。

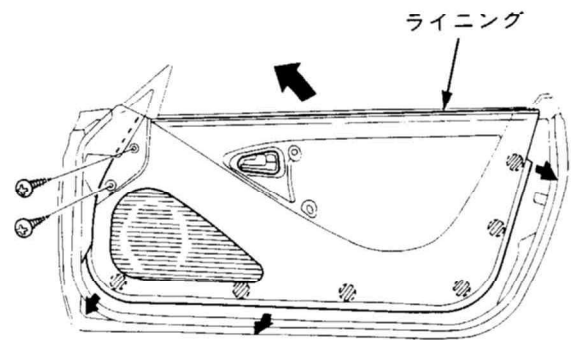
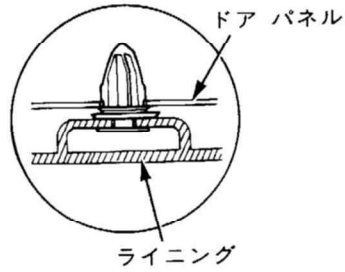


② キャップを外し、スクリューをゆるめてドア クリップを取外す。

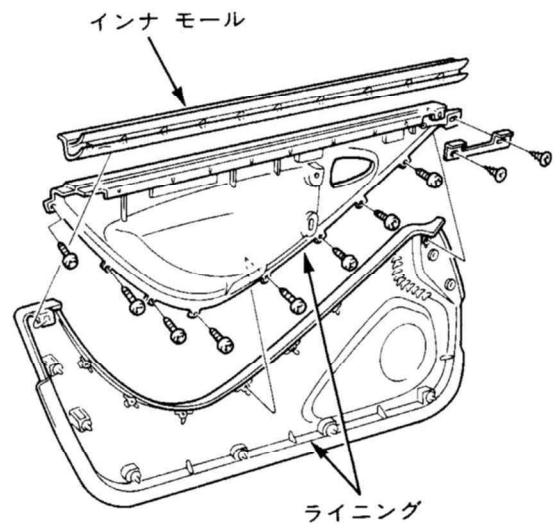


③ スクリュー2本とクリップ6箇所を外し、ライニングを上方へずらして取外す。

☉: クリップ位置



④ ライニングからインナ モールを取外す。

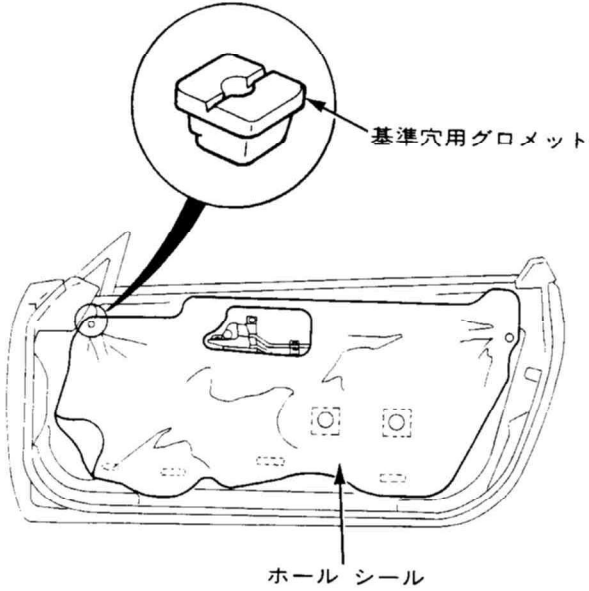


ドア

ホール シールの交換

⑤基準穴用グロメットを外し、ホール シールを破らないように注意してはがす。

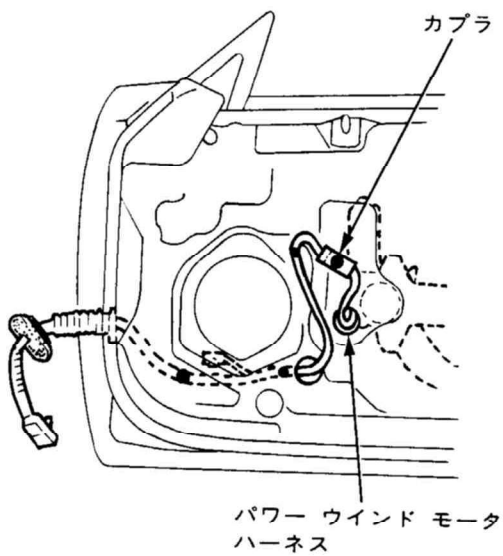
*****グロメットを外す際は、グリップ リムーバを使用すること。



⑥取付けは、取外しの逆の手順で行うが、次の点に注意して行う。

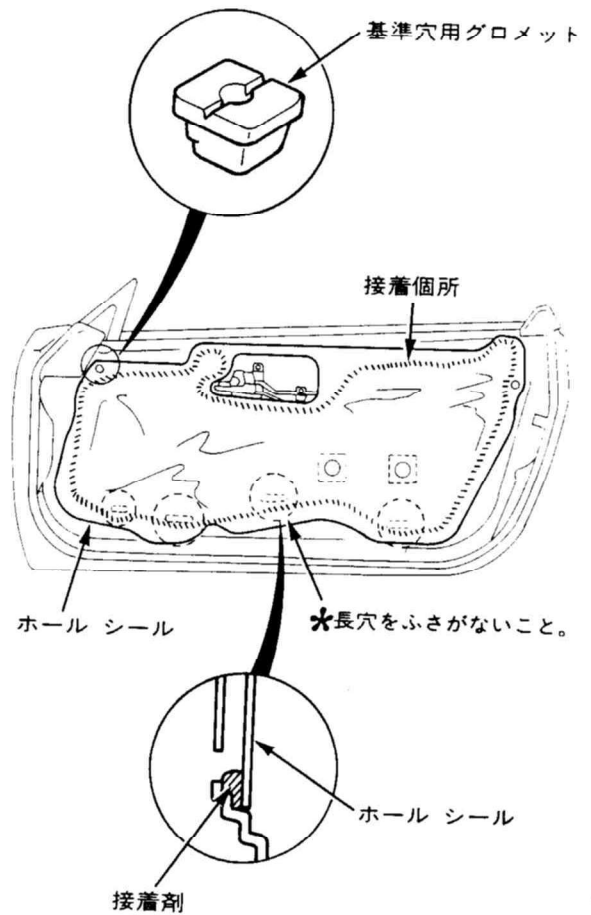
—1)パワー ウィンド モータ ハーネスおよびカブラは、ドア パネルに確実に固定すること。

●：クリップ位置



—2)ホール シールの取付けは、ほこりや水などの侵入を防ぐため、接着個所に接着剤が切れ目なく付いていることを確認してから行う。

—3)接着剤は、はみ出すほど付けすぎないこと。



アウト ハンドルの交換

★ガラスを下げる。

①下記の部品を外す。

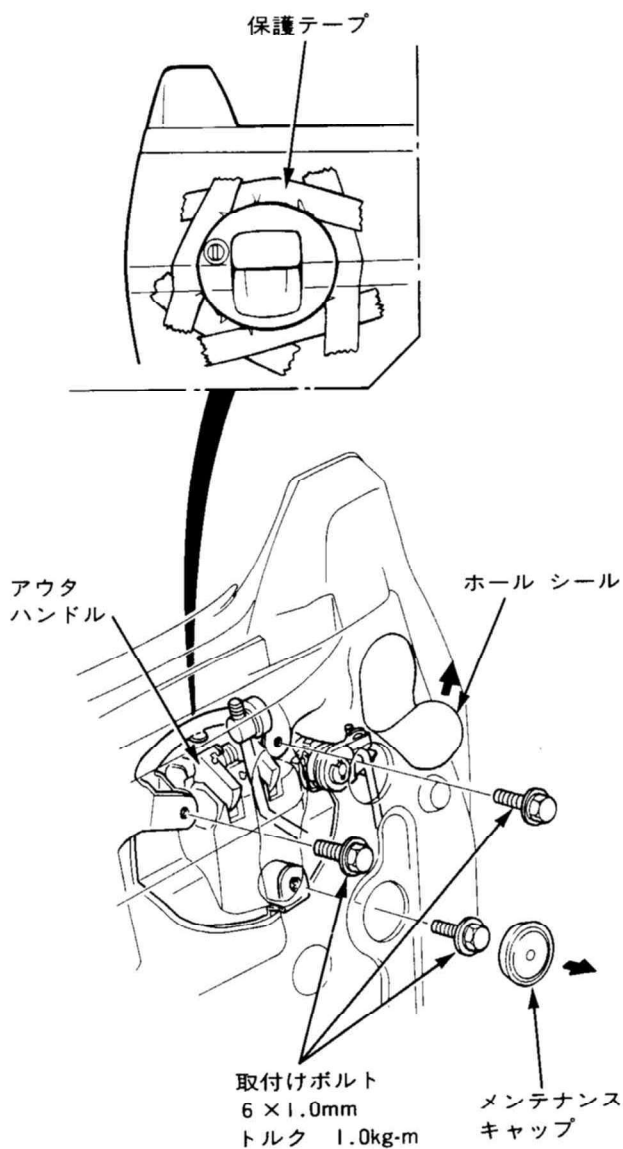
- ・ライニング(14-3頁)
- ・ホール シール(14-4頁)

②メンテナンス キャップを外し、ホール シールをめくる。

③アウト ハンドル取付けボルト 3本を外し、アウト ハンドルをドアの外側へ引き出す。

★ 傷付きを防止するため、アウト ハンドルのまわりに保護テープを貼り付けること。

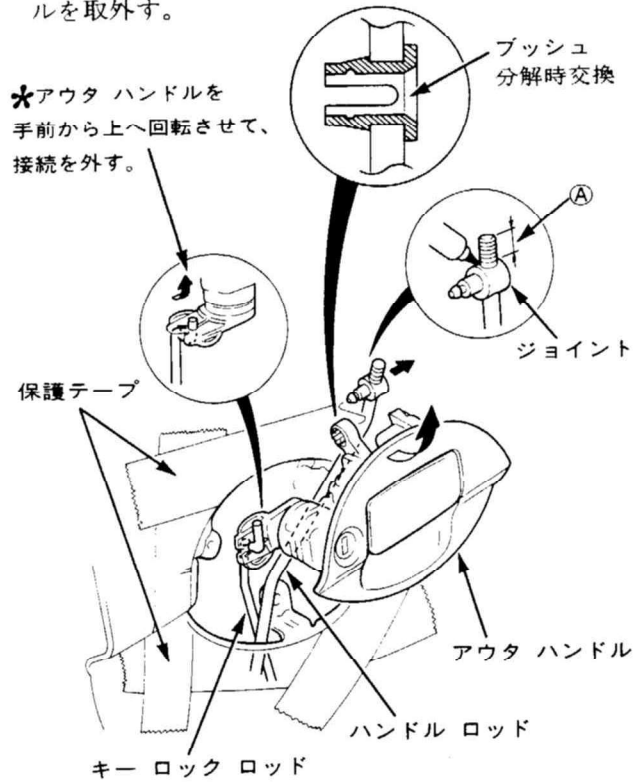
- ・ドア パネル内に取付けボルトを落とさないこと。



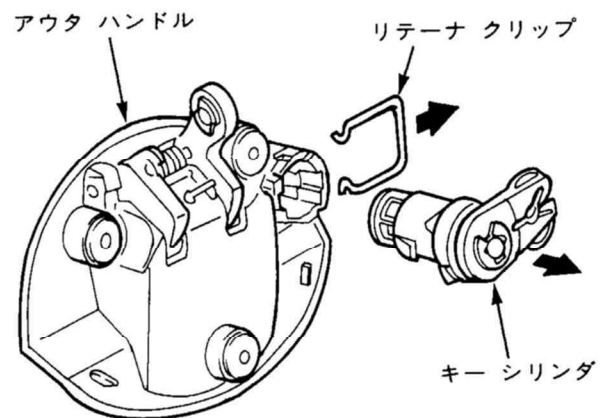
④マイナス ドライバなどで、ハンドル ロッドの接続を外す。

★ジョイントの位置(A)をロッドにマーキングし、取付けの際は、マーキングの位置でアウト ハンドルに接続すること。

⑤キー ロック ロッドの接続を外して、アウト ハンドルを取外す。



⑥リテーナ クリップを外し、アウト ハンドルからキー シリンダを取外す。



⑦取付けは、取外しの逆の手順で行う。

ドア

ロック Assy.の交換

*****ガラスを下げる。

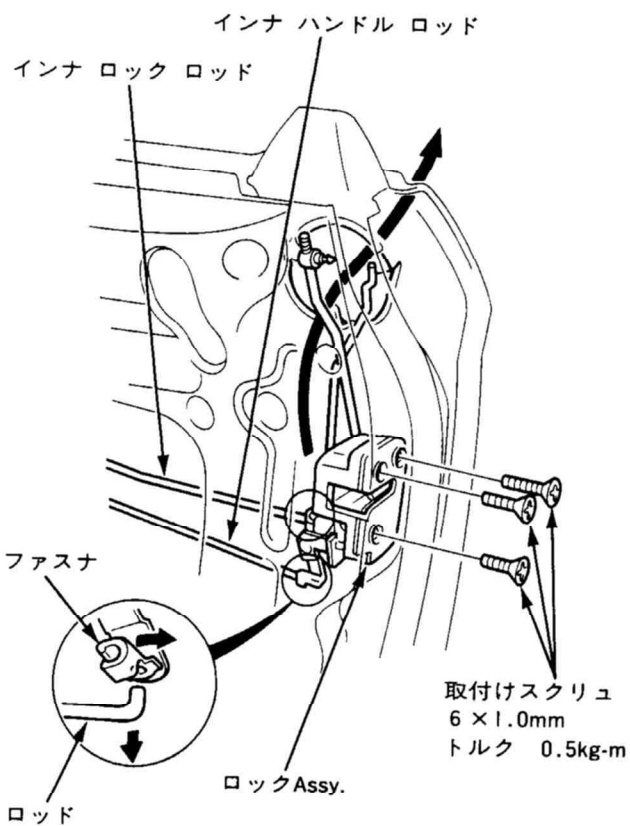
①下記の部品を外す。

- ・ライニング(14-3頁)
- ・ホール シール(14-4頁)
- ・アウト ハンドル、キー シリンダ(14-5頁)

②マイナス ドライバなどで、インナ ハンドル ロッド、インナ ロック ロッドの接続を外す。

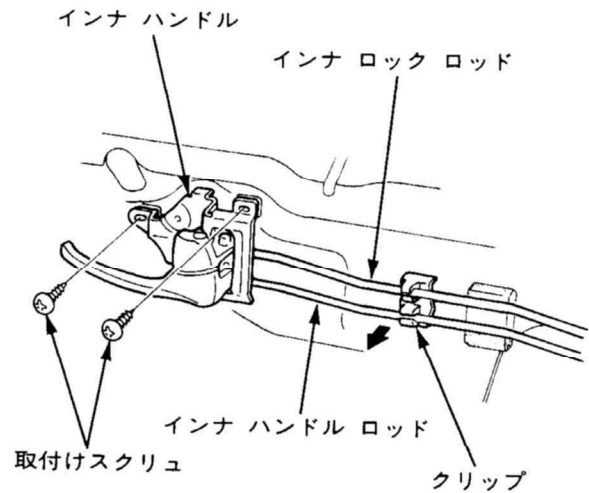
③取付けスクリュ 3本を外し、アウト ハンドルを取付けていた穴からロック Assy.を取外す。

*****ロッドを折り曲げないように取外すこと。



④取付けスクリュ 2本と、クリップの接続を外し、インナ ハンドルをロッドと共に取外す。

*****ロッドを折り曲げないように取外すこと。



⑤取付けは、取外しの逆の手順で行う。

*****ロッドがファスナで確実にロックされていることを確認すること。

ガラス/レギュレータの交換

★ガラスを下げる。

①下記の部品を外す。

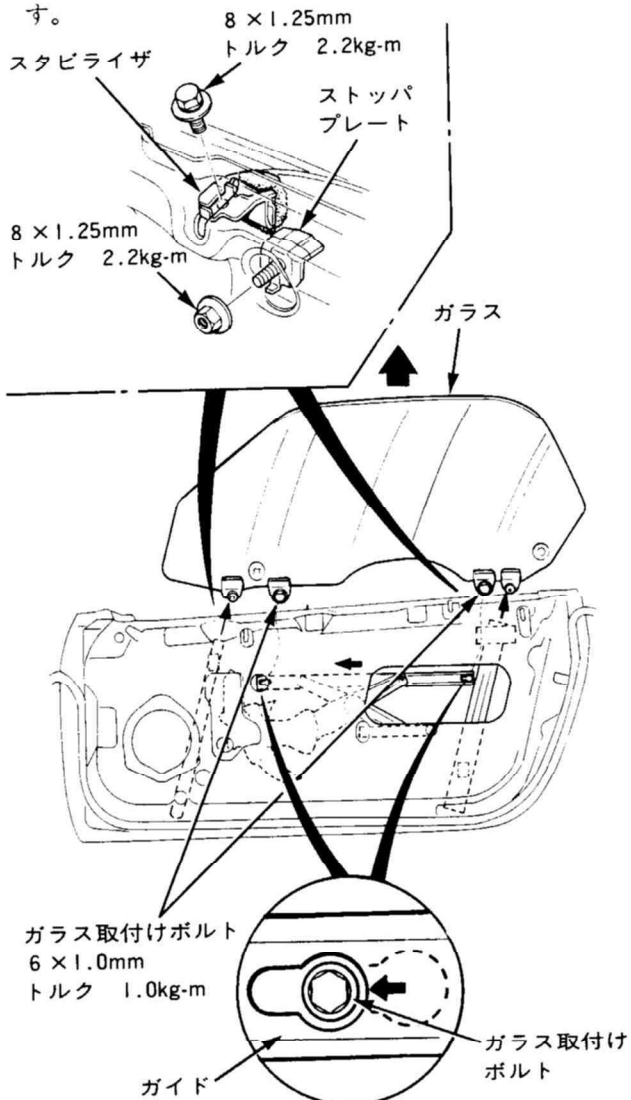
- ・ライニング(14-3頁)
- ・ホール シール(14-4頁)
- ・アウト モール(14-10頁)
- ・フロント サッシュ ホルダ(14-9頁)

②ストップ プレートとスタビライザを取外す。

★ボルトおよびナットを外す前に、ストップ プレートとスタビライザの取付け位置をドア パネルにマーキングしておく。

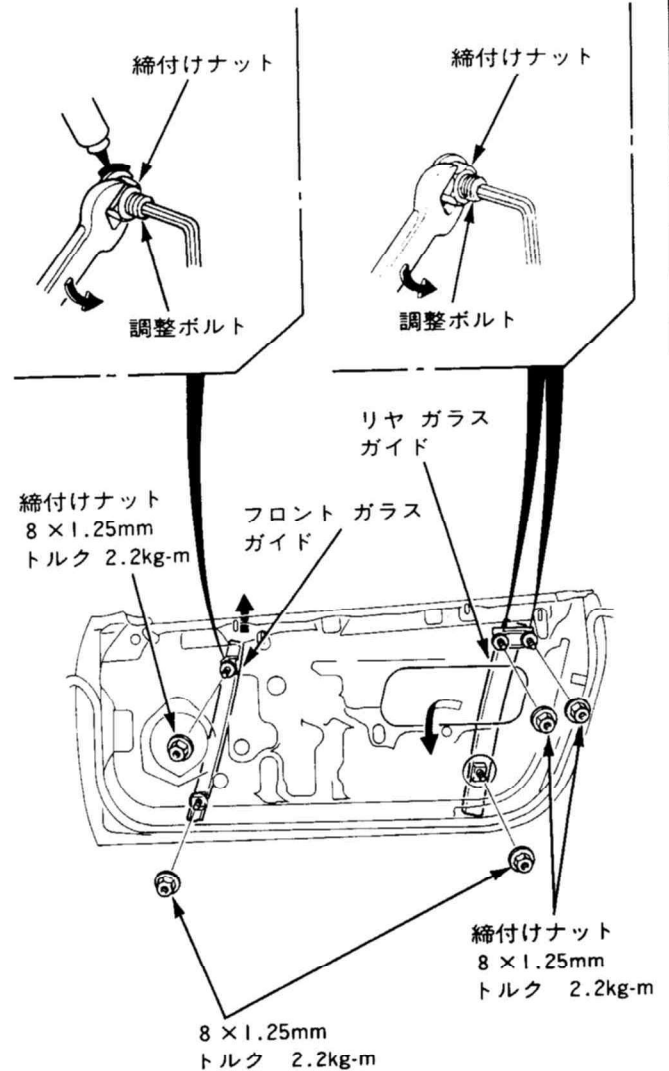
③レギュレータを動かし、ガラス取付けボルト2本がドア パネルの穴から見える位置にする。ガラスを支えながら、ボルトをゆるめる。
ガイドを前方へずらし、ガラスをガイドから取外す。

④破損させないように注意しながらドアの外側へ取外す。



⑤ナットを外し、フロントおよびリヤ ガラス ガイドを取外す。

★フロントおよびリヤ ガラス ガイドの締付けナットを外す時は、調整ボルトを回転させないようにすること。
フロント ガラス ガイドの締付けナットを外す前に、取付け位置をドア パネルにマーキングしておく。

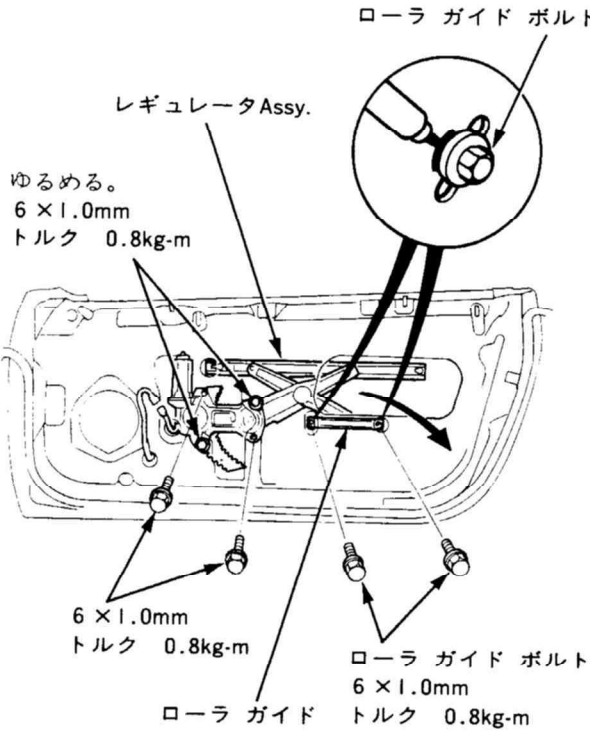


ドア

ガラス/レギュレータの交換

⑥カプラの接続を外し、取付けボルト2本をゆるめ、2本を外す。ローラガイドボルトを外し、レギュレータAssy.をドアパネルの穴から取外す。

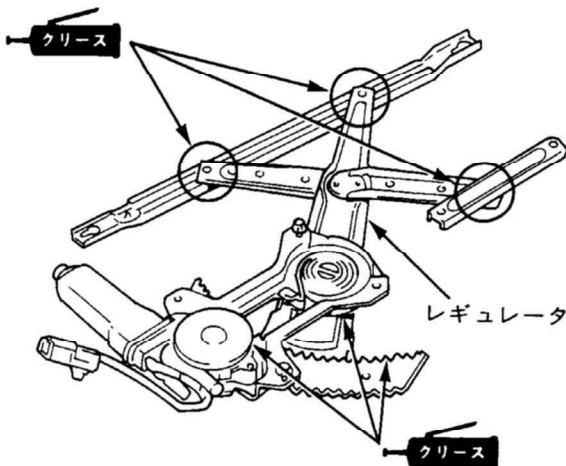
*****ローラガイドボルトを外す前に、取付け位置をドアパネルにマーキングしておく。



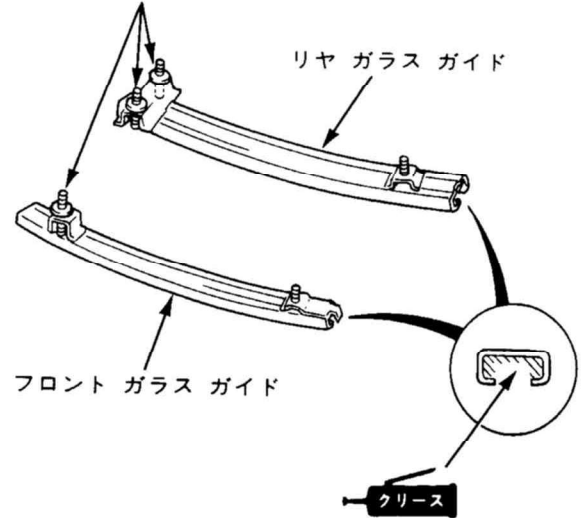
⑦取付けは、取外しの逆の手順で行うが、次の点に注意して行う。

—1)レギュレータおよびガラスガイドの各摺動部にグリースを塗布してから取付ける。

*****ギヤ部およびスライドレール部へグリースを十分に塗布すること。



*****ネジロックを塗布すること。



- 2)ガラスを完全に閉じ、ガラスとソフトトップのウェザーストリップおよびピラーウェザーストリップとの噛込み具合を点検する。
- 3)ガラスがスムーズに昇降することを確認する。
- 4)必要に応じて、ガラスの建付け調整を行う。(14—11頁)
- 5)パワーウインドモータのハーネスは、ドアパネルに確実に固定すること。(14—4頁)
- 6)ホールシールの取付けは、ほこりや水などの浸入を防ぐため、接着個所に接着剤が切れ目なく付いていることを確認してから行う。(14—4頁)

フロント サッシュ ホルダの交換/調整

★ガラスを下げる。

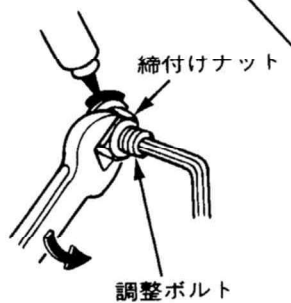
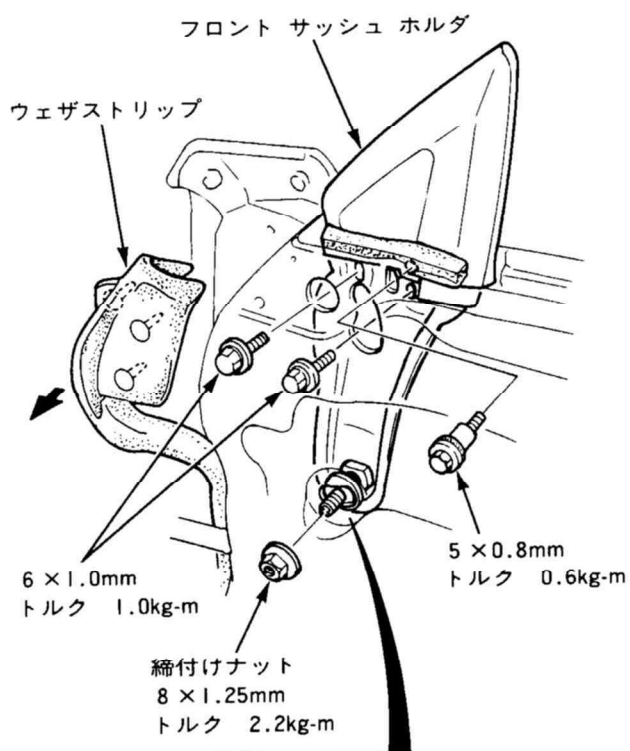
①下記の部品を外す。

- ・ライニング(14-3頁)
- ・ホール シール(14-4頁)

②ウェザストリップを必要分めくり、ボルトおよび締付けナットを外し、フロント サッシュ ホルダをひめりながら取外す。

★締付けナットを外す時は、調整ボルトを回転させないようにすること。

・締付けナットを外す前に取付け位置をドア パネルにマーキングしておく。



③取付けは、取外しの逆の手順で行うが、フロント サッシュ ホルダをセットした後、位置調整を行う。

フロント サッシュ ホルダの調整：

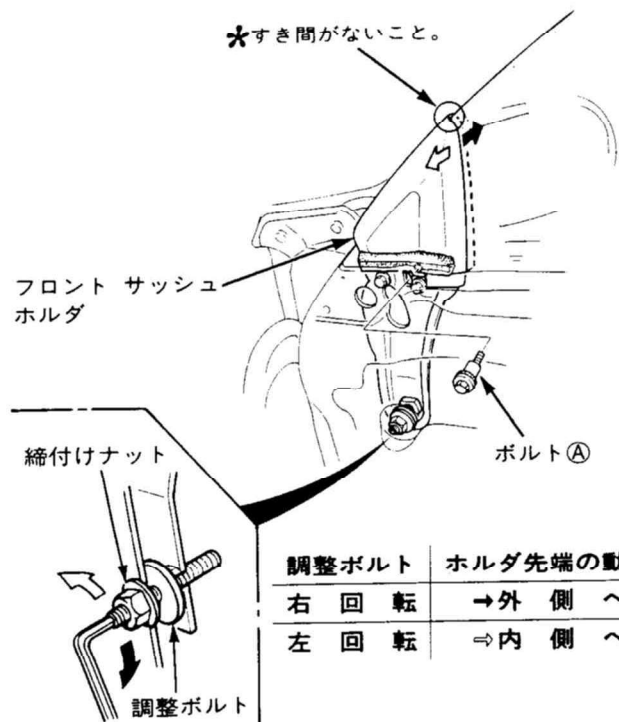
★・Ⓐのボルトを外しておく。

・ガラスを全閉状態にする。

①ボルト2本をゆるめ、締付けナットをゆるめる。

②調整ボルトでガラスの傾きにサッシュ ホルダを合わせる。

★フロント サッシュ ホルダのガラスかみ込み部にめくれ、口開きなどがないように調整すること。



③調整後、ボルトおよび締付けナットを固定する。

④Ⓐのボルトを固定する。

⑤外しておいた部品を元通り取付ける。(14-3、4頁)

⑥ドア、ガラス及びソフト トップを全閉にし、水漏れテストを行う。

注意 水をかける時は、必ずソフト トップの上方から行き、直接シール面にはかけないこと。また、ホースの先端を絞って水をかけないこと。(14-14頁)

ドア

アウト モールの交換

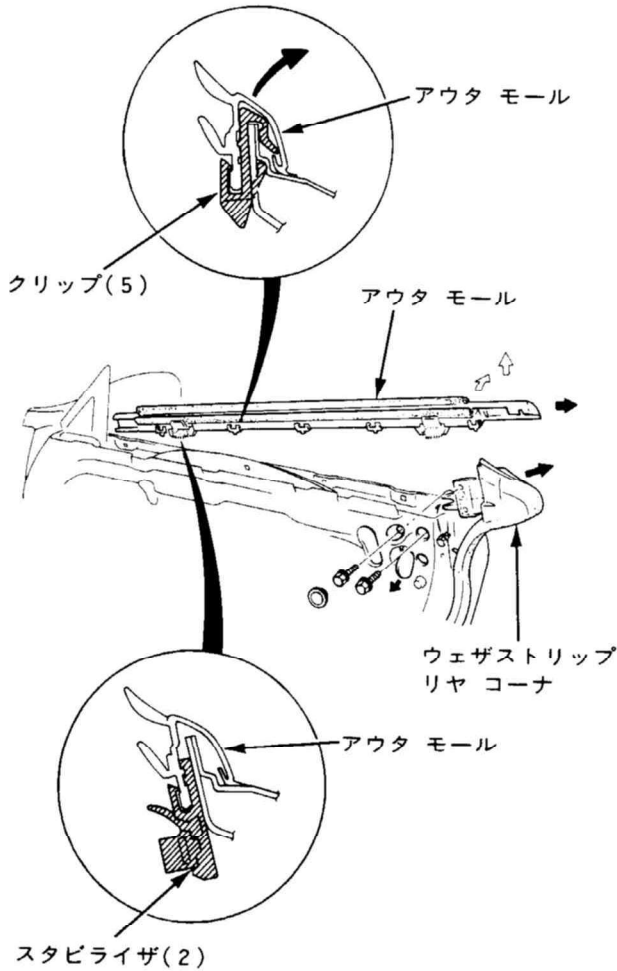
★ガラスを下げる。

- ①ライニングを取外す。(14-3頁)
- ②ウェザストリップ リヤ コーナを取外す。
- ③アウト モールのクリップ位置で、アウト モールを外側にめくりながら引上げてクリップの接続を外す。

★クリップの外しは、アウト モールの後側から手で行うこと。

- ④アウト モールを後方へ引抜いて取外す。

★壊れ、傷などを与えないように取外すこと。

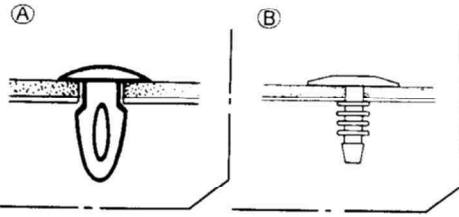


- ⑤取付けは、取外しの逆の手順で行う。

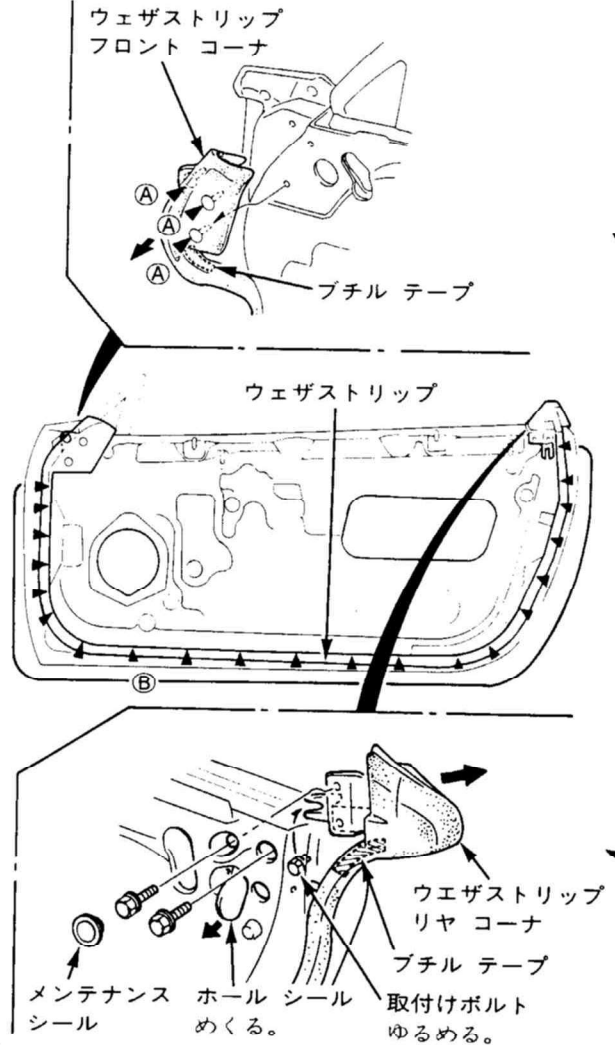
- ★ 取付けの際、クリップの損傷を点検し必要ならば交換すること。
- ・ドア ミラーの取付けボルトをゆるめ(14-16頁)、ドア ミラーを浮かしながらアウト モールを差込み、取付けること。

ウェザストリップの交換

▶：クリップ位置



★クリップを外す際、クリップ リムーバを使用し、クリップおよびウェザストリップに損傷を与えないように作業する。



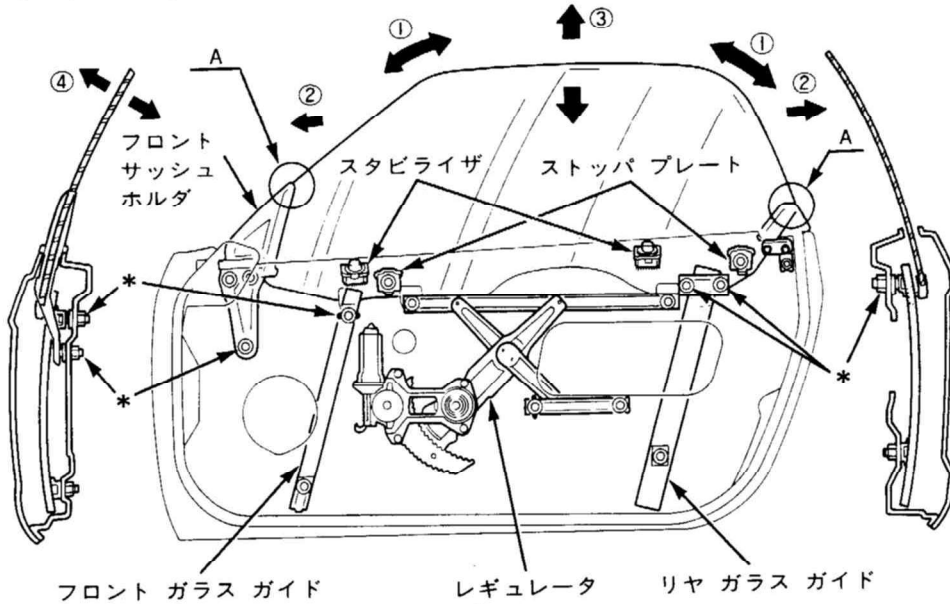
- ★ 取付けの際、ウェザストリップ各コーナの図の位置にブチル テープを使用し、浮き、壊れなどのないよう接着すること。
- ・クリップの損傷を点検し、必要ならば交換すること。
- ・取付け後、ガラス、ドア、ソフト トップを全閉にし、水漏れテストを行う。

注意 水をかける時は、必ずソフト トップの上方から行き、直接シール面にはかけないこと。また、ホースの先端を締めて水をかけないこと。(14-14頁)

ガラスの建付け調整

*：調整ボルト/締付けナットを示す。

注意 調整を行う際、フロント サッシュホルダとウェザストリップ リヤ コーナのガラスくわえ込み部先端(A)を切らないようにすること。



*・ガラスを下げる。

・ソフト トップを全閉状態にし、ロックする。

注意 ボディとドアおよびソフト トップの建付け調整を確認し、水平状態で行うこと。

①下記の部品を外す。

- ・ライニング/ホール シール(14-3、4頁)
- ・ウェザストリップ フロント コーナ(14-10頁)
- ・フロント ピラー ガーニッシュ(14-37頁)
- ・ルーフ ウェザストリップのフロント ピラー部(14-37頁)
- ・フロント ピラー トリム(14-37頁)
- ・ソフト トップ ウェザストリップ(14-30頁)

注意 ウェザストリップの損傷などを点検し、劣化の著しい物は交換すること。

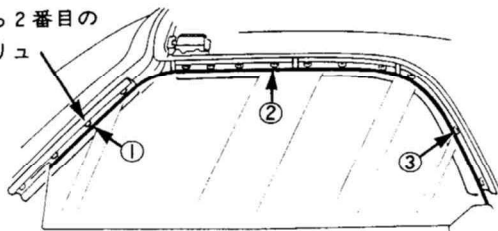
②静かにドアを閉める。(ドアをロック状態にする。)

③ガラスを上げる。

④下記の位置でガラスとリテーナの隙間("H"と"B")を測定し、記録する。

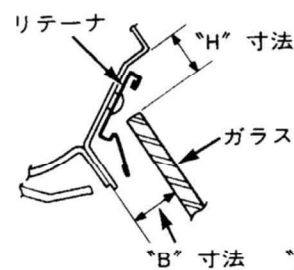
⑤基準寸法になるよう⑥~⑦の手順でガラスの建付け調整を行う。

*上から2番目のスクリュ

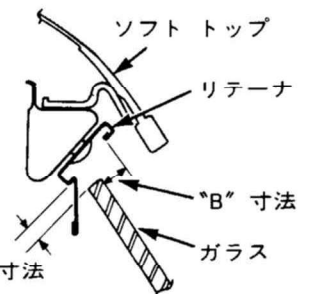


基準寸法測定位置

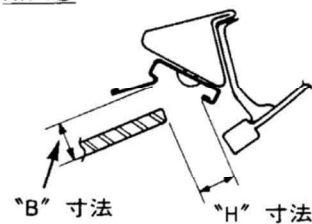
断面①



断面②



断面③



基準寸法

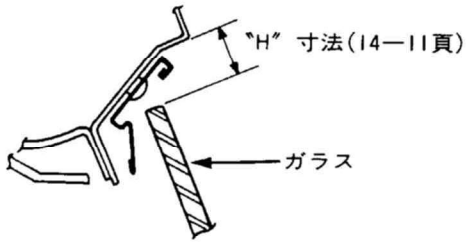
単位：mm

測定位置	①	②	③	
寸法	"H"	14 ± 1	5 ± 2	12 ± 2
	"B"	15 ± 1	8 ± 2	13 ± 1

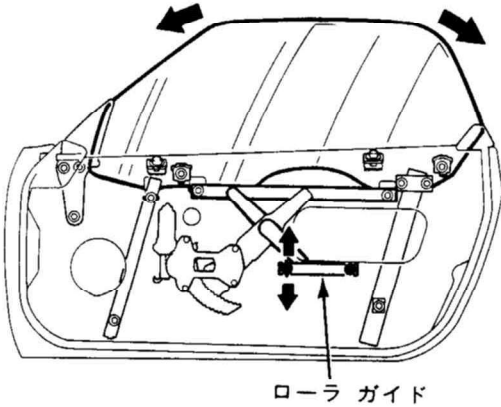
ドア

ガラスの建付け調整

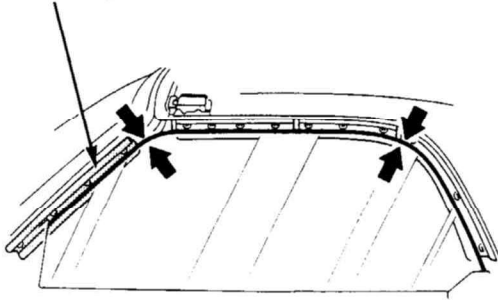
⑥ "H" 寸法の調整



- 1) ストッパ プレートの取付けナットをゆるめる。
- 2) ローラ ガイド ボルトをゆるめ、ガラスの傾きを調整し、フロント ピラーおよびソフト トップとの平行度を出す。

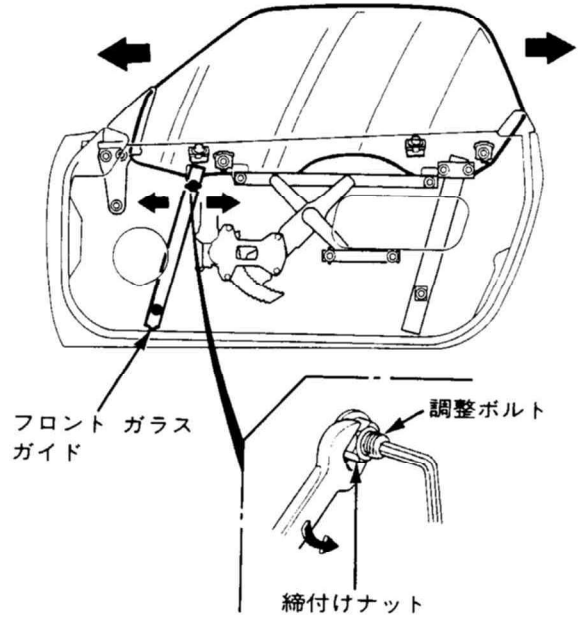


*****特に、フロント ピラー リテーナ部が一定になるように調整する。



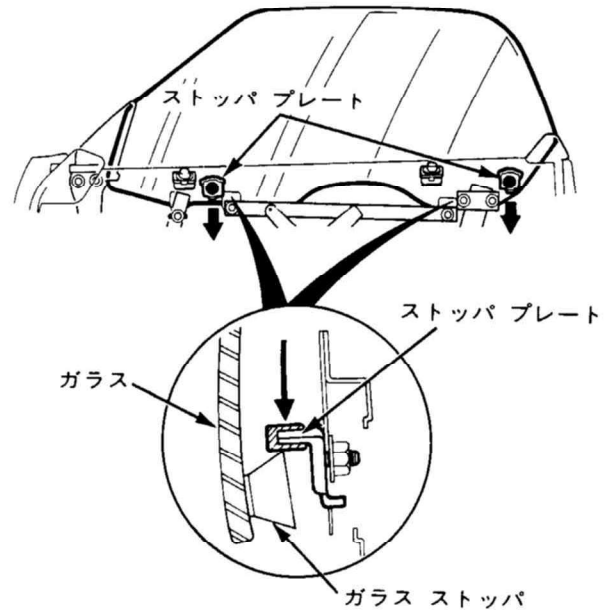
- 3) フロント ガラス ガイドの締付けナットをゆるめガラスを前後させて調整する。

*****ガラス ガイド上側の締付けナットをゆるめる時は、調整ボルトが回転しないようにすること。

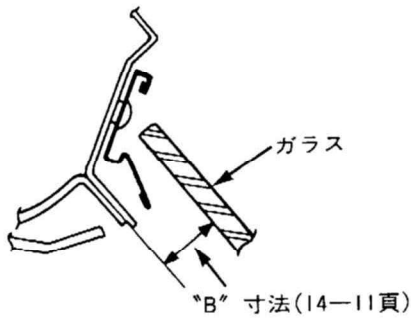


- 4) 必要ならば調整を繰り返し、全ての測定位置を基準寸法に合せ、レギュレータ、フロント ガラス ガイドを固定した後、ストッパ プレートをガラス ストッパに押し付けるように固定する。

*****ストッパ プレートは片当りのないこと。



⑦ "B" 寸法の調整

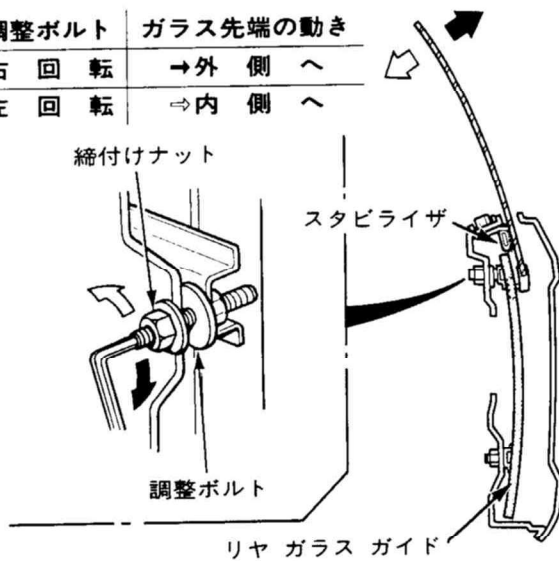


- 1) ガラスを10mm位下げる。
 - 2) ガラスを外側へ10mm位押し付けた状態で、スタビライザをガラスへ軽く押し付けて、スタビライザを固定する。
- ✳️ガラスがスムーズに昇降するか確認すること。

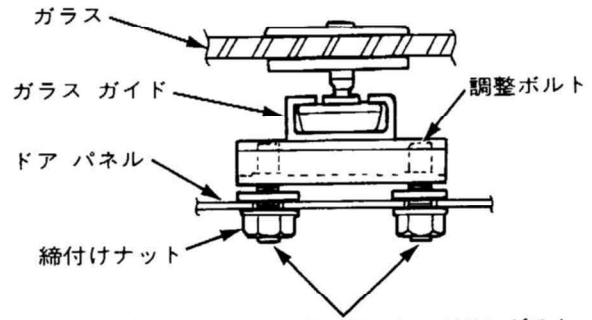


- 3) ガラス ガイドの締付けナットをゆるめ、調整ボルトで、ガラスの傾き "B" を基準寸法に合わせる

調整ボルト	ガラス先端の動き
右回転	→外側へ
左回転	⇒内側へ



- ✳️ フロントおよびリヤ ガラス ガイドの調整ボルトの調整量は、同一にすること。
- ・前後の調整ボルト各2本は同じ量づつ同方向へ回し、ガラス ガイドのブラケットはドア パネル座面に対して平行に移動させて調整すること。
- ・締付け後、ガラスを昇降させ、スムーズに作動するか確認すること。



- ✳️ 調整ボルトの出代が異ると、ガラスがスムーズに昇降しないため、調整量は同一にすること。

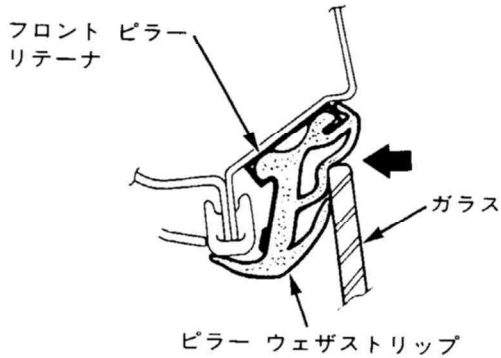
- 4) ガラス全体を落ち着かせて、測定位置が基準寸法であることを確認する。
- ✳️ 必要ならば調整を繰り返し行い、必ず基準寸法に合わせることを。
- ・基準寸法測定位置①(14-11頁)のフロント ピラーリテーナ部の寸法が、特に一定になるように調整すること。
- 5) ガラスがスムーズに昇降するか、作動確認を行う。

ドア

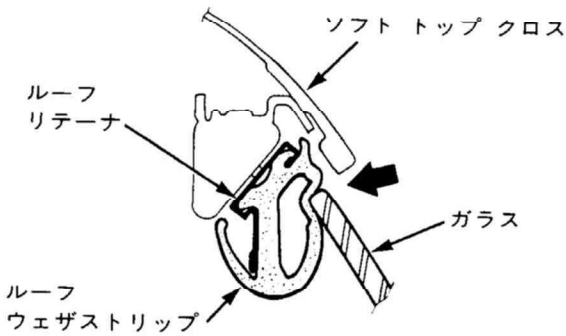
ガラスの建付け調整

- ⑧立付け調整完了後、ガラスを下げ、ウェザーストリップを元通り取付ける。
- ⑨ガラスを全閉にして、ガラスとウェザーストリップの噛込み具合を目視で点検する。
*確認位置は、14-11頁参照。

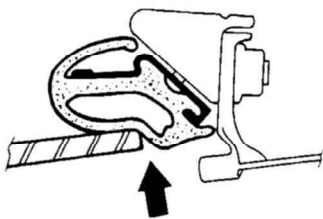
断面①



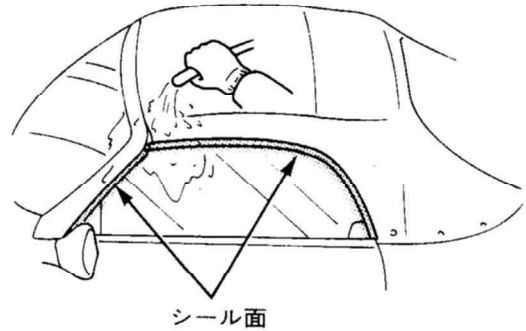
断面②



断面③

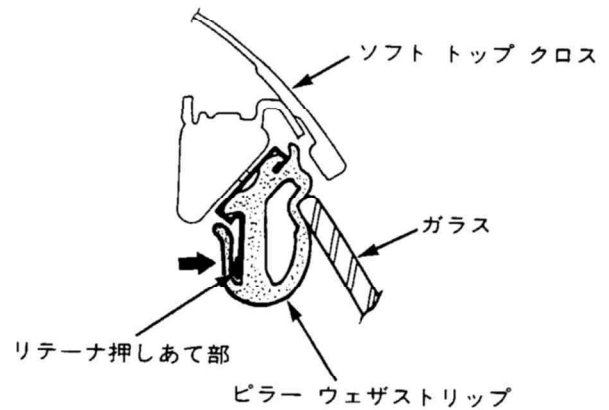


- ⑩ホール シールを貼付け、ライニングを元通り取付ける。(14-3、4頁)
- ⑪ドアおよびガラスを全閉にし、水漏れテストを行う。
注意 水をかける時は、必ずソフト トップの上方から行き、直接シール面にはかけないこと。また、ホースの先端を絞って水をかけないこと。
*ソフト トップ ルーフからのつたい水が室内に入らない事を確認すること。



・水漏れテストの際、フロント ビラー部から水漏れがなく、ソフト トップ側からのみ水漏れがある場合は、リテーナの押しあて部を修正する。

注意 リテーナは、一度に修正しすぎないこと。



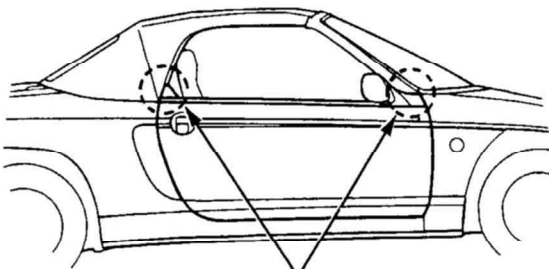
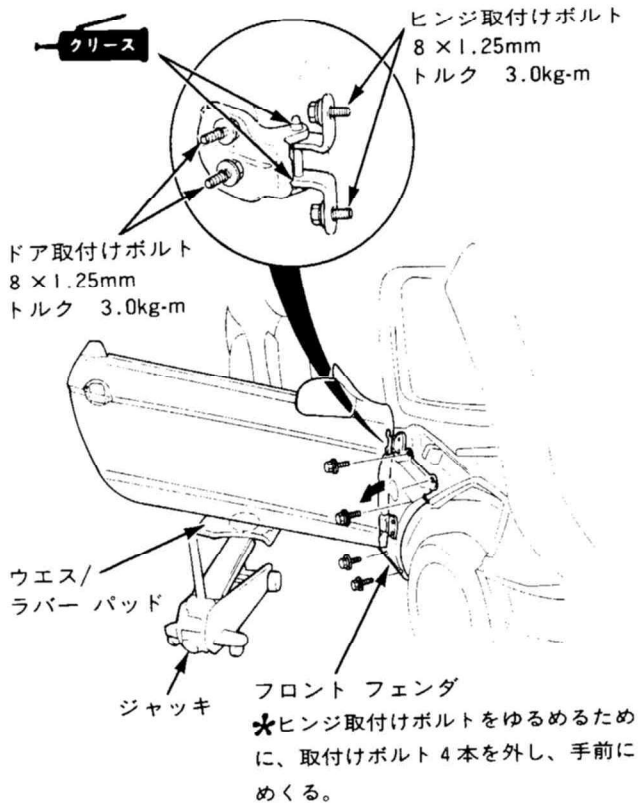
位置調整

取付け後、ドアとボディの段差、ドア下りの有無および見切り、隙間を点検し、不良の場合はドア側のヒンジ取付けボルトをゆるめて調整する。

ドアの閉まり具合が良くない場合は、ストライカを調整する。

★ドア位置の調整を行う際、ドア中央をジャッキで支え、他の人にドアをおさえてもらう。

注意 ヒンジ取付けボルトをゆるめる際、外傷防止のため、ジャッキとの接触部にウエスおよびラバーパッドなどを用いること。



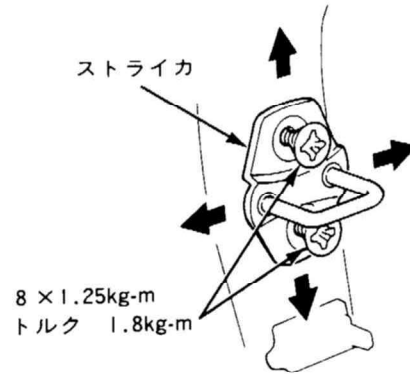
★調整後、水漏れテストを行うこと。

注意 水をかける時は、必ずソフトトップの上方から行き、直接シール面にはかけないこと。また、ホースの先端を絞って水をかけないこと。(14-14頁)

ストライカ/ドア ウェッジの調整

ストライカの調整：

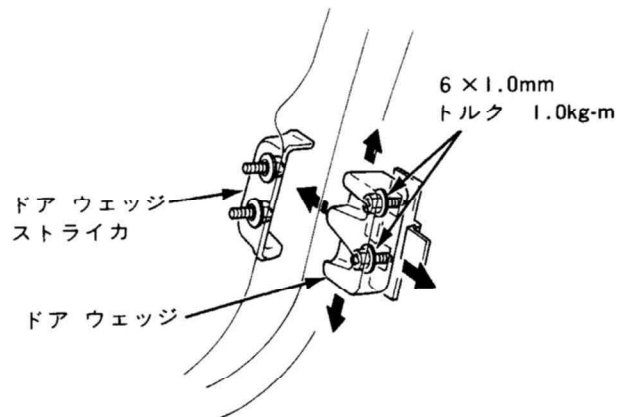
- ① ドア ウェッジを取外す。
- ② 締付けスクリュをゆるめて、ストライカを室内側に移動して締付けスクリュをストライカが動かない程度に軽く締付ける。



- ③ アウタハンドルを持ち、ロック解除の状態では軽く閉めて、ロックとストライカの当たりを確認する。
- ④ 当たりなくスムーズにドアが閉まったら、ドア外板とフェンダなどに段差がないことを確認して、ストライカの締付けスクリュを本締めする。
- ⑤ ドアを閉めて、ドアのガタおよび閉まり具合を確認する。
- ⑥ ドア ウェッジを取付け調整を行う。

ドア ウェッジの調整：

- ① 締付けスクリュをゆるめて、ドア ウェッジが動かない程度に軽く締付ける。



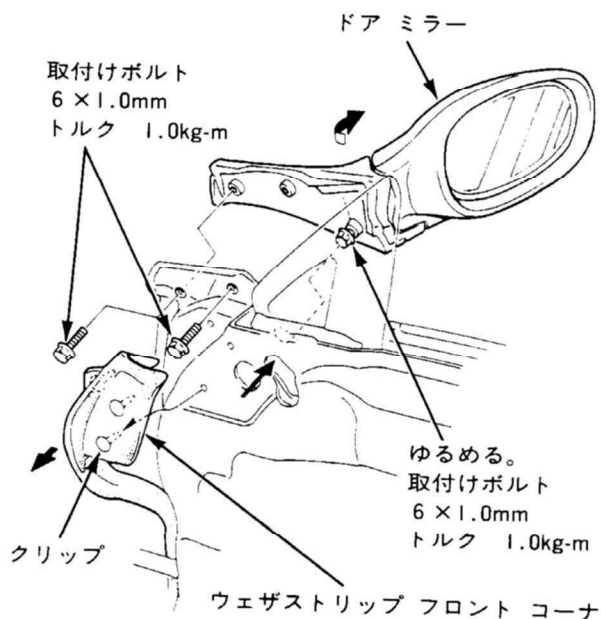
- ② ドアを軽く閉めて、ドア ウェッジとドア ウェッジ ストライカの当たりを確認する。
- ③ 当たりなくスムーズにドアが閉まったら、ドア ウェッジの締付けボルトを本締めする。

ミラー

ドア ミラーの交換

*****ガラスを下げる。

- ①ライニングを取外す。(14-3頁)
- ②クリップを外し、ウェザーストリップ フロント コーナをめくる。
- ③取付けボルト 2本を外し、片方の手でドア ミラーを支えながら、取付けボルト 1本をゆるめる。
- ④ドア ミラーを前方へずらして取外す。



- ⑤取付けは、取外しの逆の手順で行う。
取付け後、ドア ミラー内側のシール材がドアに密着しているか確認する。

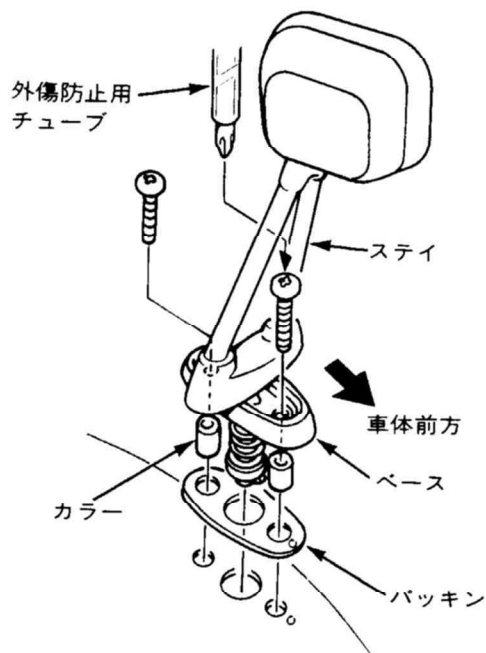
フェンダ ミラーの交換

- ①フェンダ ミラーのステイを90°回転させる。

*****回転させる時は必ずステイ部を持って行うこと。

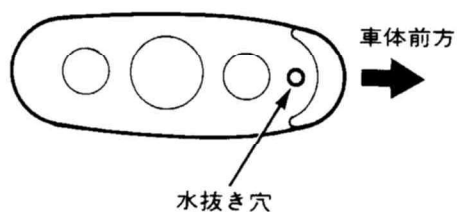
- ②スクリュを外し、フェンダ ミラーを取外す。

*****フロント側スクリュを外す際、ミラー ステイの間から行うため、ドライバには外傷防止用チューブを使用すること。



- ③取付けは取外しの逆手順で行う。
取付け後、ベースのパッキンがボディに密着しているか確認する。

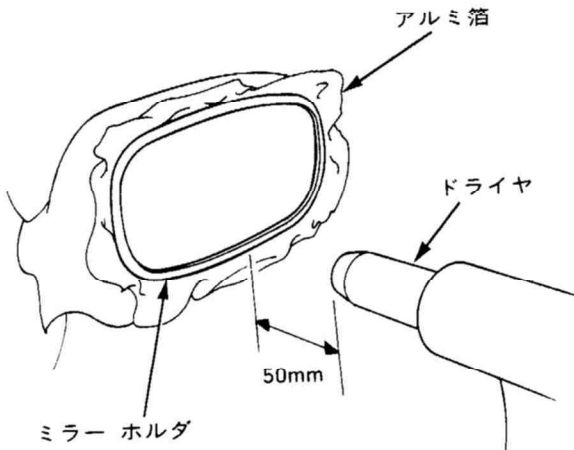
*****取付けの際、水抜き穴が車体前方側になるように取付ける。



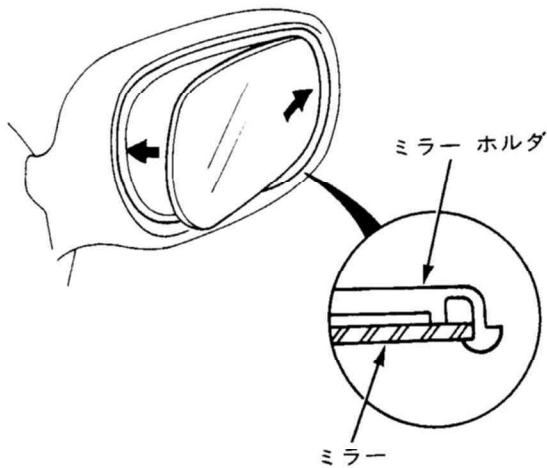
ミラー ガラスの交換

注意 ミラーの交換は必ず手袋を着用すること。

- ①ミラーハウジングをアルミ箔で断熱する。
- ②ミラーホルダの全周を800~1000Wのドライヤで2~5分間加熱する。
*ミラーホルダとドライヤの間を50mm位離すこと。

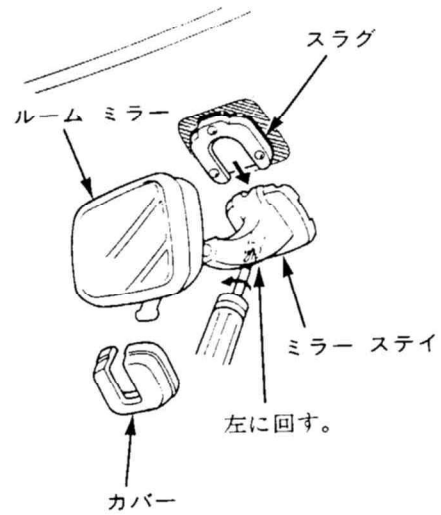


- ③ミラーをミラーホルダに取付ける。
*巾のせまい方から取付けること。

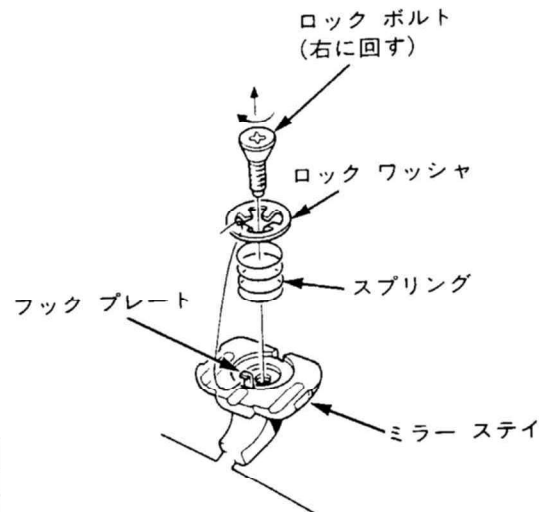


ルーム ミラーの交換

- ①マイナスドライバを使用して、カバーを外す。
*マイナスドライバにテープを巻いて傷付きを防止すること。
- ②スクリュをゆるめ、ミラーを下にずらしてスラグから抜取る。
注意 ミラーステイ部を持って徐々にずらすこと。



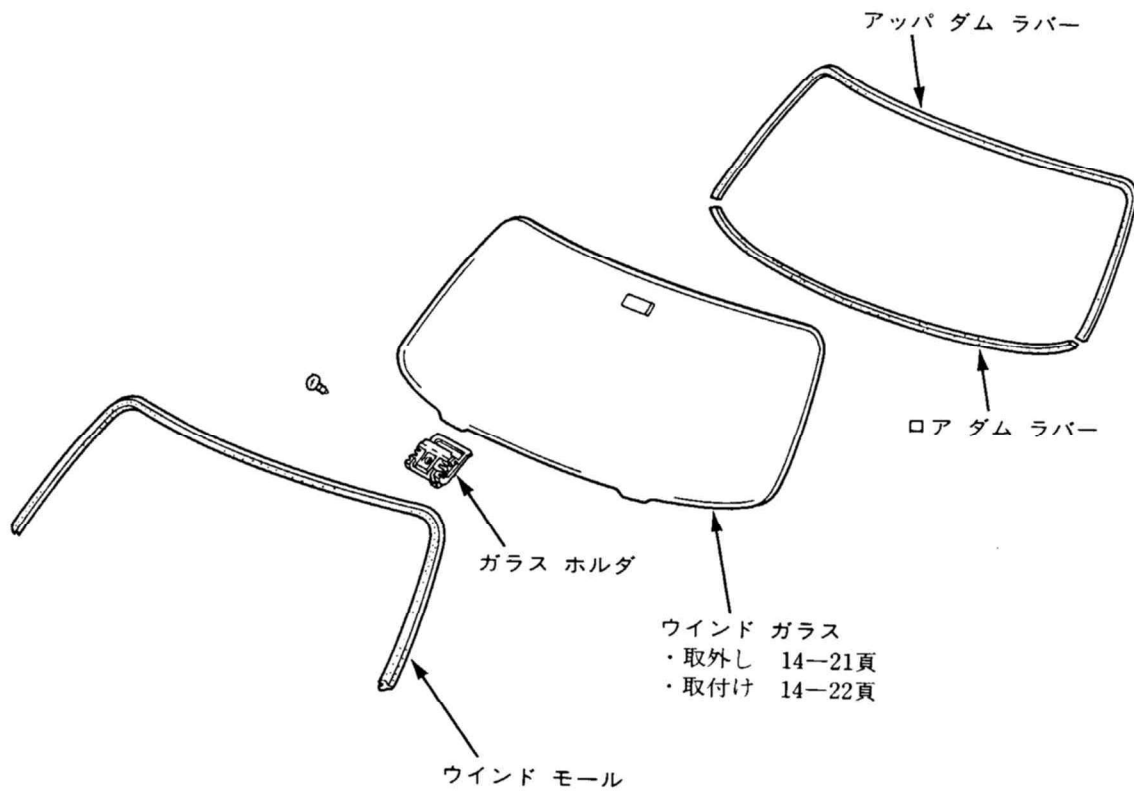
- ③ロックボルトを外し、ロックワッシャとスプリングをミラーステイから取外す。



- ④取付けは、取外しの逆手順で行う。

ウインド

展開図



割れたガラスの処置

ガラスの破片は、掃除機などで完全に取除く。

接着剤でボディに付いている部分は、カッタなどで接着剤を切断して取除く。

ヒータ内のガラス破片は、下記の要領で取除く。

注意 エア吹き込み時、ガラスの破片が飛び散るので、目に入れたり皮膚を傷付けないように防具を身に付けること。

①ヒータ コントロールを内気循環にし、吹き出し口を(HEAT/DEF)に切替える。

②シートを取外して破片をたたき落とす。(14-41頁)

③フロア マットを取外し破片をたたき落とす。(14-39頁)

④圧縮エアをデフロスタ出口より吹き込む。

⑤足元出口から、掃除機などを用いて破片を吸取る。

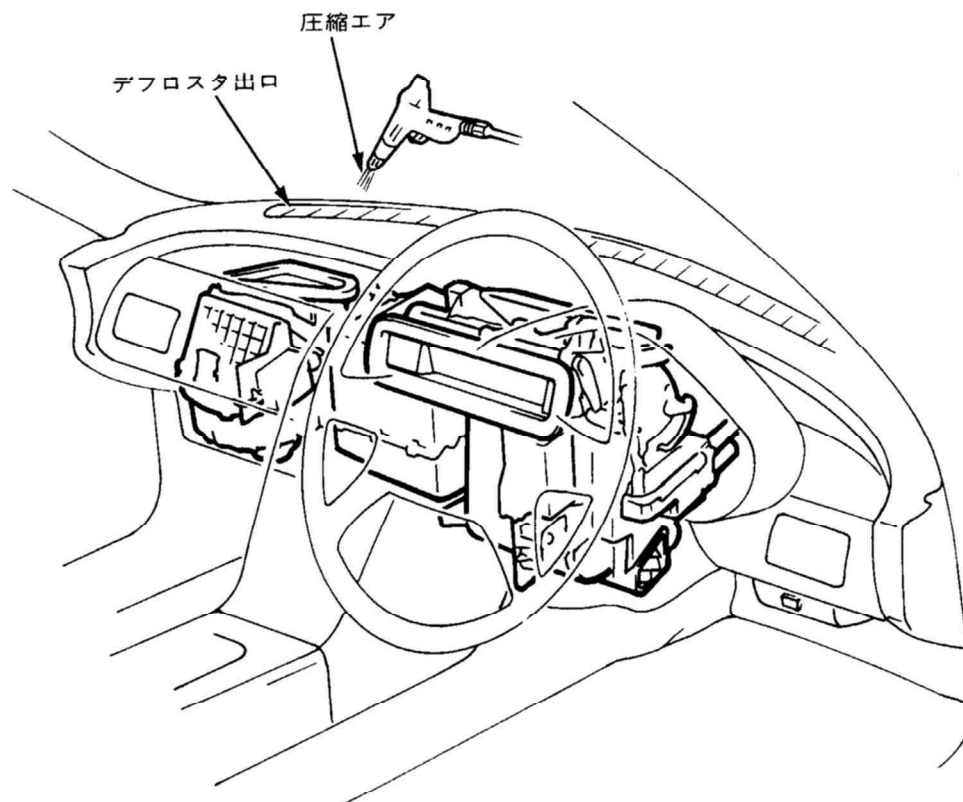
⑥上記作業にて取除くことができない場合は、インストルメント パネルを取外す。(14-48頁)

注意

・SRSエアバッグ システム用のワイヤ ハーネスは特性の黄色の保護チューブが巻かれており他のシステム ハーネスと区別している。

・SRSエアバッグ システムのワイヤ ハーネスに損傷、切損などが生じた場合、ハンダなどの修理を行ってはいならない。必ず新品と交換する。

⑦取外した部品を元通りに取付ける。



ウインド

接着剤

接着剤の種類

接着剤セット品番	セットの内容	備考
低温用・08718-99960 高温用・08718-99961	主 剤 (500g) 硬 化 剤 (75g) ガラス プライマG (20g) ボディ プライマM (20g) ピアノ線 (0.6φ×1m) ガーゼ カートリッジ スポンジ	ガラス プライマG拭き取り用 接着剤充てん用 プライマ塗布用

★プライマは接着効果を高める為の重要な働きをするものであり、ボディ用とガラス用の2種類を使用する。

注 意

- ・プライマは指定品を使用し混用は絶対にしないこと。
- ・接着剤は製造日より6ヶ月を過ぎると性能が低下するので使用しないこと。(接着剤に製造年月日を明記してある。)
- ・プライマと接着剤は冷暗場所に保管する。
- ・プライマと接着剤は使用時間以外開封してはならない。

準備品

準備品の内容	備 品
ガラス板または鉄板 パテヘラ シーラント ガン 吸引ゴム盤 作業用カッター ナイフ キ リ ラジオ ペンチ 無鉛ガソリンまたはアルコール	主剤と硬化剤の混合用 主剤と硬化剤の混合及び接着剤の補修用 接着剤の塗布用 ウインド ガラス保持用 接着剤の仕上げ用 ピアノ線通し穴あけ用 ピアノ線貫通用 接着面清掃用

使用可能時間

接着剤の使用可能時間は環境温度(作業場の温度)によって大きく異なるため、環境温度によって接着剤(高温用、低温用)を使い分けることが必要である。

作業時間

主剤と硬化剤を混合してから、ボディへガラスを接着するまでの時間は最低30分程度を必要とするが、図を参考に接着剤の使用可能時間内に作業を終えること。

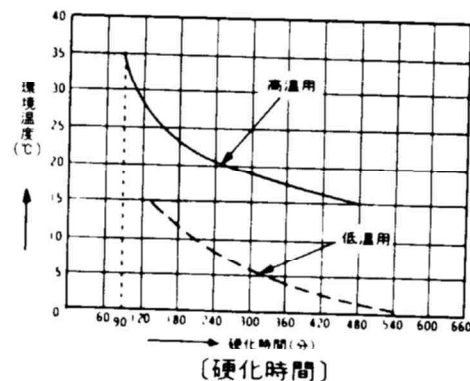
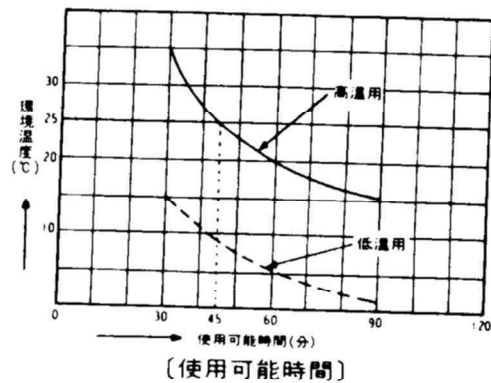
例 環境温度が25℃の場合に、接着剤の高温用を使用して45分以内に作業を終えること。

硬化時間

硬化時間は接着剤の高温用、低温用とも、環境温度が低い程長い時間を必要とするが赤外線ランプなどを使用して加温することにより、硬化時間の短縮をすることができる。

例 接着剤(高温用)を使用した場合、環境温度20℃で自然放置すると硬化するまで約270分を必要とするが、表面温度を35℃に加温することにより約90分に短縮が可能である。

注 意 温度を上げすぎると接着剤が発泡したりするので表面温度は必ず50℃以下にすること。



フロント ウインド

取外し

注意 ガラスの脱着は、手袋を着用して行う。

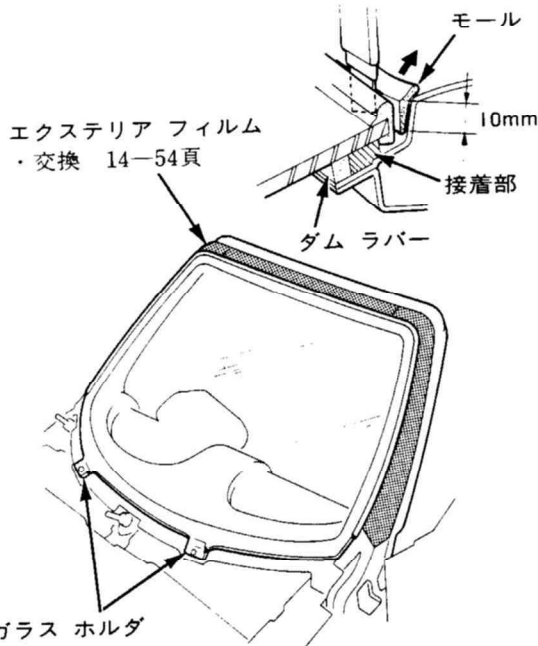
①作業をしやすく、また装備品の損傷を防止するための部品をあらかじめ取外す。

- ・フロント オープニング トリム
- ・フロント ピラー ガーニッシュ(14-37頁)
- ・ルーム ミラー(14-17頁)
- ・サン バイザ、ホルダとフロント ルーフ ガーニッシュ
- ・フロント ワイパ アームとカウル トップ(14-38頁)

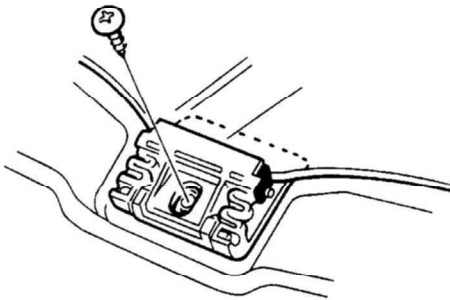
注意 フロント シートに汚れや傷を付けないようにカバーすること。

②ウインド モールをカットする。

注意 ボディ側のエクステリア フィルム(黒色)に傷を付けないように行うこと。



③スクリュを外し、ガラス ホルダを取外す。

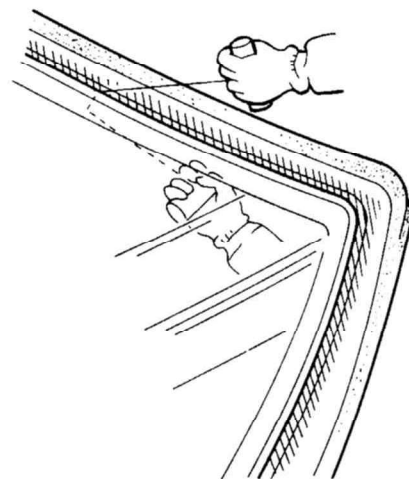
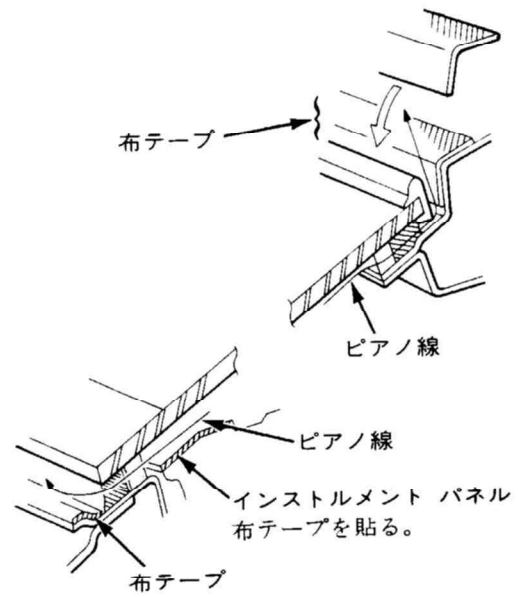


④ボディ側に傷付き防止用の布テープを貼る。

⑤室内側からピアノ線を通し、両端に木片などを結ぶ。

⑥ピアノ線を交互に引きながら移動させて接着部を切離す。

注意 特にボディ側エクステリア フィルム(黒色)の範囲は確実に保護すること。また、切離す際は、ピアノ線をできるだけウインド モールに沿って移動させ、ボディ、およびインストルメント パネルへの傷付きを防ぐこと。また、ピアノ線を使用できない箇所は室内側よりカッタ ナイフなどで接着部を切離す。



フロント ウインド

取付け

①ボディ側に固着している接着剤を、ナイフなどで削り、表面が滑らかで傷が残らないように、全周を約2mmの厚さに仕上げる。

***** ナイフなどで接着面を仕上げる際には、ボディのフランジ部の塗装面に傷を付けると、ガラスの接着性能に影響するので、傷付けた場合は当該個所に焼付け塗装する必要があります。(自然乾燥では完全な接着はできない)。

・ボディのフランジに焼付け塗装をする場合は、周辺の接着剤表面に塗料を付着させないようにマスキングを行うこと。

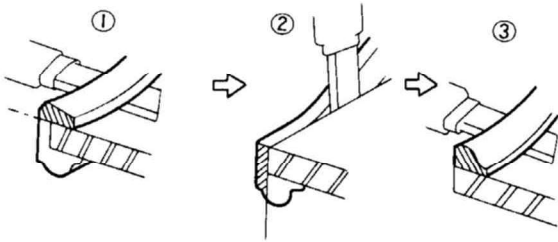
・ダム ラバーは完全に除去すること。

②ボディ側接着面を無鉛ガソリンまたはアルコールで清掃する。

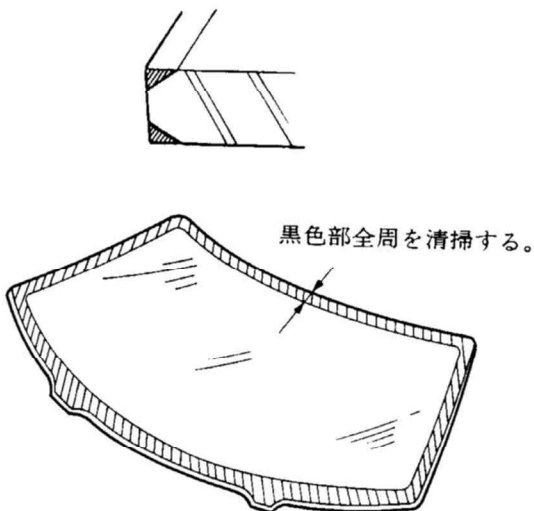
***** 清掃後、汚れ、油脂、水分などを付着させないこと。付着した場合は再度清掃すること。

③ガラス再使用の場合は、残ったモールを切り取りダムラバーをはがす。固着した接着剤をへらなどではがし、ガラスの黒色部分および端末部を無鉛ガソリン、アルコールで清掃する。

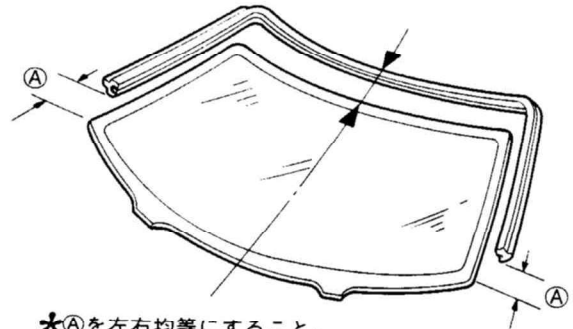
***** ガラス面には、油脂、水滴、汚れなどの付着がないこと。付着した場合は再度清掃すること。



***** ガラス端末部(面取り部)も完全に削取ること。

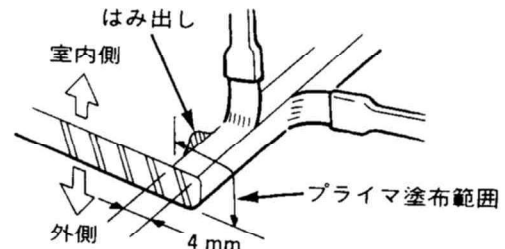


④ガラスとモール(新部品)の中心を合せ、マーキングする。



***** Aを左右均等にすること。

⑤ガラスのモール接着面にプライマを塗布する。



***** はみ出し箇所は、モール取付け後削取ること。

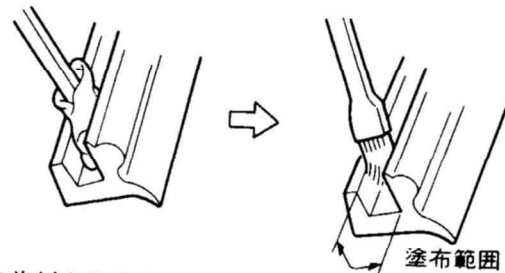
⑥ウインド モール(新部品)のガラスくわえ込み部をアルコールで脱脂し、プライマを塗布する。

注意

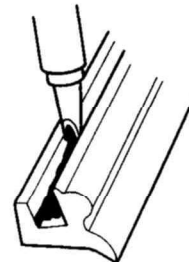
- ・モール全周に塗り残しのないこと。
- ・プライマはモールの表面にはみ出さないこと。

<脱脂>

<プライマ塗布>

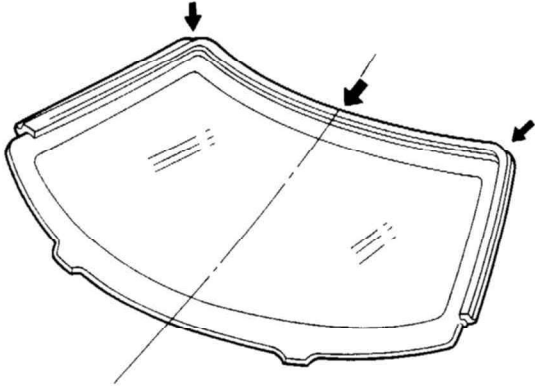


⑦接着剤を塗布する。



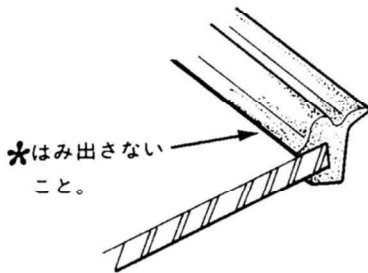
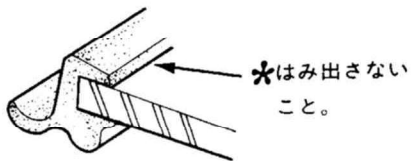
⑧モールをガラスに取付ける。

注意 直線部のモールのうねり、コーナ部のモール口開きなどが無いこと。



⑨ウインド モール取付け後、はみ出した接着剤をふき取る。

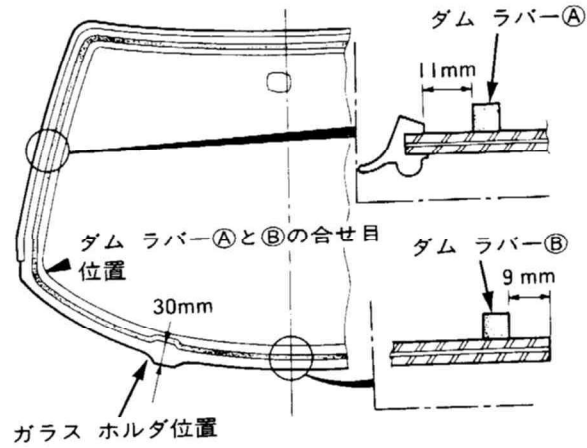
*****接着剤は、ガラスとモール表面全周にふき残しの無いこと。



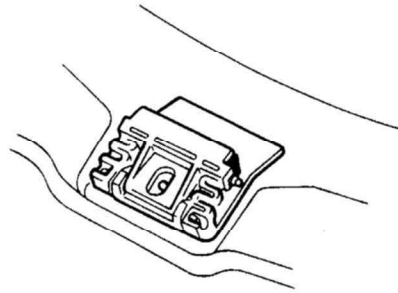
⑩モールとガラスの接着が完了した後、再びガラスの接着面を無鉛ガソリン、アルコールで清掃する。
*****ガラス面には、油脂、水滴、汚れなどの付着が無いことを確認する。

⑪清掃したガラスを乾燥させた後、接着剤はみ出し防止用のダム ラバーを図のように貼付ける。

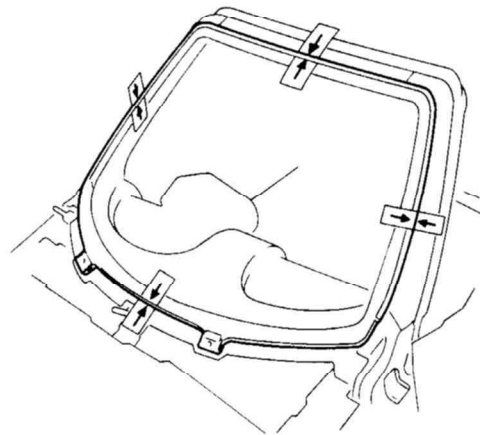
*****ダム ラバーの貼付け時、清掃したガラス面に直接手を触れないようにすること。油脂、水滴、汚れなどが付着した場合は再度清掃すること。



⑫ガラスホルダをボディに取付ける。



⑬ガラスをホルダに乗せ、接着面が全周にわたって均一になるようボディにセットし、取付け位置をボディ側とガラス側にマーキングする。



フロント ウインド

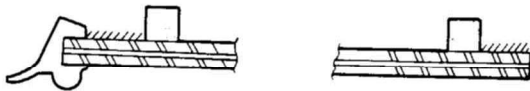
取付け

⑭ガラス用プライマGを、スポンジでダム ラバーより外側のガラス面に薄くきれいに塗布する。

★・ボディ用プライマMをガラスに使用しないこと。また塗布に使うスポンジは、ボディ用プライマMとは分けて使うこと。

- ・プライマ塗布面には、絶対に手など触れないこと。
- ・プライマ塗布面には、油脂、水滴、汚れなどのないこと。付着した場合は再度清掃すること。

 : ガラス用プライマG塗布範囲




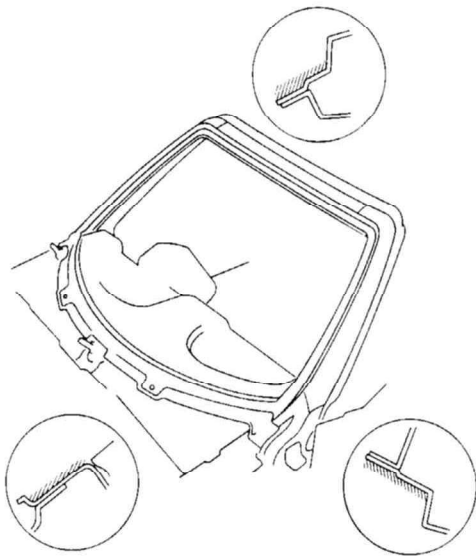
⑮ボディ用プライマMを、スポンジで接着剤の付く面に塗り残しのないように、薄くきれいに塗布する(塗布後10分間以上自然乾燥させること)。

★・ガラス用プライマGをボディに使用しないこと。また塗布に使うスポンジは、ガラス用プライマGとは分けて使うこと。

- ・プライマ塗布面には、絶対に手など触れないこと。油脂、水滴、汚れなどが付着した場合は再度清掃すること。

- ・プライマをインパネに付着させると拭取りが困難なので付着防止のカバーを取付けること。


 : ボディ用プライマM塗布範囲

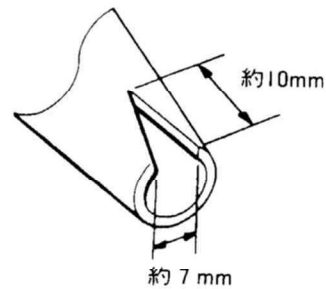


⑯主剤と硬化剤(キットの各全量)をガラス板などの上で、ヘラを使用して完全に混合する

★・混合は5分以内に終わらせること。

- ・ヘラ、ガラス板は、あらかじめ無鉛ガソリン、アルコールなどで清掃しておくこと。

⑰カートリッジのノズルの先端を、のようにカットし、接着剤が適量塗布できるようにする。



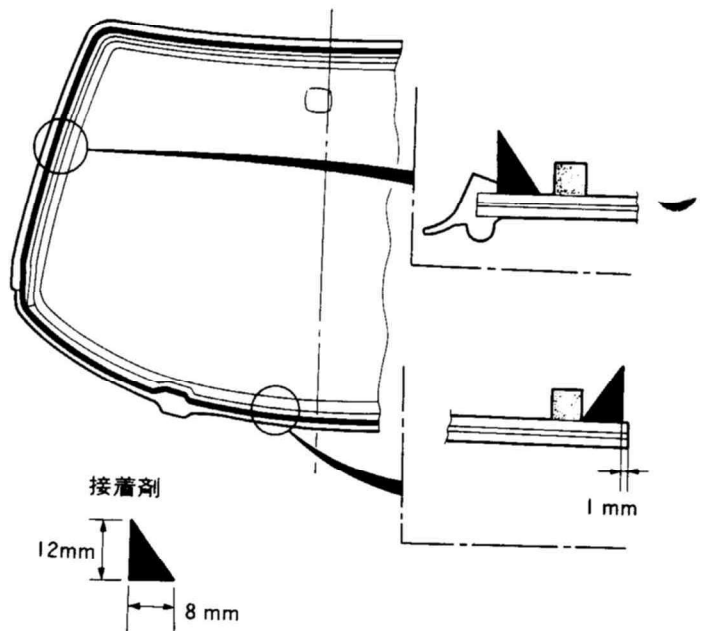
⑱混合した接着剤をカートリッジに充てんする。

★充てん時、空気の混入を防ぐこと。

カートリッジをガンに取付け、ガラス接着面全周に接着剤を塗布する。

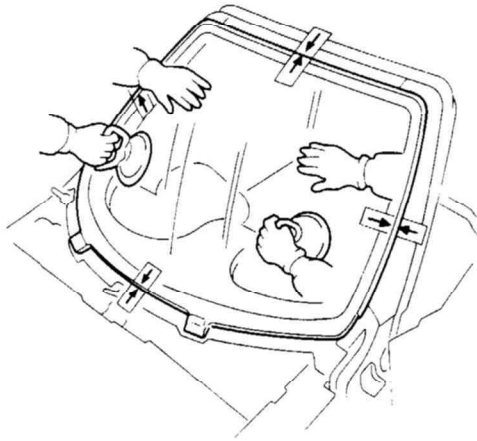
注意 接着剤の塗布はガラス用プライマG塗布後30分以内に行うこと。30分以上経過した場合は、再度ガラス用プライマGを塗布すること。

★各コーナ部は多目にする。

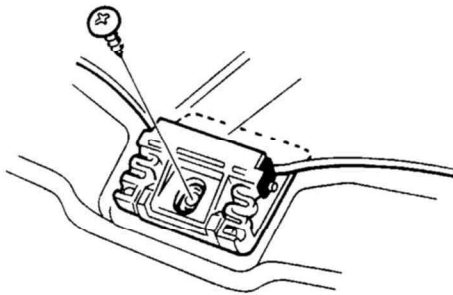


⑱ ガラスをゴム吸引盤で固定し、合せマーク位置に一致させて全周を軽く押して完全に密着させる。

*****以後、ドアの開閉を行う際はドア ガラスを全開にして行うこと。



⑳ ガラスホルダのスクリュを締付けて、ホルダを固定する。



㉑ ガラス取付け後、1～2時間経ってから、水漏れテストを行い、水漏れが生じた場合は、乾燥させた後、サンスタ#860(08718-99964)で水漏れ部分を補修する。

*****車を移動する場合は静かに行うこと。

・水漏れテストの際は、ソフトトップとドアガラスを全開にして行うが、直接ソフトトップやドアガラスのシール面に水をかけてはならない。また、ホースの先端を絞って水をかけないこと。

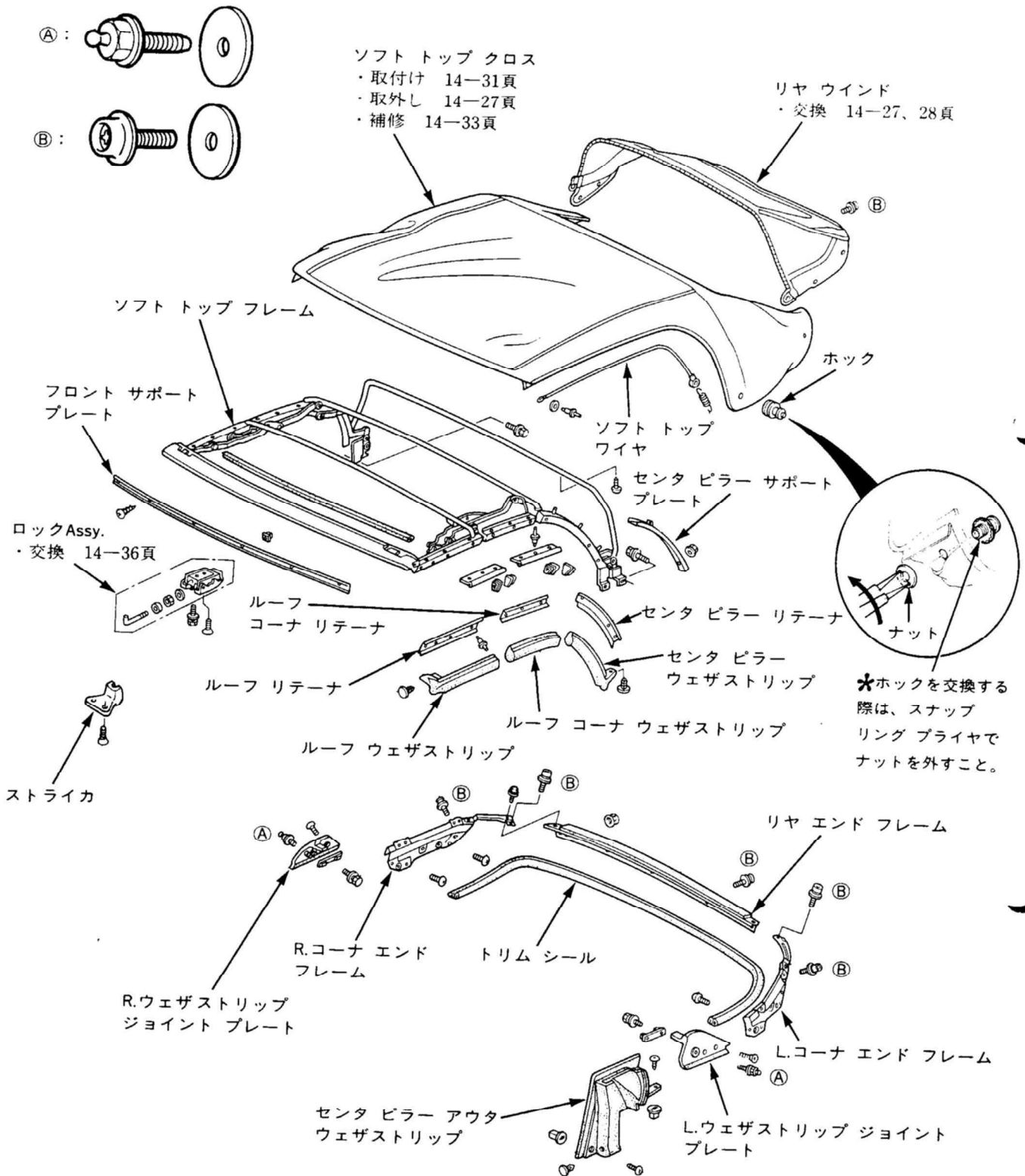
㉒ ガラス取付け後、4時間以上放置させる。

㉓ 取外しておいた部品を再組立する。

注意 ガラス取付け後から、一般走行が可能になるためには、硬化時間(14-20頁)経過後4時間以上を必要とする。

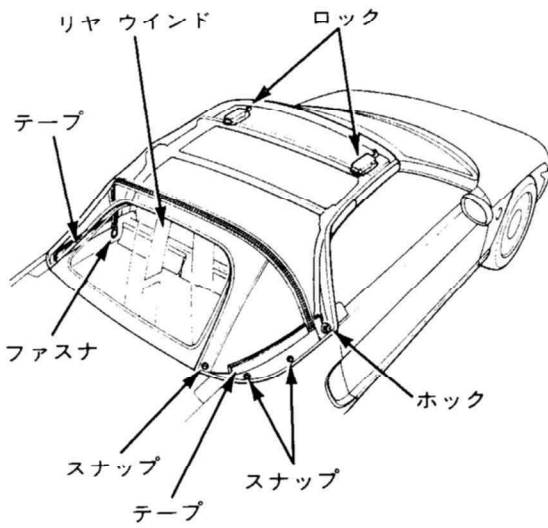
ソフト トップ

展開図



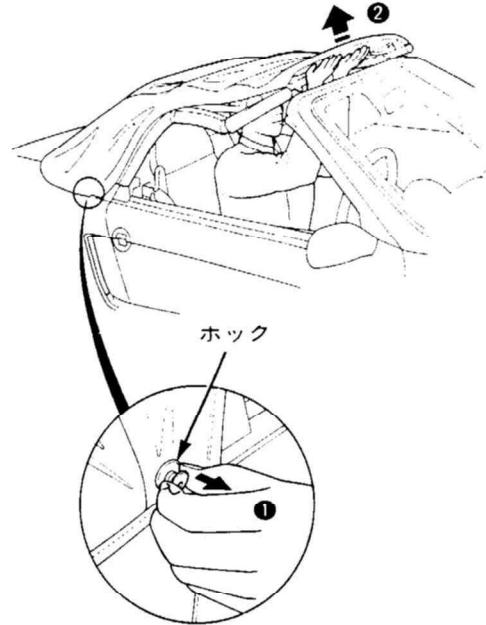
作業上の注意

- ①外気温が低い時(5℃以下)は、ソフト トップ クロスの硬化による損傷を防ぐため開閉作業をしないこと。また作業する場合は、必ず風や温度などの影響を受けにくい場所で行うこと。
- ②車内装備品やボディに傷や汚れなどを付けないよう、作業前に必ず保護カバーを取付けること。
- ③ソフト トップ フレームに無理な力を加えないこと。
- ④ソフト トップをたたんだ状態で長期間保管しないこと。しわの原因となる。
- ⑤ソフト トップ クロスにガソリン、シンナー、アルコール類など有機薬品を付着させないこと。

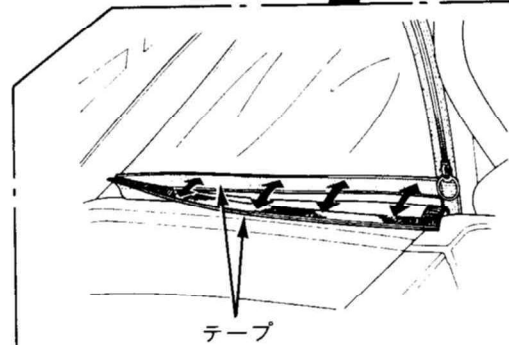
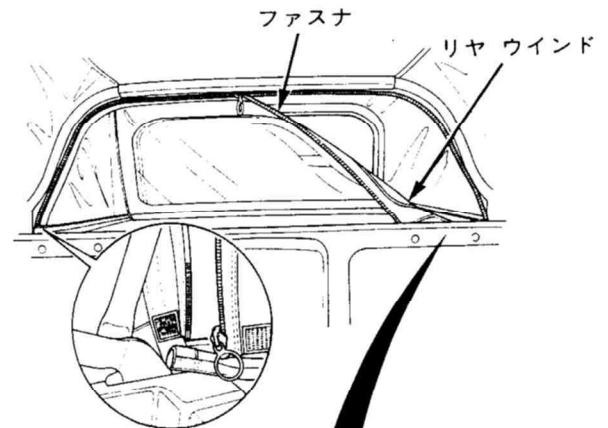


ソフト トップ クロスの取外し

- ①左右のホックを外す。
- ②ドア ガラスを全開にする。
- ③サンバイザを下げロックを解除し、ソフト トップを少し開け、全体にたるみを持たせる。



- ④リヤ ウインドのファスナと左右下側のテープを外す。

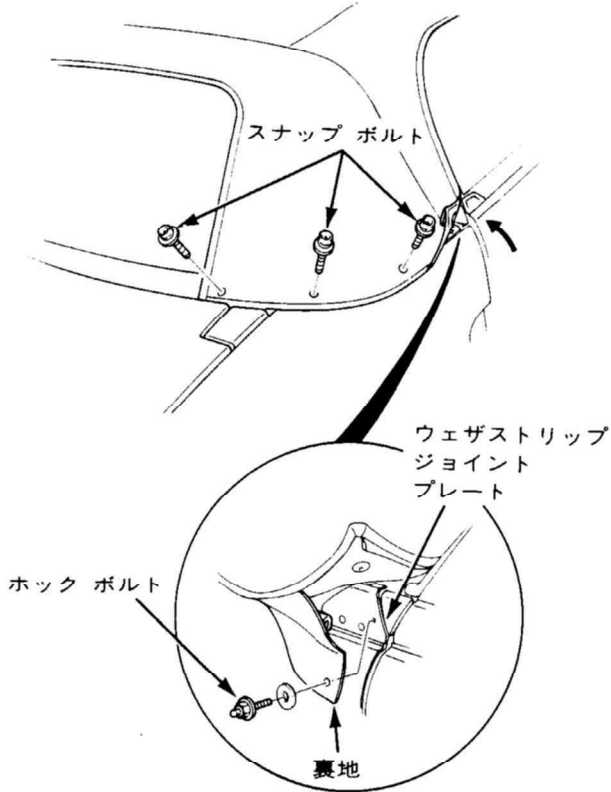


ソフト トップ

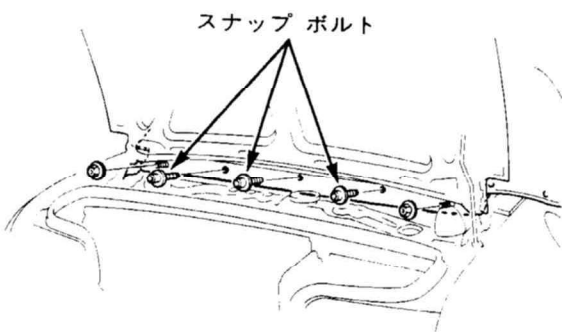
ソフト トップ クロスの取外し

⑤左右のスナップ ボルト 6 本を外す。

⑥ソフト トップ クロスをめくり、ホック ボルトを外す。

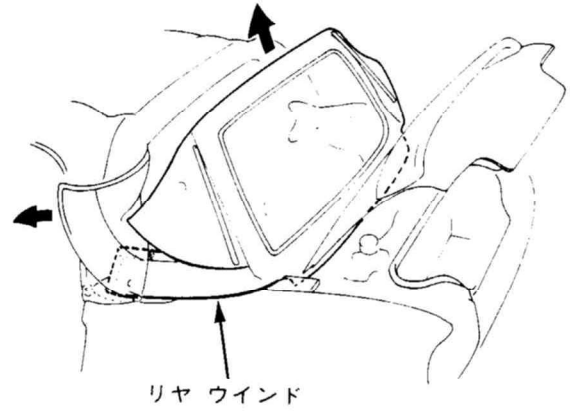


⑦トランク リッドを開き、ステイを確実にセットして、左右のナットとスナップ ボルト 3 本を取外す。

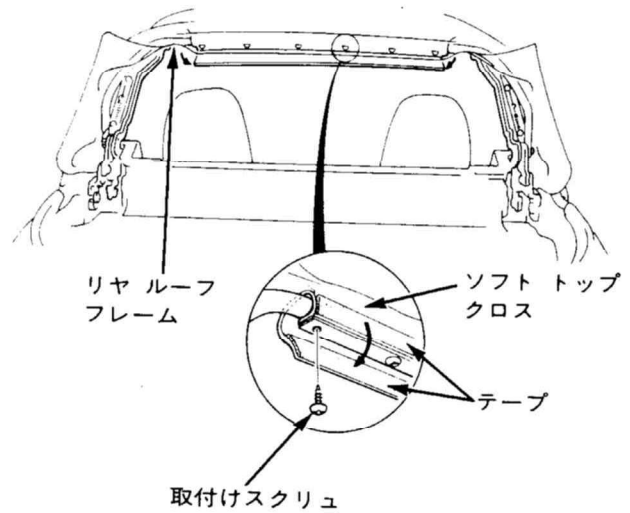


⑧リヤ ウインドをトランク側へ出し、ボディから取外す。

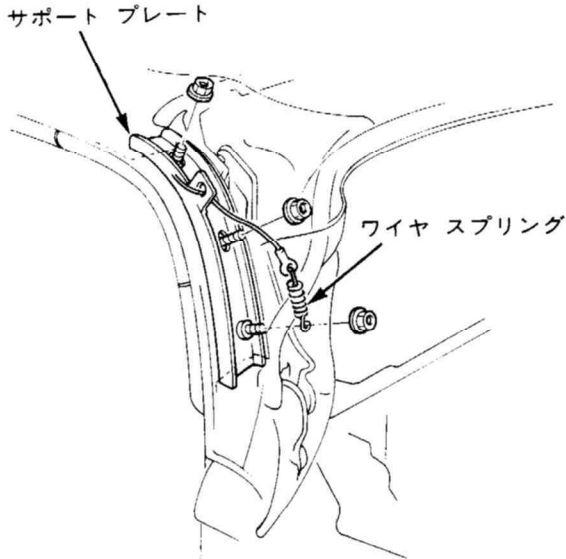
注意 リヤ ウインドに傷や折り目を付けないこと。



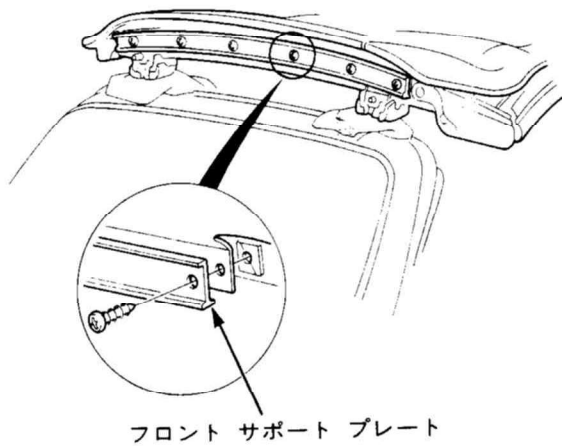
⑨ソフト トップ クロスをめくり、リヤ ルーフ フレームのテープと、スクリュ 6 本を外す。



- ⑩ソフト トップを半開状態にする。
 ⑪ナットとワイヤ スプリングを外し、サポート プレートを取外す。

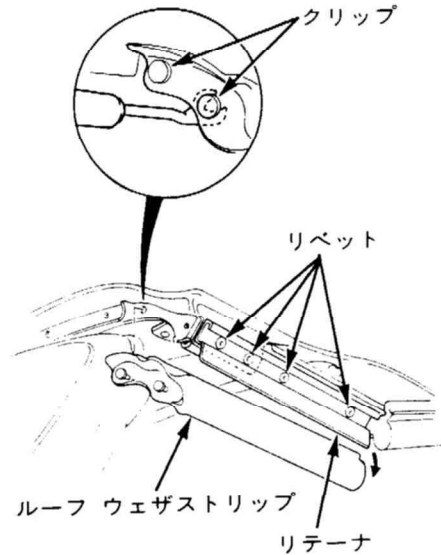


- ⑫スクリュ 6 本を外し、フロント サポート プレートを外す。



- ⑬クリップ 2 箇所を外し、ルーフ ウェザストリップを取外す。

★クリップ リムーバなどを使い、ウェザストリップに傷を付けないように行うこと。また傷の付いた物は新部品と交換する。



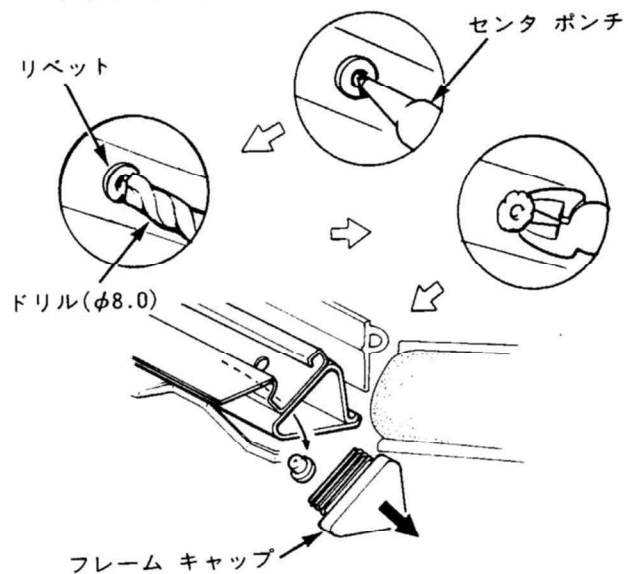
- ⑭リテーナ リベットの中心にセンタ ポンチを打つ。
 ⑮ドリル(φ8.0)でリベットの頭をドリルもみする。

★リテーナを傷付けないよう十分に注意して行うこと。

- ⑯小型のニッパなどでリベットを外し、リテーナをフレームから取外す。

注意

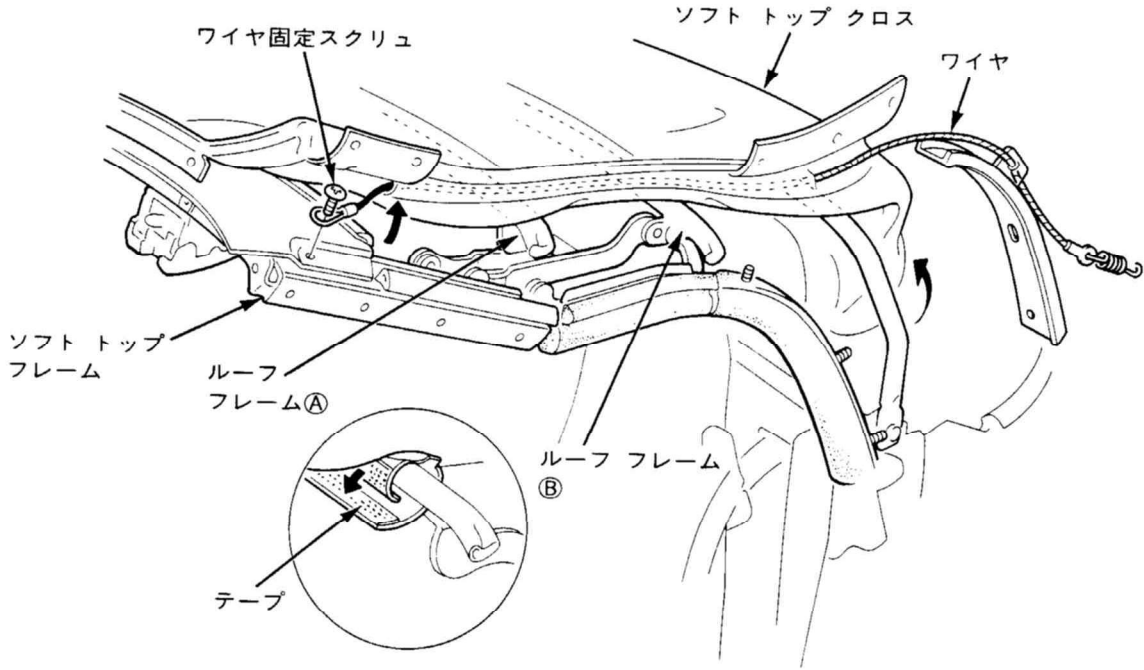
- ・リテーナを曲げないように行うこと。また曲がった物は新品と交換する。
- ・ドリルもみをした後、リベットの残がいをソフト トップ サイド フレーム内から取出すこと。



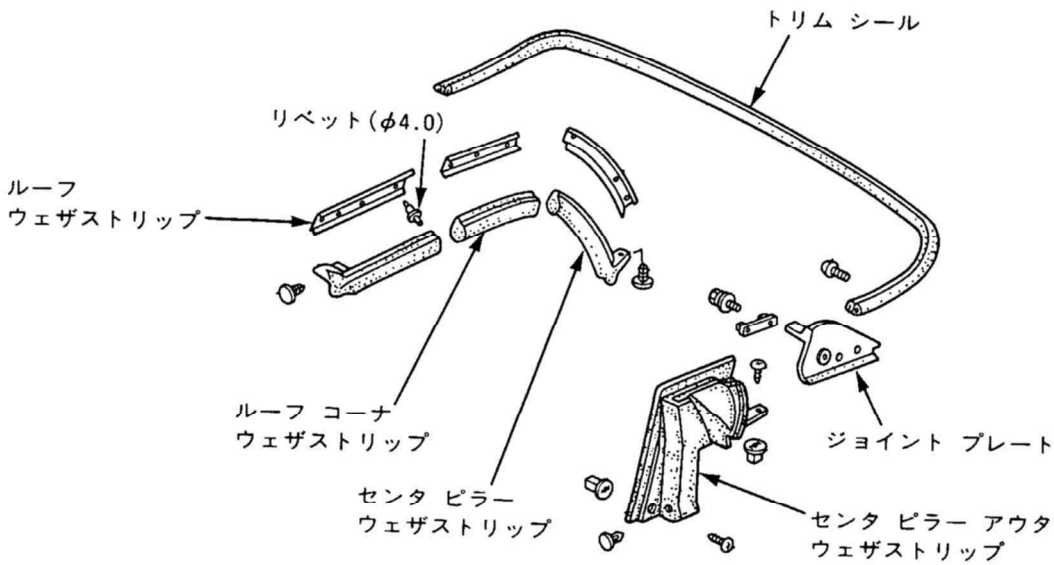
ソフト トップ

ソフト トップ クロスの取外し

- ⑰ソフト トップ クロスをめくり、スクリュを外してワイヤ エンドを取外す。
- ⑱ソフト トップ クロスからワイヤを抜く。
- ⑲ルーフ フレーム④、⑤部のテープを外し、フレームからソフト トップ クロスを取外す。



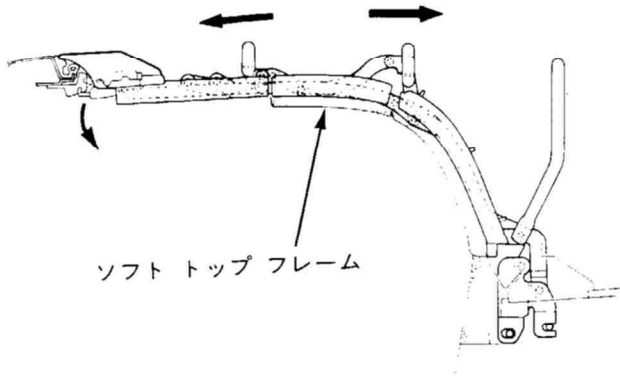
- ⑳ソフト トップ フレームのウェザストリップやボディ側のトリム シールを点検し、劣化のはげしい物や、損傷のある物は交換すること。また、各リテーナに曲がりや、ねじれのある物は交換する。



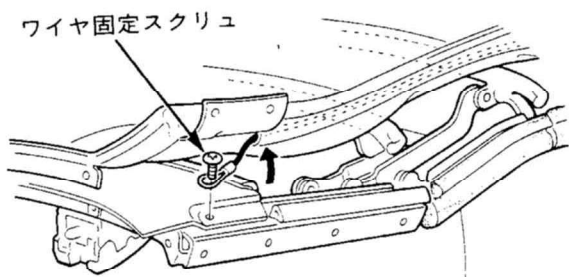
取付け

取付けは取外しの逆手順で行うが次の点に注意する。

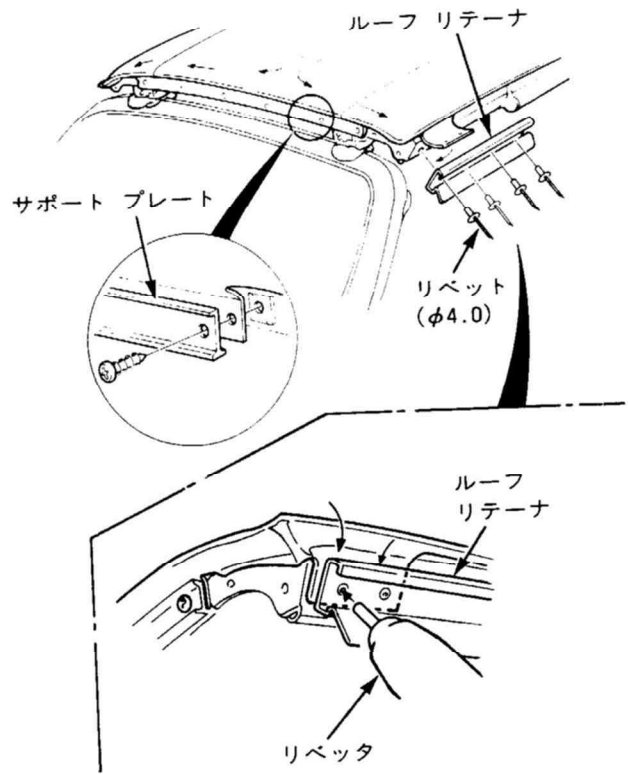
- ①ソフト トップ フレームがスムーズに作動し、各ジョイント部にガタなどが無いことを確認する。



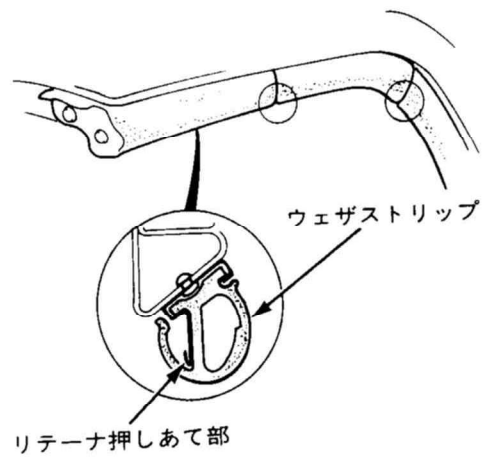
- ②ソフト トップ ワイヤのフロント エンドは、ソフト トップ全開時にはずれないように確実に取付けること。



- ③ソフト トップ クロスの前部を取付ける際、左右に引張りながらしわのないよう行うこと。



- ④ウェザーストリップは浮きやねじれなどのないよう取付ける。また分割部に段差がないか確認すること。
*段差がある場合は、リテーナを押しあてて位置を調整すること。



ソフト トップ

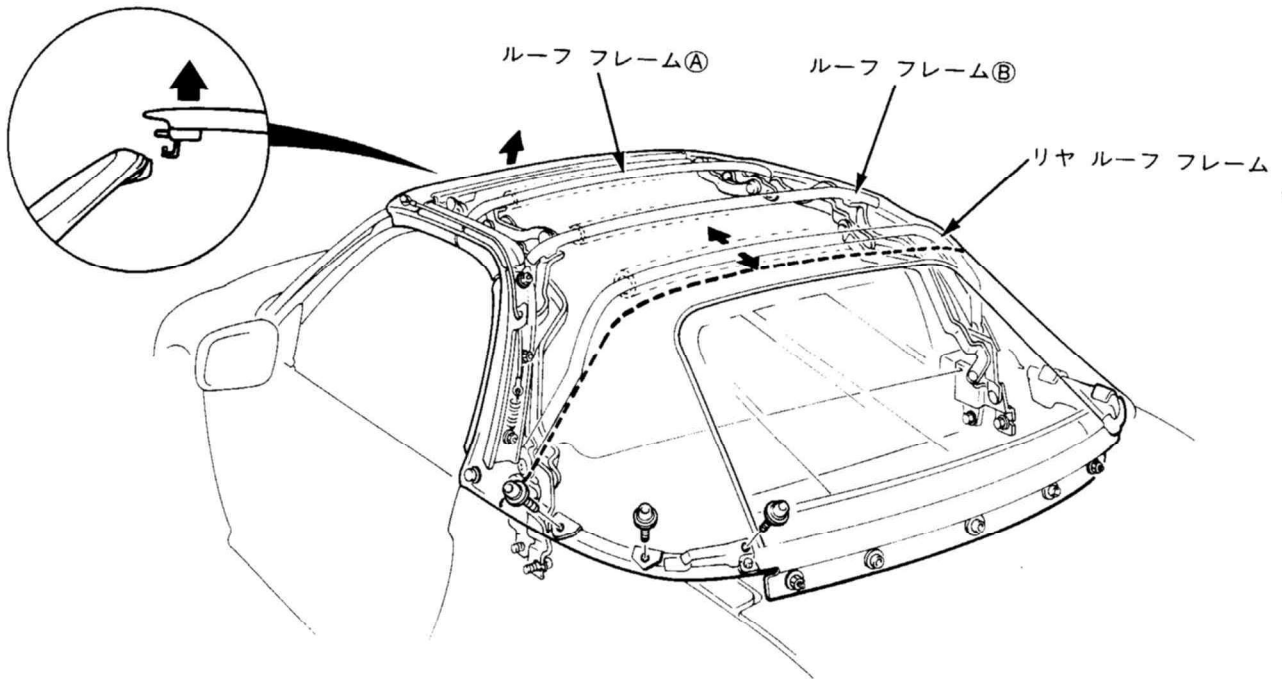
ソフト トップ クロスの取付け

⑤ソフト トップ クロス後部を取付ける際は次の手順で行う。

- 1) リヤ ウインドを取付ける。
- 2) ソフト トップ フレームを全閉状態にする(ロックはしない)。
- 3) ソフト トップ クロスの両側をしわのないよう十分に引張り、取付け用の穴位置を決める。

✳穴位置を決める際、古いトップ クロスを新しい物にかさね、穴位置をマーキングする。マーキングした穴位置は、目安として使用し、しわ取りを優先して位置を決めること。また、取付けはセンタ側から行う。

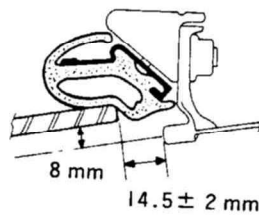
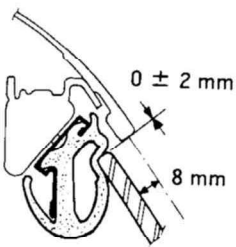
- 4) トップ クロスに穴をあけ、ボルトで固定する。
- 5) ルーフ フレーム④、⑤のテープを固定する。
- 6) リヤ ルーフ フレームを前後に動かし、最もしわのない位置で固定する。



- ⑥ソフト トップがスムーズに動くことを確認する。
- ⑦ソフト トップをロックして、しわや傷などがいないか点検する。
- ⑧ドア ガラスを全閉にして、ウェザーストリップとの当り具合を点検する。

ルーフ部

センタ ピラー部



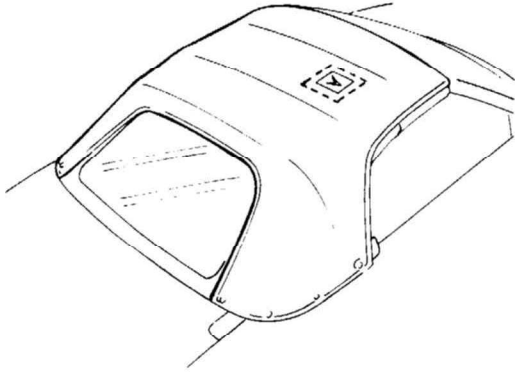
⑨必要があればガラスの建付け調整を行う。(14-11 頁)

⑩水漏れテストを行う。

注意 水をかける時は必ずソフト トップの上方から行い、直接シール面にはかけないこと。また、ホースの先端を絞って水をかけないこと。

ソフト トップ クロスの補修

注意 ソフト トップ クロスの外傷を補修する際は、ソフト トップを全閉(ロックした状態)で行うこと。



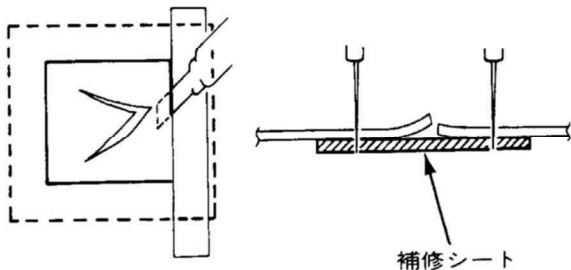
*****補修する前に、外傷の位置や、トップ クロスの損傷状態を確認し、著しく損傷している物、また、補修後に障害が発生するような場合はトップ クロスを交換する。(14-27頁)

①下記の物を用意する。

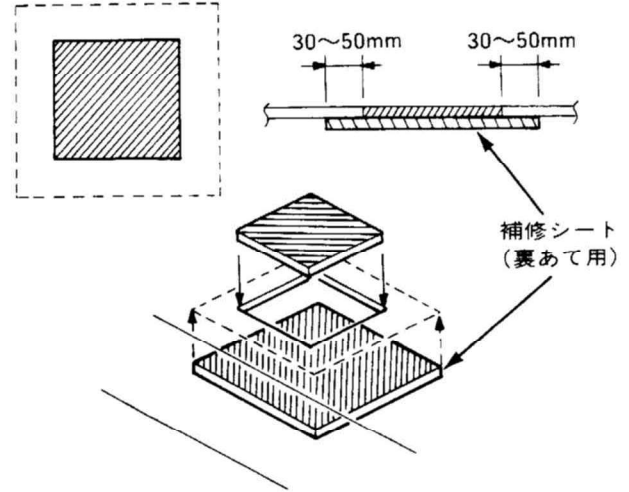
- ・補修シート
- ・接着剤(サンスタ332 相当品)
- ・カッタ ナイフ
- ・定規
- ・サンド ペーパー

②ソフト トップ クロスの裏側に補修シートを当て、定規を使い、外傷部と共に補修、シートをカットする。

*****カッタ ナイフの刃は新品を使用するか、よく切れる物で行うこと。

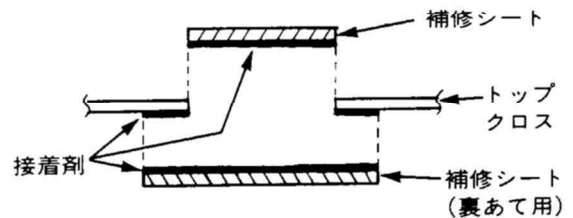


③切り取った補修シートに対し、下図の寸法になるよう裏当て用の補修シートをカットする。

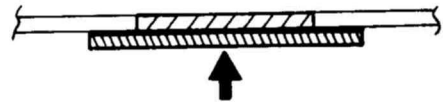


④裏あて用補修シート表面のアクリル コーティング部をサンド ペーパーで落とす。

⑤補修部の裏面と裏あて用補修シートの表面に接着剤を塗布する。



⑥補修シートを強く圧着する。



乾燥時間は、接着剤の仕様に従うこと。

*****水などに濡らさないこと。

⑦接着が完了したことを確認し、水濡れテストを行う。

*****ホースの先端を絞って水をかけないこと。

ソフト トップ

ソフト トップ Assy.の取外し

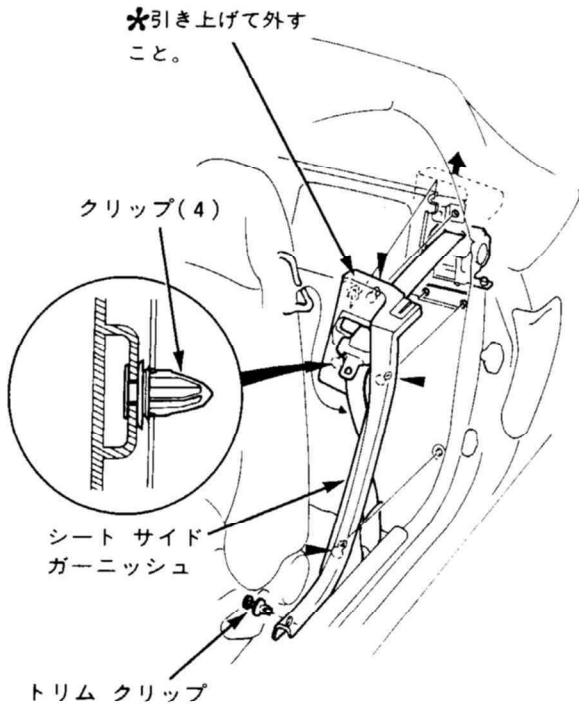
①ソフト トップを全閉状態にする。(ロックはしない)

②リヤ ウインドを取外す。(14-27、28頁)

注意 リヤ ウインドに傷や折り目を付けないこと。

③左右のシート サイド ガーニッシュを取外す。

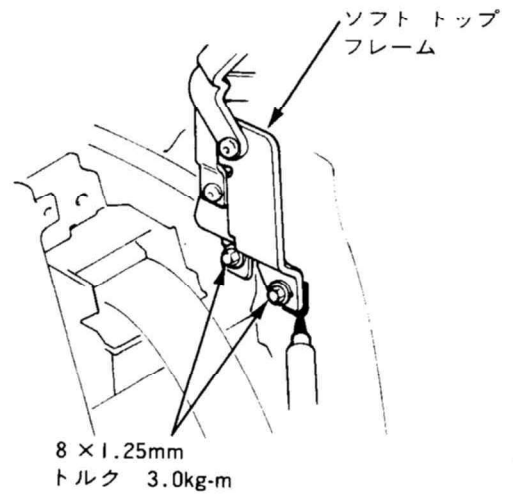
*シートをフロント側にスライドさせておくこと。



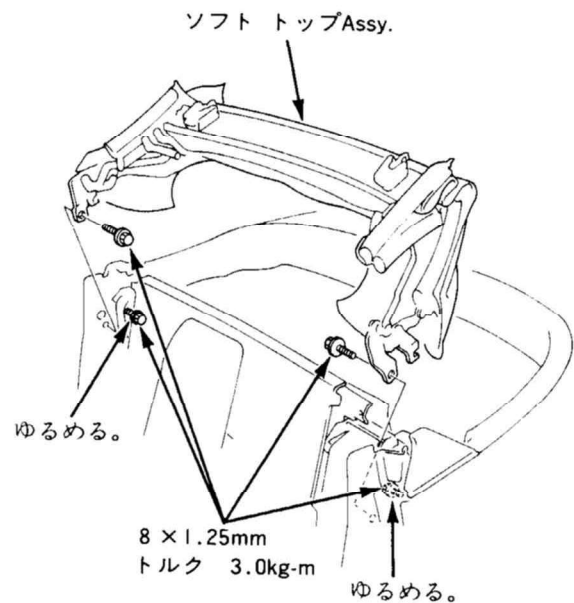
④シート ベルトをいっぱい引き出し、シート サイド ガーニッシュをシートの上に置く。

注意 取付けの際は、シート ベルトがねじれていないか確認して取付けること。

⑤ソフト トップ フレームの取付け位置をボディ側にマーキングする。



⑥ソフト トップをたたみ、取付けボルトを外す。落とさないよう注意しながらソフト トップをボディから取外す。

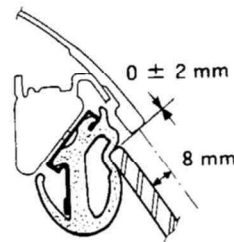


ソフト トップ Assy.の取付け

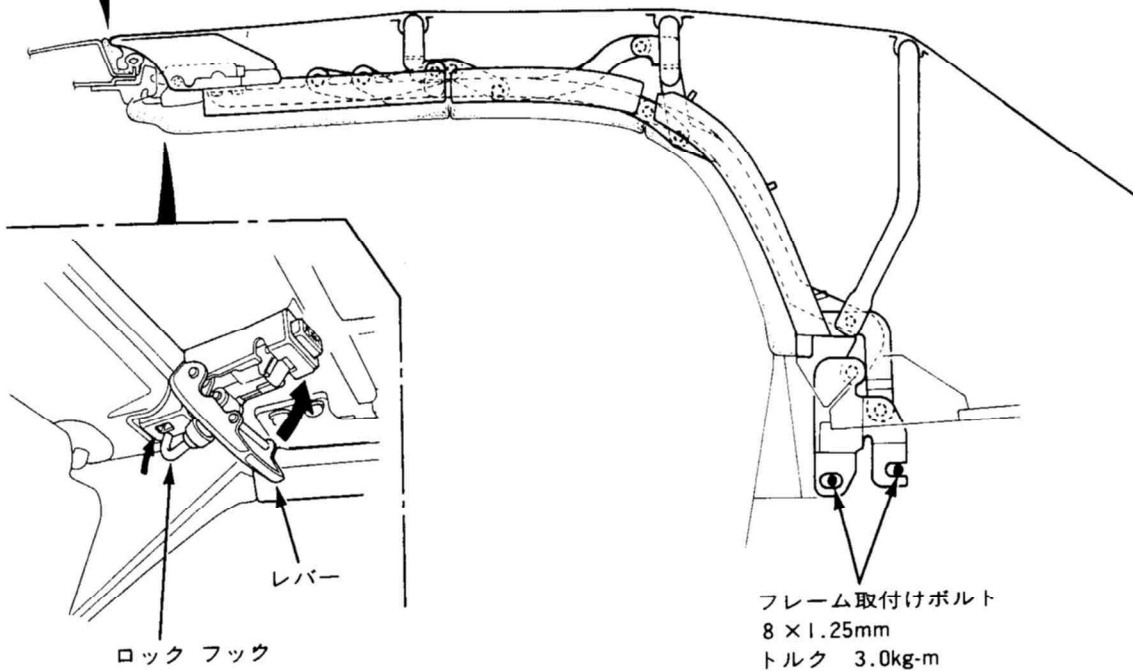
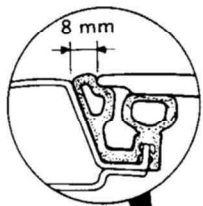
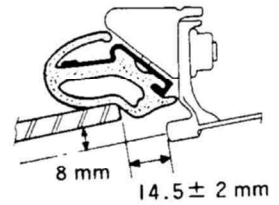
- ①ソフト トップ Assy.をボディに仮締めする。
*取外しの時にマーキングした位置でソフト トップ フレームを仮締めすること。
- ②リヤ ウインドを取付ける。
- ③ソフト トップがスムーズに作動し、各ジョイント部にガタなどがないことを確認する。
- ④ソフト トップを全閉状態にする。ただしロックはしないこと。
- ⑤ソフト トップ フレーム取付けボルトを本締めする。
- ⑥ソフト トップをロックする。
*ストライカとピン(ロック側)の当り具合や、ロック フックのかかり具合、またロック レバーの作動を点検し必要があれば調整する。(14-36頁)

- ⑦ソフト トップ クロスにしわや傷、汚れなどがいないか点検する。交換する際は、14-27頁参照。
- ⑧ウェザストリップに浮きやねじれなどがいないか点検する。
*分割部に段差がないか確認すること。
- ⑨ドア ガラスを全閉にして、ウェザストリップとの当り具合を点検する。
*必要があればドア ガラスの建付け調整を行う。(14-11頁)

ルーフ部

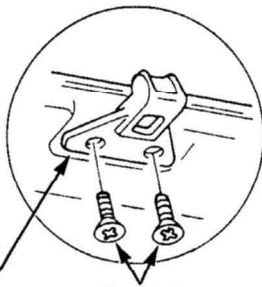


センタ ピラー部



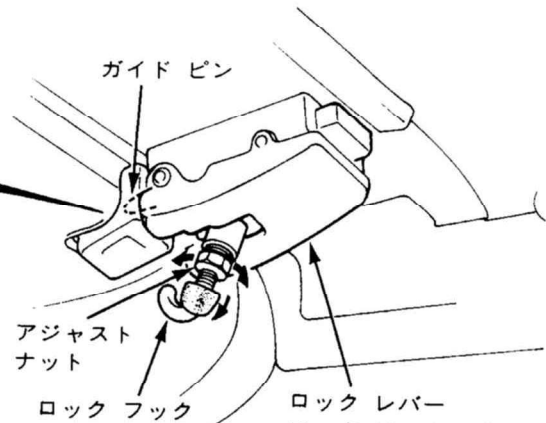
ソフト トップ

ロックとストライカの交換/調整

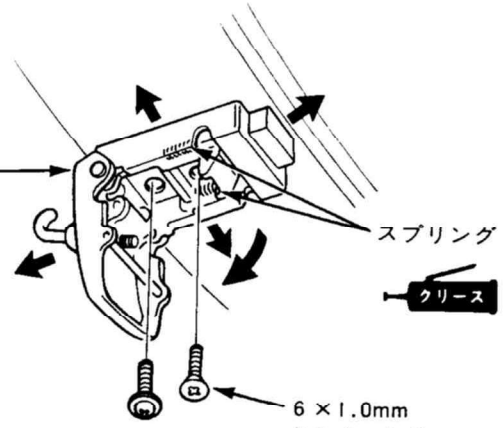


6 × 1.0mm
トルク 1.0kg-m

ストライカ
下記の物を外して取外す。
フロント ルーフ ガーニッシュ、サンバイザ、
ピラー ガーニッシュ(14-37頁)



ロックレバー
ロックフックのアジャスト
ナットでレバーの作動を調
整する。

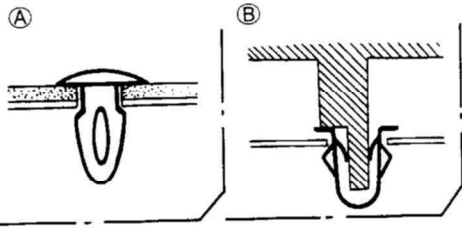


ロック Assy.
スクリューを外しロック Assy.を
取外す。
取付けの際はスクリューを仮締め
し、ストライカとガイドピンの
当り具合を調整して締付ける。

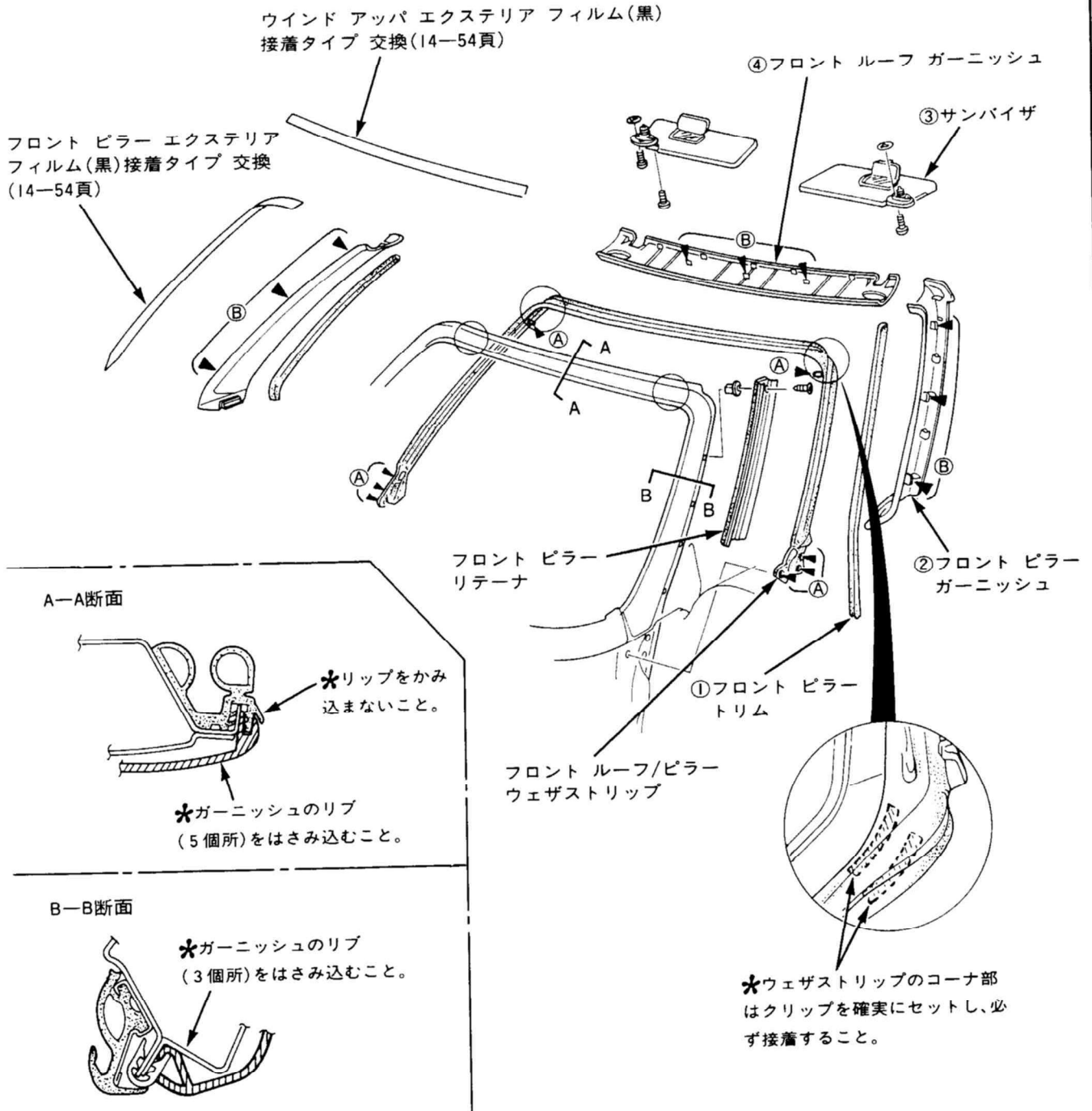
フロント ガーニッシュ/ウェザストリップ

交換

▶: クリップ位置



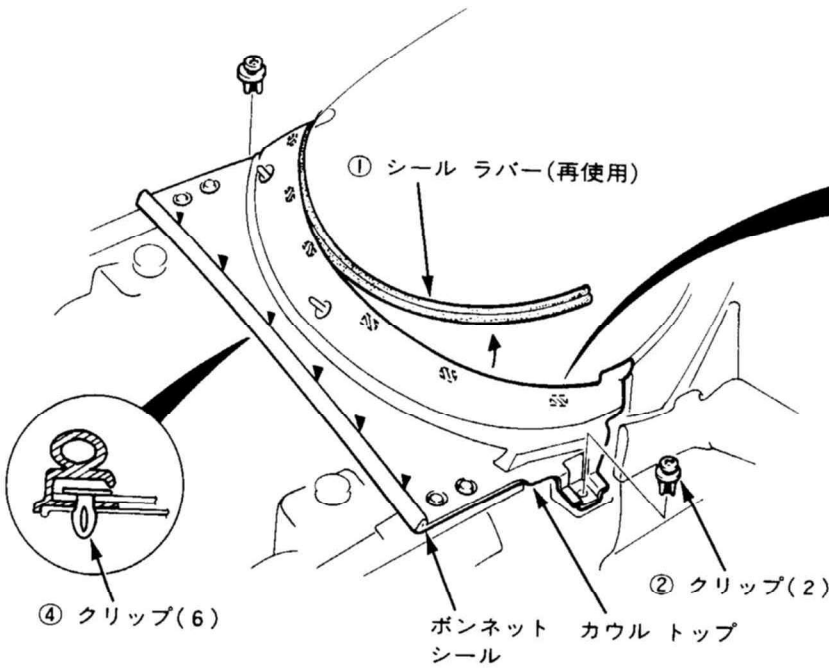
注意 ウェザストリップを取付ける際は、浮き、ねじれ、はがれなどのないよう確実に取付けること。
番号順に取外す。



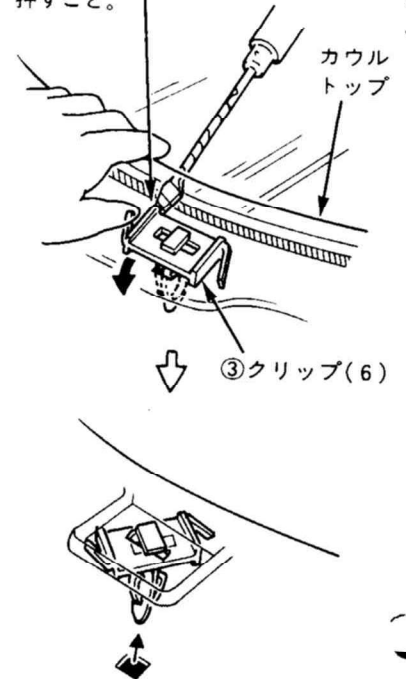
カウル トップ

交換

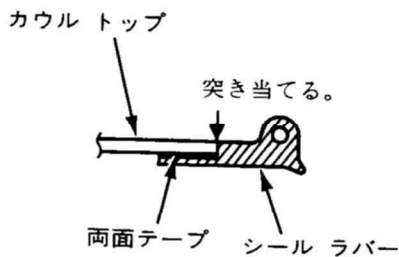
- ①ワイパ アームを取外す。
- ②カウル トップのシール ラバーを取外す。
- 注意** 再使用するため損傷を与えないように作業する。
- ③左右のクリップを外す、ウインド側からマイナス ドライバを差し込み、カウル トップ内側のクリップを45°回転させ、カウル トップを取外す。
- ***マイナス ドライバにテープを巻き、傷付きを防止すること。
- 注意**
 - ・ドライバを差し込む時、カウル トップを持ち上げ過ぎないこと。上げ過ぎるとクリップ ホルダ部を破損する原因となる。
 - ・ドライバでガラスのエッジに損傷を与えないこと。
- ④ボンネット シール側のクリップを外してカウル トップを取外す。



*****クリップを下図のように爪のない側から押すこと。



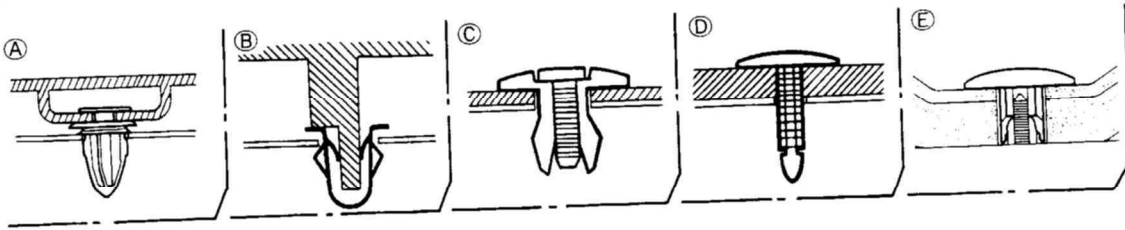
- ⑤取付けの際は、シール ラバーとカウル トップを両面テープで接着する。



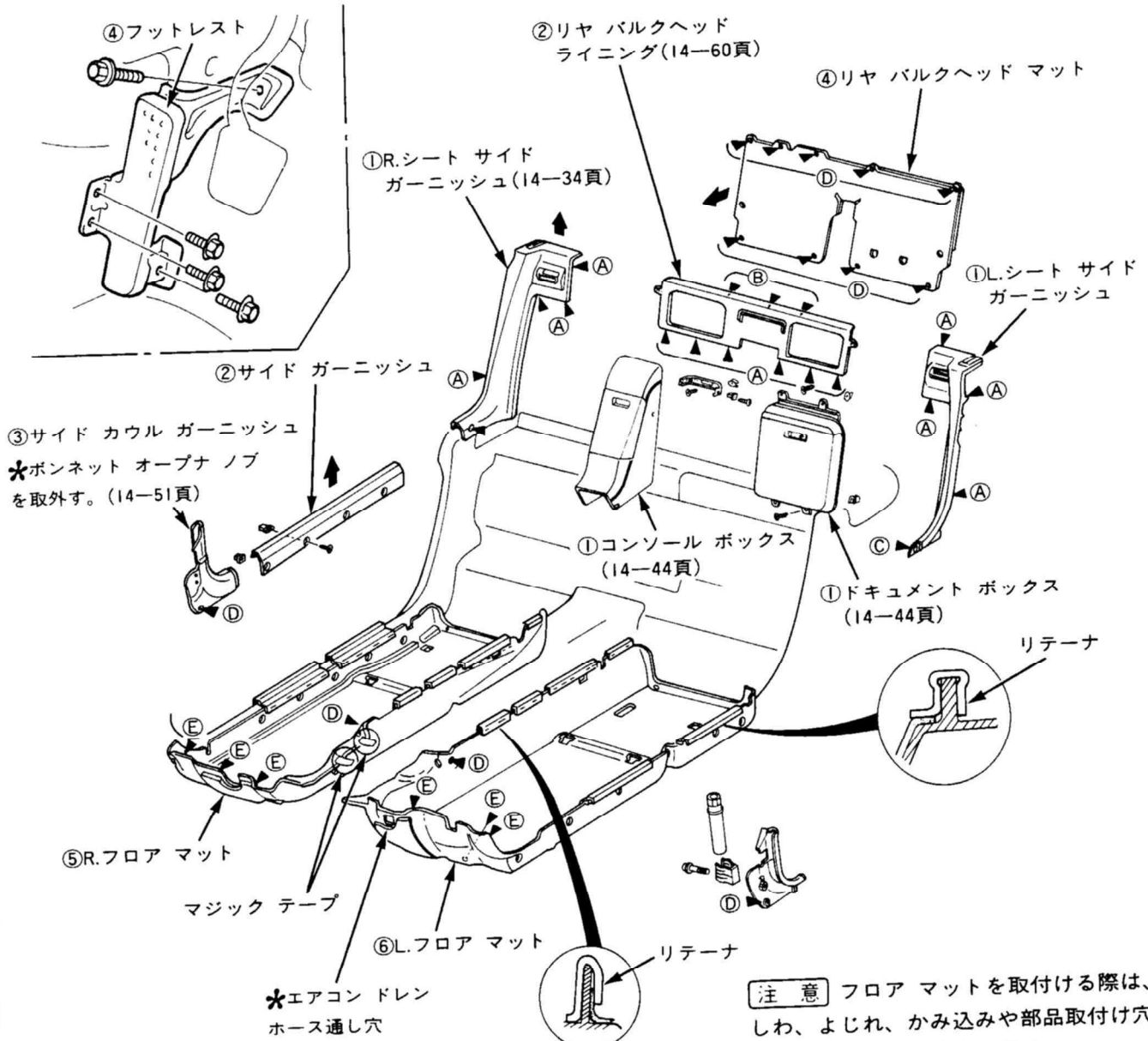
インテリア ライニング/フロア マット

交換

▶ : クリップ位置



*ライニング類の取外しの際に、マイナス ドライバなどを使用する場合は、必ずテープを巻くこと。また周辺をウエスなどで保護し、傷付きを防止する。
番号順に取外す。

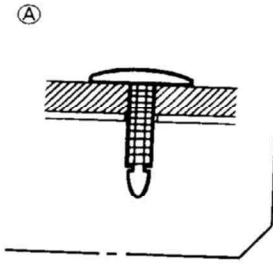


リヤトレイ/トランクライニング

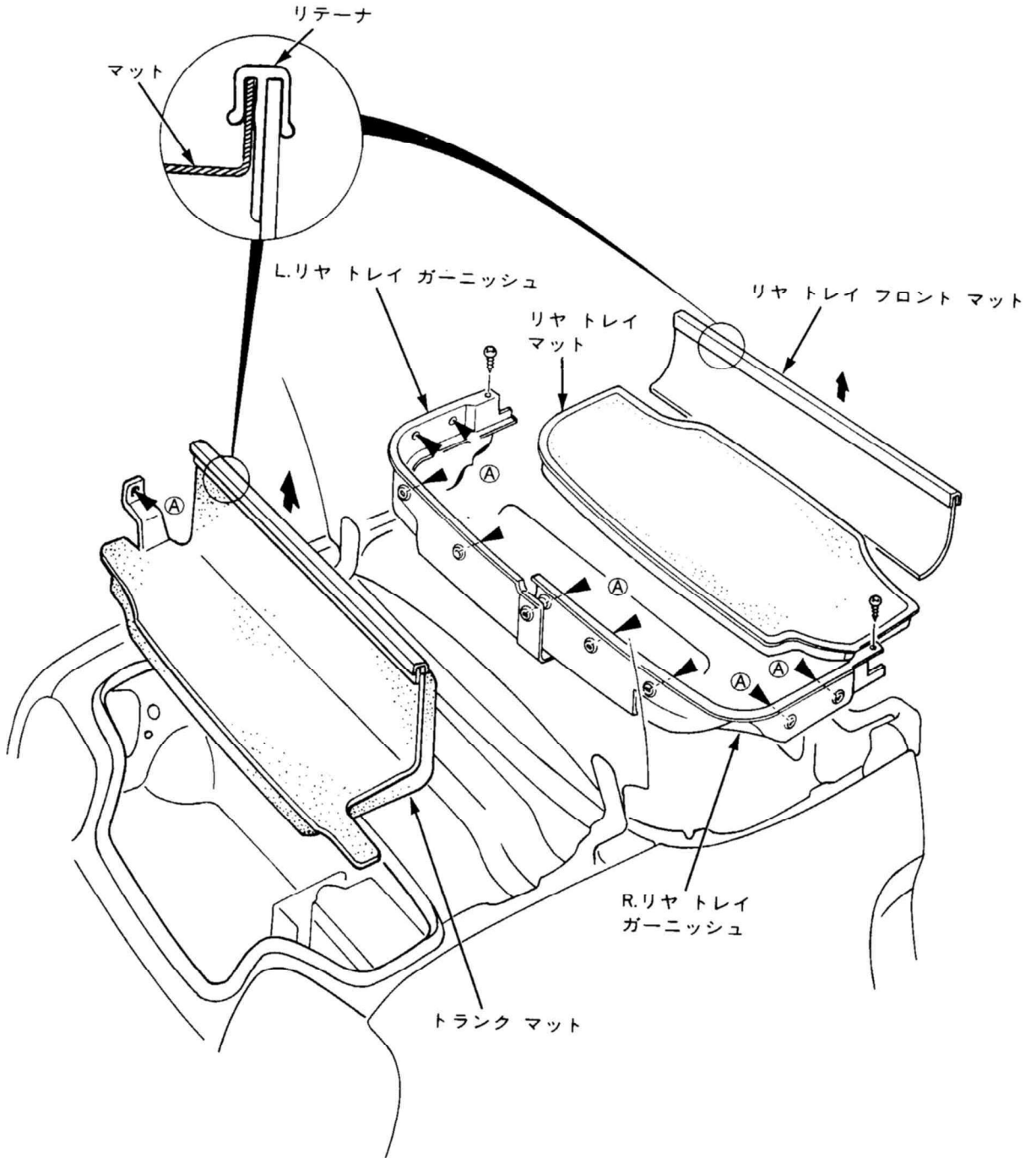
交換

▶ : クリップ位置

Ⓐ



*リヤトレイ ガーニッシュを外す際は、ソフト トップのリヤウインドを取外すこと。(14-27、28頁)

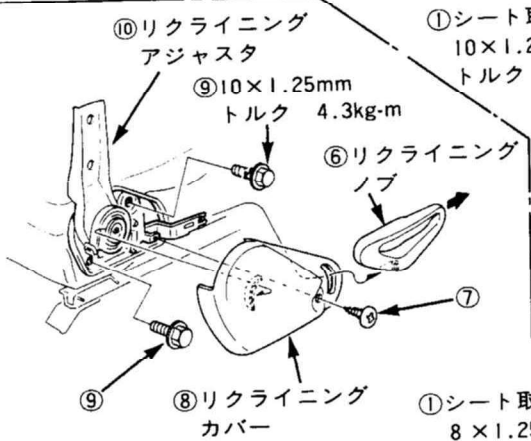
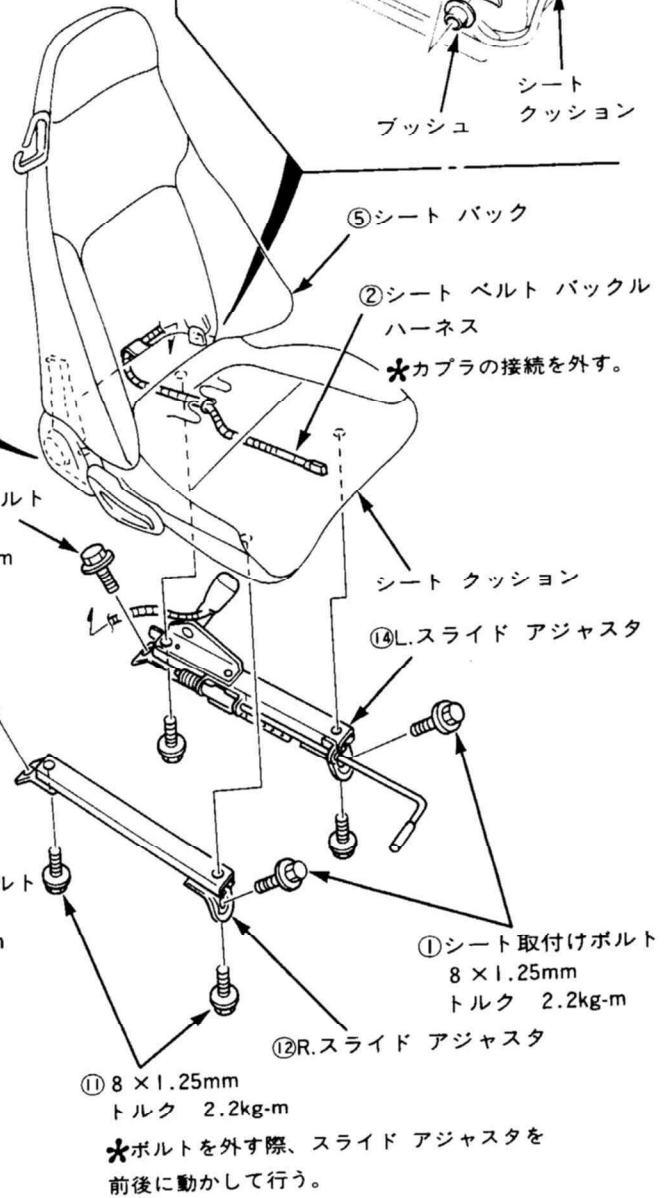
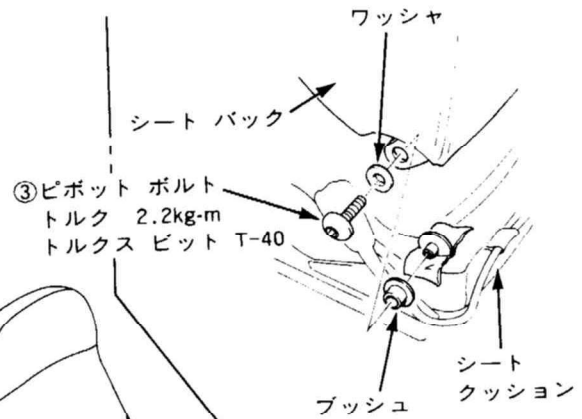
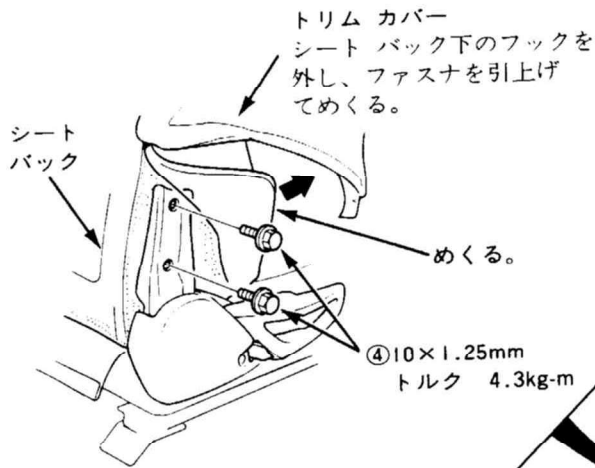


シート

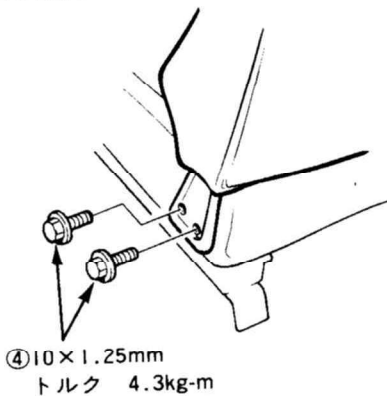
交換

注意

- ・よごれや傷などが付かないように作業すること。
 - ・室外へ取出す際、ライニング、ガーニッシュやボディに傷を付けないよう作業すること。
- 番号順に取外す。



<助手席側>



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

- * シート クッションにスライド アジャスタを取付ける前に、アジャスタの作動に支障がないことを確認し、各摺動部へグリースを塗布する。
- ・トリム カバーは、しわなどのないよう取付けること。

シート

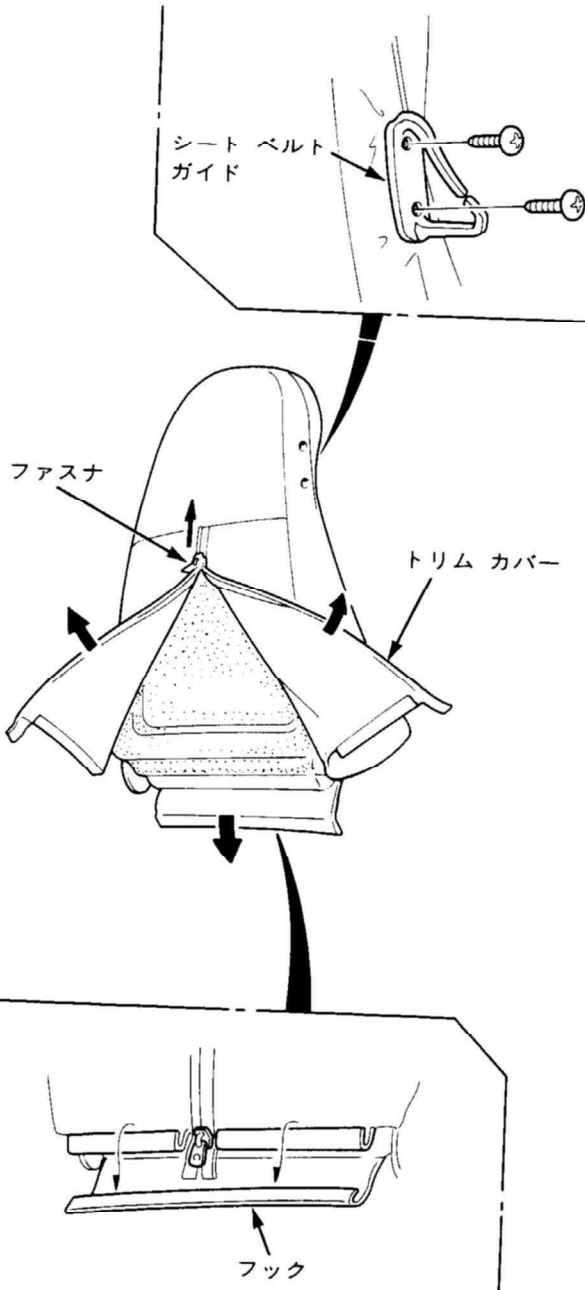
— トリム カバーの交換 —

注意

- ・よごれや傷を付けないように作業すること。
- ・手袋を着用して作業すること。

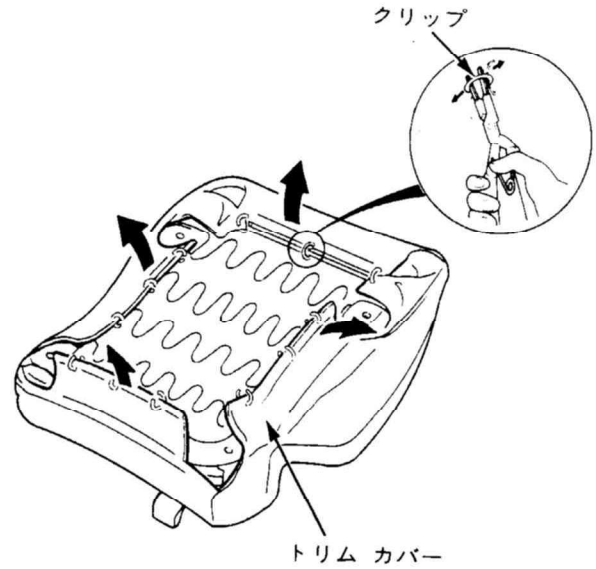
シート バック トリム カバー :

- ①シートを取外す。(14-41頁)
- ②シート バックを取外す。(14-41頁)
- ③シート ベルト ガイドを取外す。
- ④下側のフックを外し、ファスナを引上げる。
- ⑤トリム カバーをめくりながら取外す。



シート クッション トリム カバー :

- ①シートを取外す。(14-41頁)
- ②シート バックとスライド レールを取外す。(14-41頁)
- ③裏側のクリップを全て外す。
- ④トリム カバーをめくりながら取外す。



トリム カバーの取付けは、取外しの逆の手順で行うが、クリップは確実に所定位置に取付け、トリム カバーに縫い目のほつれ、しわ、よじれがないよう注意する。

シート ベルト

交換

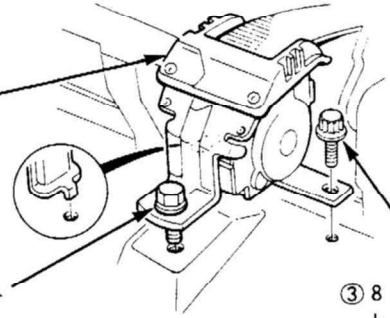
*シート ベルト取付け前、および取付け後にシート ベルトの点検を必ず行うこと。(14-44頁)

番号順に取外す。

⑤シート ベルト リトラクタ
リヤトレイ フロント マット
を外し、リヤトレイ マットを
めくる。

④リトラクタ取付けボルト
7/16-20UNF
トルク 3.3kg-m

③ 8 × 1.25mm
トルク 2.2kg-m



注意 取外したリトラクタ
(シート ベルト)を保管する際
は、光熱にさらしたりオイル、
グリースや水などが付着しない
ようにすること。

シート ベルト ガイドから外す。

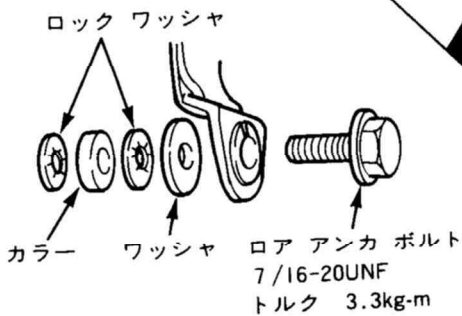
②シート サイド ガーニッシュ
*クリップ 5 箇所を外し、
引上げて取外す。

①ロア アンカ ボルト
*シートを前方へいっぱい
にずらして外す。

⑦シート ベルト バックル
*シートを外して、取外す。
(14-41頁)

⑥センタ アンカ ナット
7/16-20UNF
トルク 3.3kg-m

クランプ
カブラの接続を外す。



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

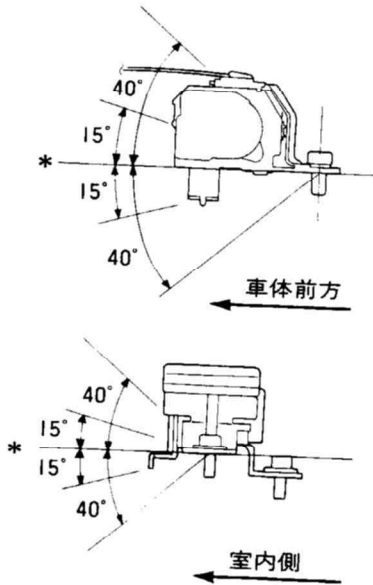
- * リトラクタ単体の点検を行い、正常に機能することを確認する。(14-44頁)
- * ベルトに振れがないことを確認する。

シート ベルト

点検

リトラクタ単体の点検

- ①車両への取付け状態で、ベルトがスムーズに引き出せることを確認する。
 - ②リトラクタを取付け角度より静かに倒したとき、15°以内でロックしないことを確認し、40°以上の角度でロック状態を保持することを確認する。
- 注意** リトラクタは分解しないこと。
*は取付け角度を示す。



- ③以上の点検で不具合のある場合は、シートベルトを交換する。

シートベルト取付け状態での点検

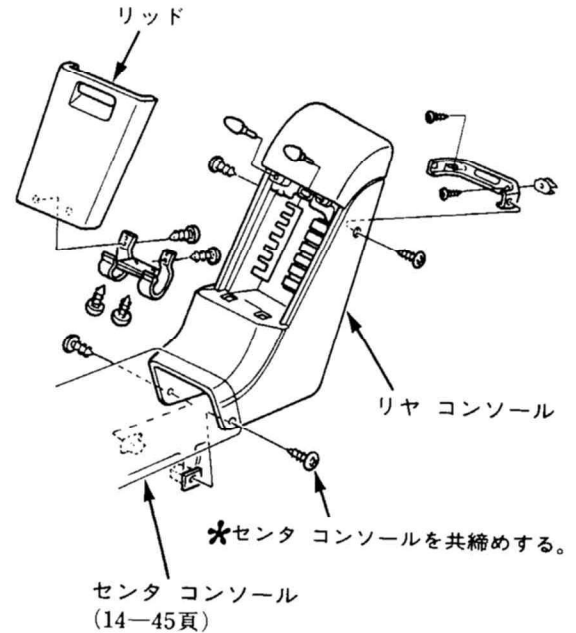
- ①シートベルトがねじれて取付けられていないかを確認する。
- ②各アンカ取付け後、ボルト円周方向に各アンカが動くことを確認する。不具合のある場合は、ボルトを外し、ワッシャ類の取付け順序および損傷を確認する。
- ③シートベルトの汚れ、損傷、色あせなどを点検し、汚れている場合は、ウエスなどで汚れを除去する。
- ④シートベルトをゆっくり引いたときは、ロックしないことを確認し、急激に引いたときは、ロックすることを確認する。
- ⑤シートベルトをゆっくり引いて放したときに、ベルトがリトラクタへ正しく巻き取られることを確認する。
- ⑥以上の点検で不具合のある場合は、シートベルトを交換する。

リヤ コンソール/ドキュメントボックス

交換

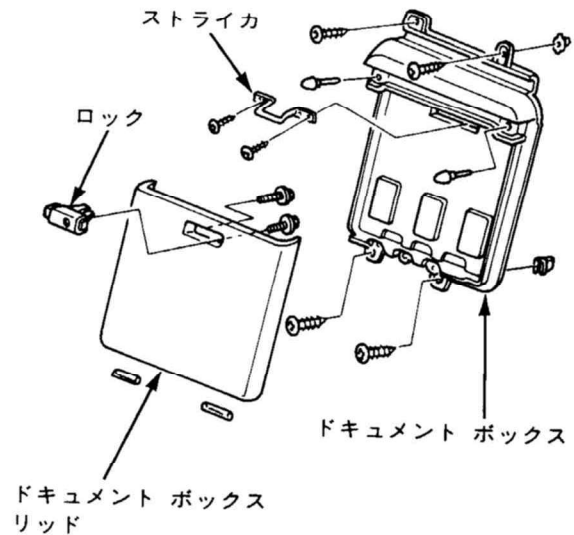
*取外す部品に損傷を与えないように作業すること。

リヤ コンソール:



ドキュメント ボックス:

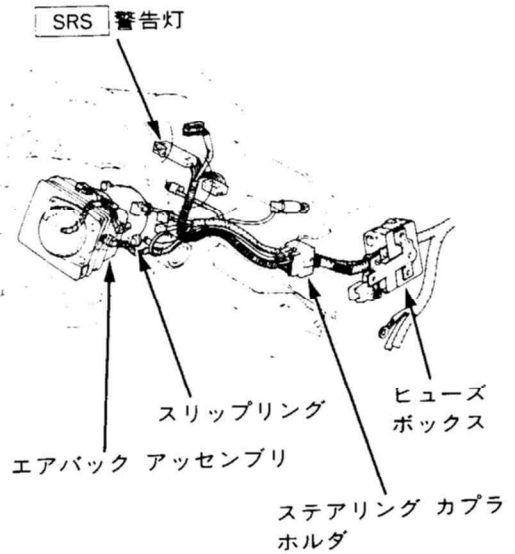
*取外す際、シートを前方へいっぱいにする。



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

注意 (16章参照)

- SRSエアバッグ システム用のワイヤ ハーネスは特
性の黄色の保護チューブが巻かれており、他のシス
テム ハーネスと区別している。
- SRSエアバッグ システムのワイヤ ハーネスに損傷、
切損などが生じた場合、ハンダなどの修理を行って
はならない。必ず新品と交換する。
- ハンドル中央部にはSRSユニット(衝撃感知用セン
サ)、インフレーターなどが取付けられているため、強
い衝撃を与えないよう充分注意すること。



<運転席側>

番号順に取外す。

メータ ブラケット

メータ ブラケット カバー

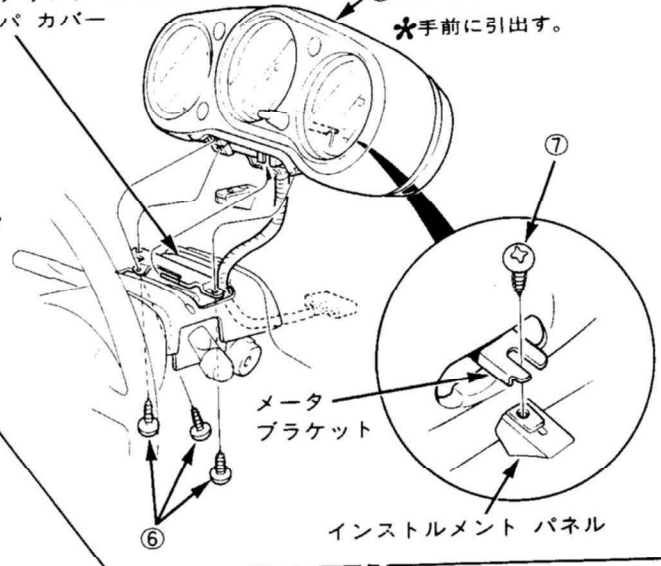
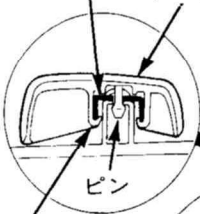
⑤メータ ブラケット カバー

*カバーを引上げてピンとフックを
を外し、前方へ引抜いて取外す。

⑨ステアリング コラム
アッパ カバー

⑧コンビネーション メータ
*手前に引出す。

フック



インストルメント パネル

カプラの接続を外す。

インストルメント ロア カバー

クリップ

カプラの接続を外す。

④ステアリング コラム
ロア カバー

②インストルメント ロア カバー

取付けは、取外しの逆の手順で行う。

*カプラの接続は確実にを行い、取付け後、作動確認を行うこと。

インストルメント パネル

脱着

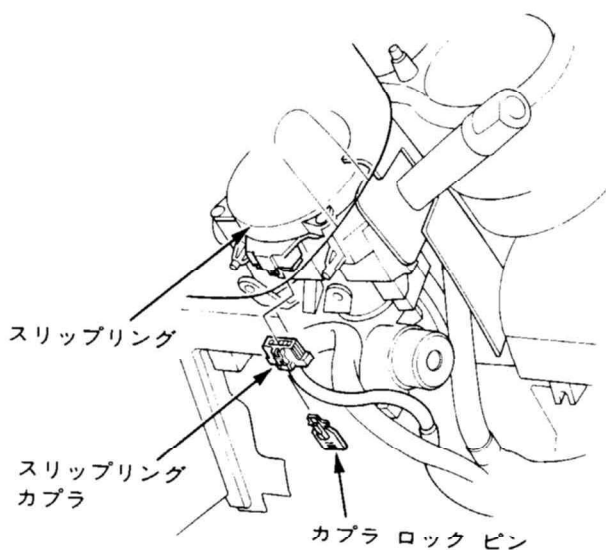
注意 (16章参照)

- ・SRSエアバッグ システム用のワイヤ ハーネスは特性の黄色の保護チューブが巻かれており、他のシステム ハーネスと区別している。
- ・SRSエアバッグ システムのワイヤ ハーネスに損傷、切損などが生じた場合、ハンダなどの修理を行ってはならない。必ず新品と交換する。

ステアリングを下げるにあたって：

注意

- ・イグニッション スイッチをOFFにし、バッテリーからマイナス、プラス ケーブルを取り外し、3分以上経過後作業を開始すること。
 - ・作業時はステアリング ホイール(SRSエアバッグ システム)に強い衝撃を与えないよう、充分注意すること。
 - ・ステアリング ロックがかかった状態にし、ステアリング ホイールが回転しないようにする。
- *スリップリング カブラからカブラ ロックピンを外した後、カブラの接続を外し(16-129頁)、スリップリングとの接続を外す。



注意

- ・作業完了後は、カブラ ロックピンを取付ける必要はない。
- ・作業完了後は、カブラの結合状態確認のため下記内容を必ず確認すること。
 - ・イグニッション スイッチをONし、約6秒後に **SRS** 警告灯が消灯すること。
 - ・イグニッション スイッチをONした状態でSRSユニット内LEDが1回点滅(正常表示)していること。

①下記の部品を取外す。

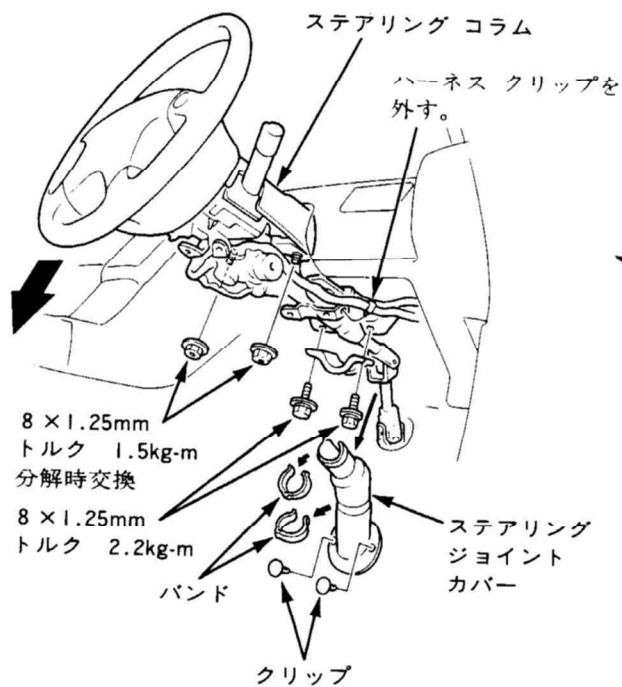
- ・シート (14-41頁)
- ・センタ アウトレット (14-45頁)
- ・センタ コンソール/フロント コンソール (14-45頁)
- ・ヒータ コントロール ユニット (14-46頁)
- ・運転席側インストルメント ロア カバー (14-47頁)
- ・助手席側インストルメント ロア カバー (14-46頁)
- ・ステアリング コラム ロア カバー (14-47頁)
- ・コンビネーション メータ (14-47頁)

- *インストルメント パネルと接触している左右のフロント ビラー下部に傷付き防止用の保護テープを貼る。
- ・インストルメント パネルに損傷を与えないように作業すること。
- ・取外しの際、マイナス ドライバなどを使う場合は、周辺に保護テープやウエスを使用する。また、マイナス ドライバにテープなどを巻き付けて傷付きを防止すること。

②ステアリング コラムを下げる。(11章参照)

注意

- *ステアリング コラムに損傷を与えないように、ウエスなどで包むこと。



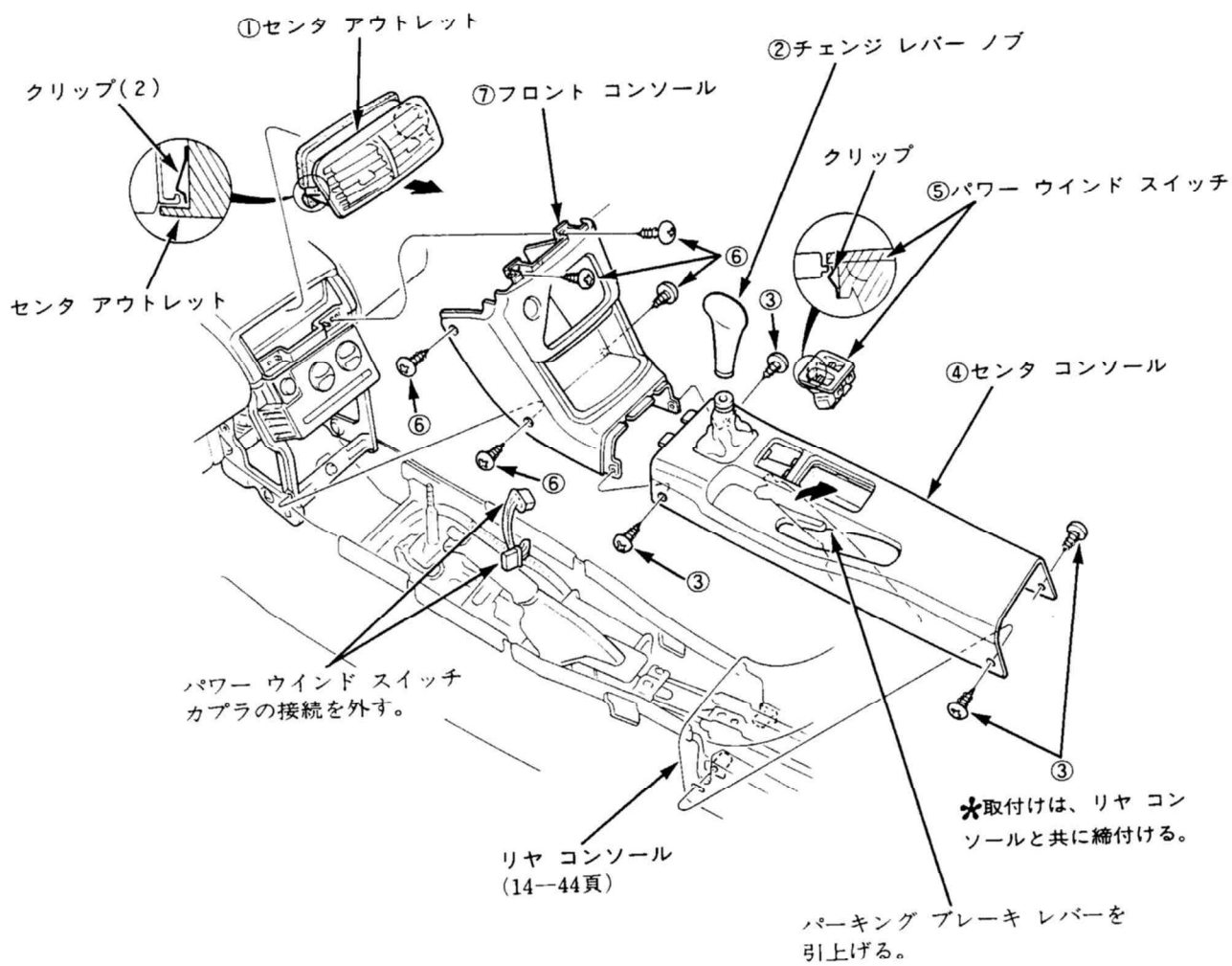
フロント コンソール/センタ コンソール

交換

* インストルメント パネルおよび取外す部品に損傷を与えないよう作業を行うこと。

・取外しの際、マイナス ドライバなどを使う場合は、周辺に保護テープやウエスを使用する。また、マイナス ドライバにテープなどを巻き付けて傷付きを防止すること。

番号順に取外す。



取付けは、取外しの逆の順序で行う。

* パワー ウインド スイッチ カブラは確実に接続し、取付け後、作動確認を行うこと。

インストルメント パネル

構成部品の交換

- * インストルメント パネルおよび取外す部品に損傷を与えないよう作業を行うこと。
- ・ 取外しの際、マイナス ドライバなどを使う場合は、周辺に保護テープやウエスを使用する。また、マイナス ドライバにテープなどを巻き付けて傷付きを防止すること。

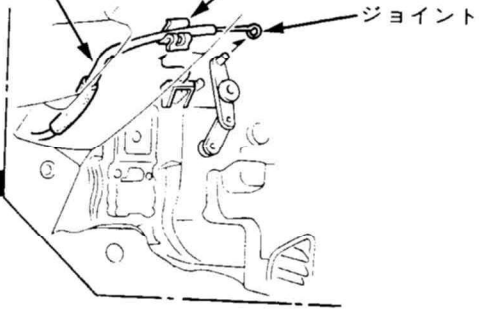
ヒータ コントロール ケーブルの接続を外す。

カブラの接続を外す。

ヒータ コントロール ケーブル

クリップ

ジョイント

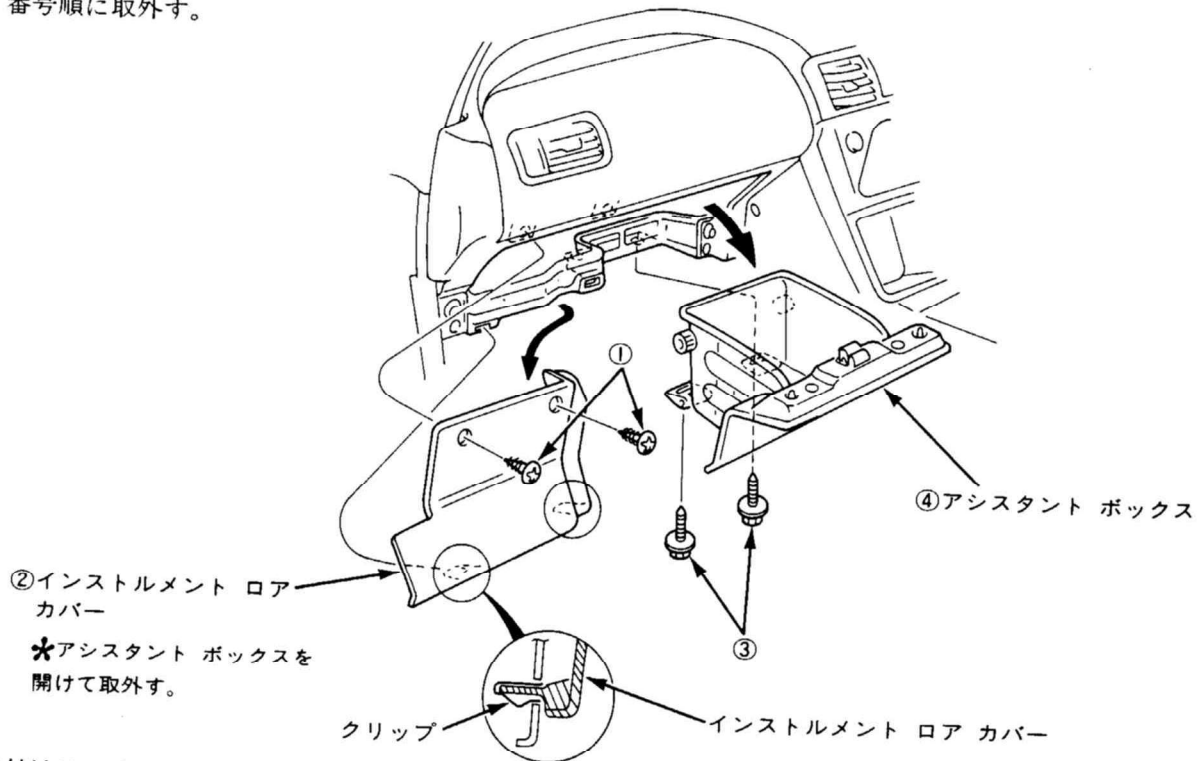


ヒータ コントロール ユニット
センタ コンソールをずらし、フロント
コンソールを取外す。(14-45頁)

- * 取付けの際、カブラおよびヒータ コントロール ケーブルは確実に接続し、取付け後、作動確認を行うこと。

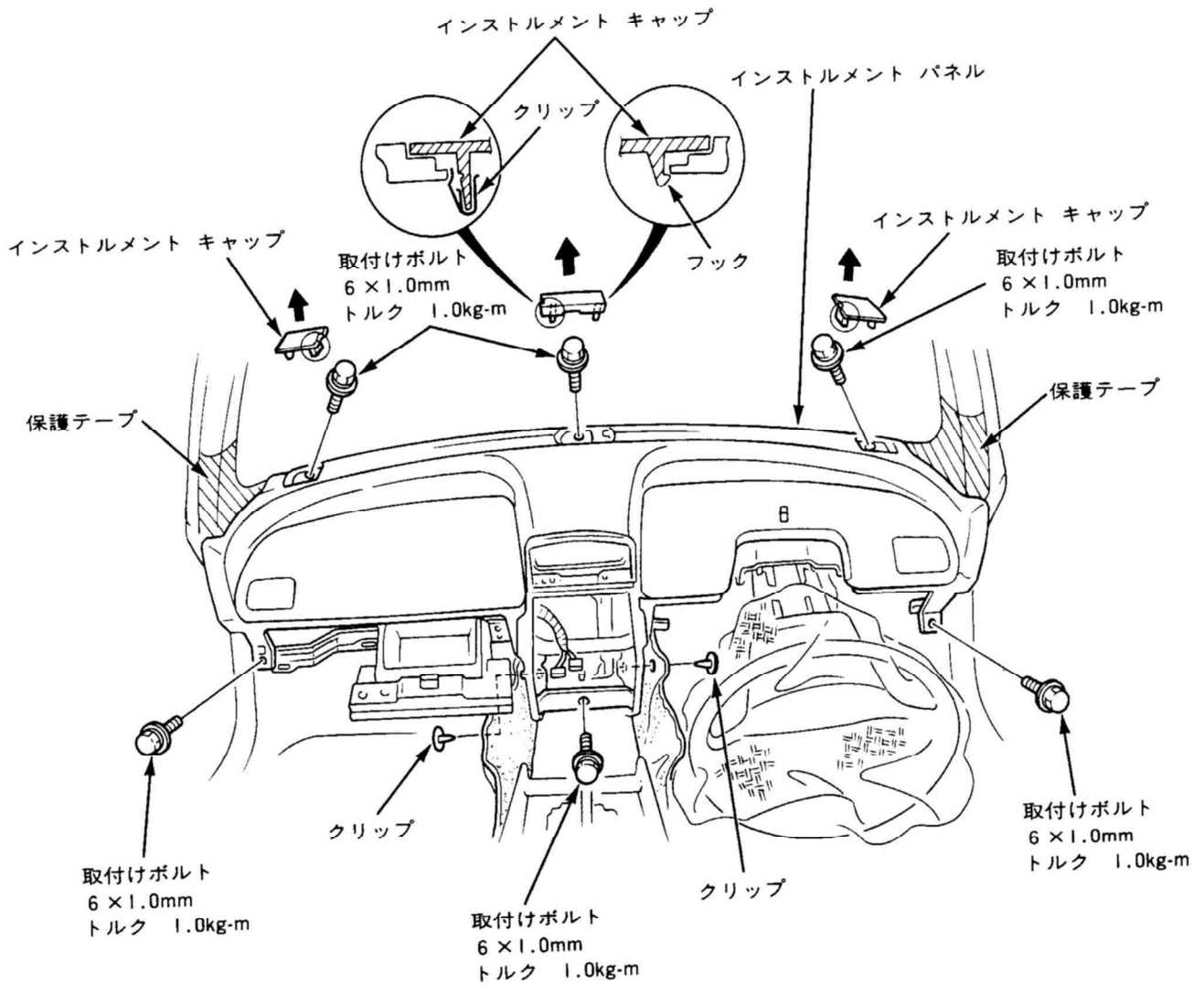
<助手席側>

番号順に取外す。



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

- ③フロア マット固定クリップを外す。
- ④インストルメント キャップを外す。
- ⑤取付けボルト 6本を外し、インストルメント パネルを抱えて少し持ち上げ、注意して取外す。



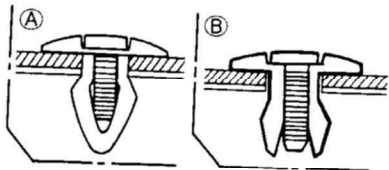
⑥取付けは、取外しの逆の手順で行う。

- * インストルメント パネルをセットし、取付けボルトを締付ける際、インストルメント パネル上側のセンタ ボルトから締付けること。
- ・ インストルメント パネルを固定する前に、ワイヤ ハーネスなどの噛込みがないか確認すること。またヒータ コントロール ユニット取付け後、ヒータの作動に支障がないか点検する。

バンパ

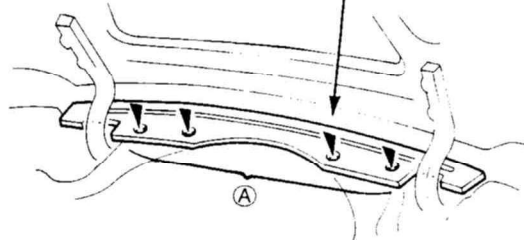
脱着

▶: クリップ位置



- * バンパ フェイスに損傷を与えないこと。
- ・ クリップを外す際、スクリュをゆるめた後、クリップ リム一バを使用して取外す。
- ・ 必要があればインナ フェンダも交換する。

ボンネットを開けて外す。

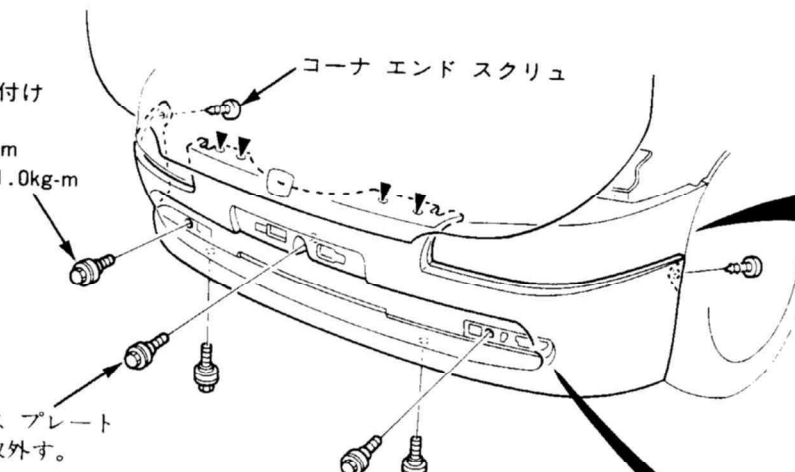


フロント バンパ:

バンパ取付け
ボルト
6 × 1.0mm
トルク 1.0kg-m

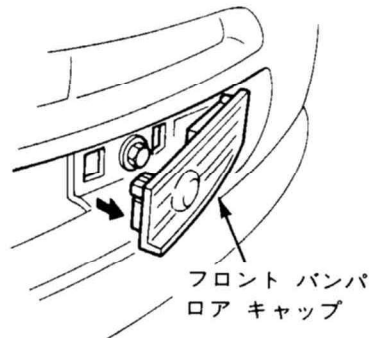
ライセンス プレート
を外して取外す。

コーナ エンド スクリュ



フロント バンパ

* 下側のキャップを取外す。



フロント バンパ
ロア キャップ

リヤ バンパ:

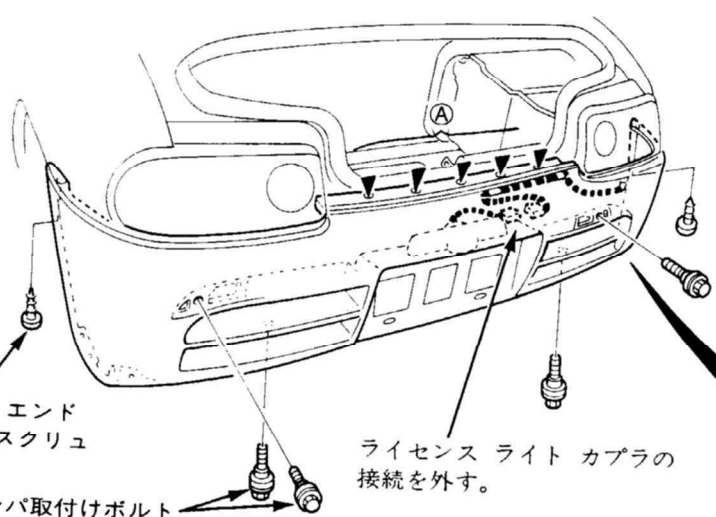
コーナ エンド
取付けスクリュ

バンパ取付けボルト
6 × 1.0mm
トルク 1.0kg-m

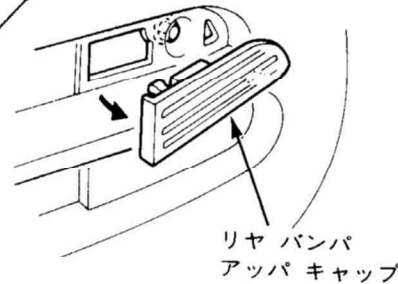
ライセンス ライト カブラの
接続を外す。

取付けは、取外しの逆の手順で行う。

* リヤ バンパ取付けの際、ライセンス ライト カブラの接続を確実にすること。



* 上側のキャップを取外す。

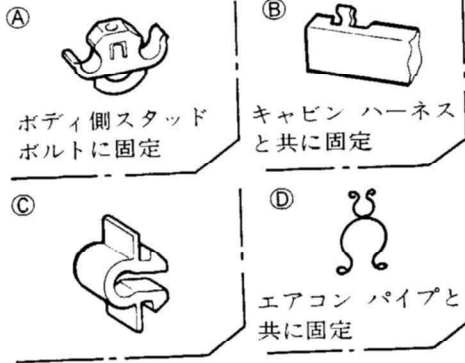


リヤ バンパ
アッパ キャップ

ボンネット/オープナとロック

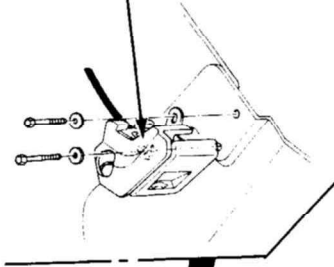
交換

▶ : クリップ位置



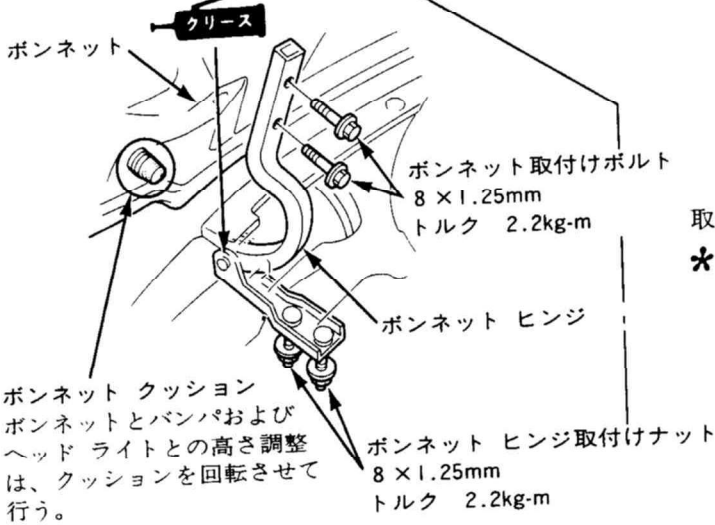
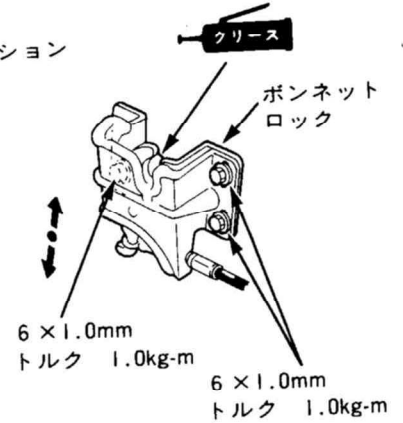
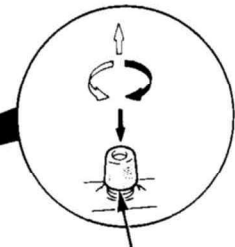
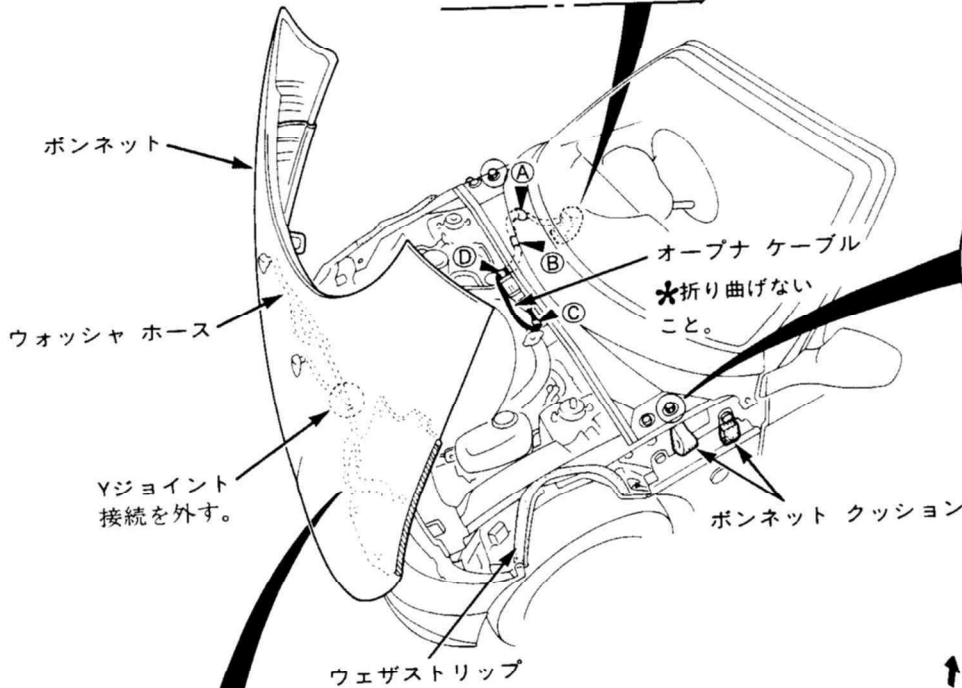
オープナ ノブ

* 取付ける際、サイドカウルガーニッシュと共に締める。
(14-39頁)



ボンネット位置調整

- ・ウインド側の調整は、ボンネットロックの長穴を利用して行う。
- ・ウインド側左右先端部の高さ調整は、ボンネットクッションを回転して行う。
- ・前後左右方向の調整は、ヒンジの長穴を利用して行う。



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

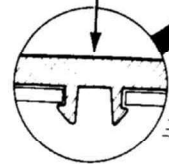
- * オープナケーブルが確実に固定されているか確認すること。
- ・ボンネット取付け後、位置調整を行うこと。
- ・オープナがスムーズに作動し、ボンネットが確実にロックすることを確認する。

トランク リッド

交換

ヒンジ カバー

★フックを折らないこと。



ヒンジ カバーを
取外す。



ヒンジ取付けボルト
6 × 1.0mm
トルク 1.0kg-m

ヒンジ

トランク リッド位置調整

- ・トランク リッドの閉り具合の調整は、ストライカの長穴を利用して行う。
- ・トランク リッドの左右の高さ調整は、シムとトランク リッド クッションを回転して行う。
- ・前後左右方向の調整は、ヒンジの長穴を利用して行う。

トランク リッド取付け
ボルト 6 × 1.0mm
トルク

シム

ハイ マウント ストップ ライト
カプラの接続を外す。

トランク リッド ロック
(14-53頁)

クッション

クッション

トランク リッド
クッション

トランク リッド



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

- ★トランク リッド取付け後、位置調整を行うこと。
- ・トランク リッドが確実にロックすることを確認する。
- ・ヒンジ摺動部にグリースを塗布する。



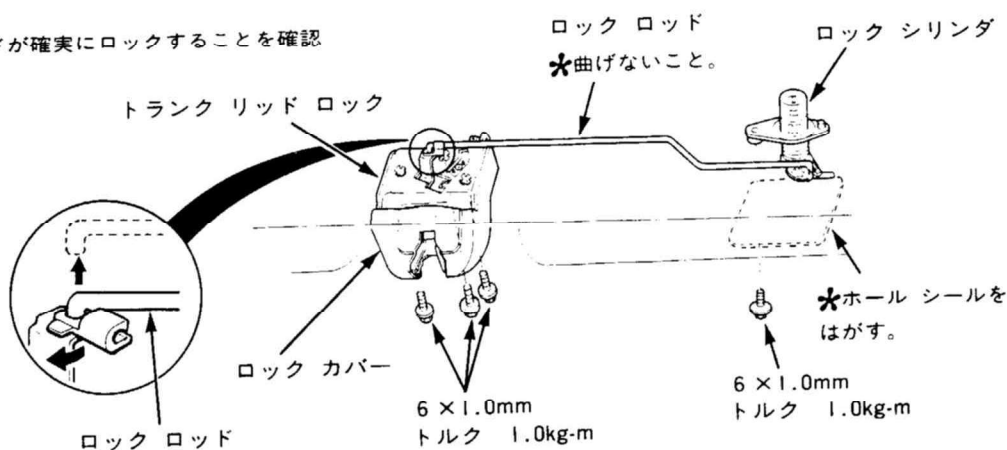
ストライカ

ストライカ取付けボルト
6 × 1.0mm
トルク 1.0kg-m

トランク リッド/フューエル リッド ロック

トランク リッド ロックの交換

- * ロッドを曲げないこと。
- ・取付け後、トランク リッドが確実にロックすることを確認する。



フューエル リッド/オープナとロックの交換

注意 火気厳禁

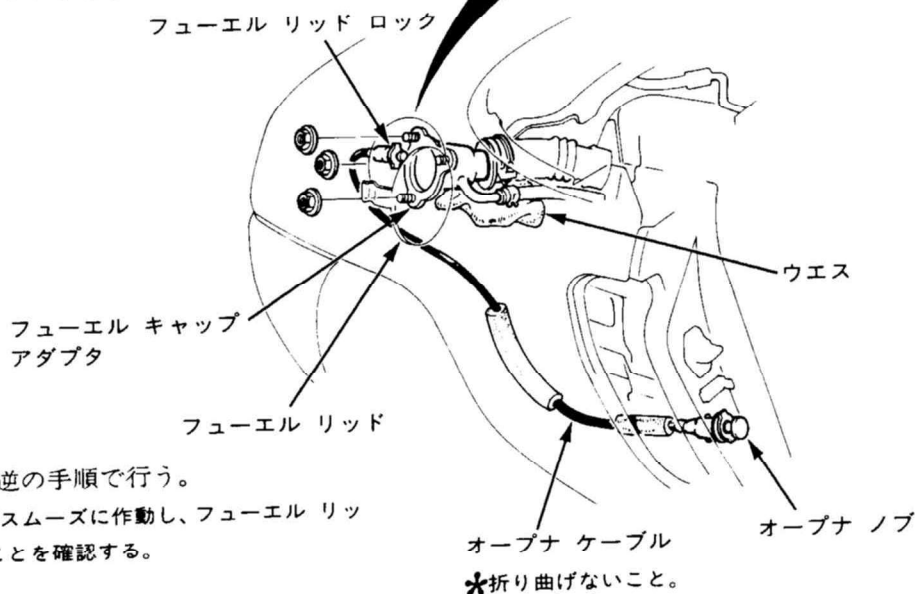
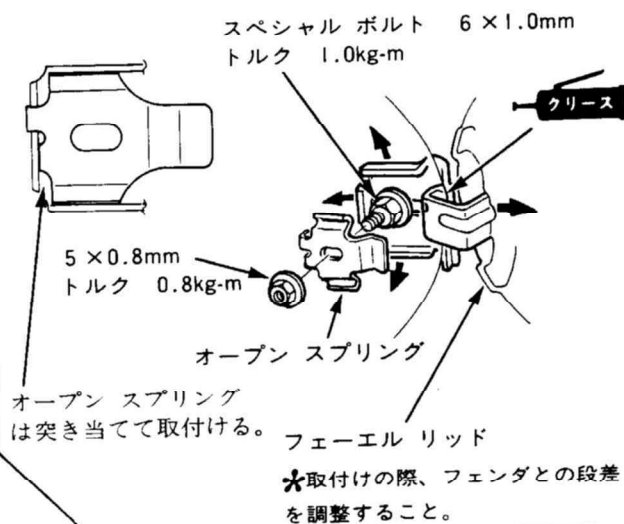
- ① R.シート ベルト ベースを取外す。(14-59頁)
- ② エア インレットを取外す。(14-58頁)
- ③ ホース バンドとナットを外し、フューエル キャップ アダプタを取外す。

注意 ソフト トップ クロスにガソリンを付着させないこと。

- ④ フューエル オープナ ノブとロックを90°回転させて外し、リヤ フェンダの内側からオープナ ケーブルを引き出す。

* オープナ ケーブルを折り曲げないこと。

- ⑤ ナットとスペシャル ボルトを外し、オープン スプリングとフューエル リッドを取外す。



- ⑥ 取付けは、取外しの逆の手順で行う。

* 取付け後、オープナがスムーズに作動し、フューエル リッドが確実にロックすることを確認する。

エクステリア フィルム (ウインド アップ/フロント ピラー)

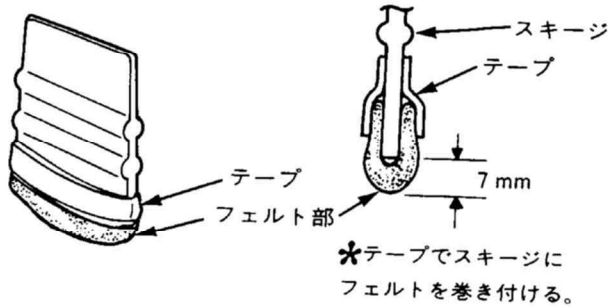
交換

注意

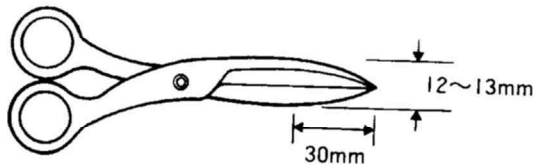
- ・仕上げ清掃などの際に、コンパウンド入りのワックスは使用しないこと。
- ・フィルムを直接加熱(80°C以上)しないこと。
- ・貼付け作業は、ほこりなどが無い低温度な所で行うこと。
- ・貼付け面の温度は16°C~30°Cで作業すること。

①下記の物を用意する。

- ・プラスチック スキージとフェルト(圧着用)

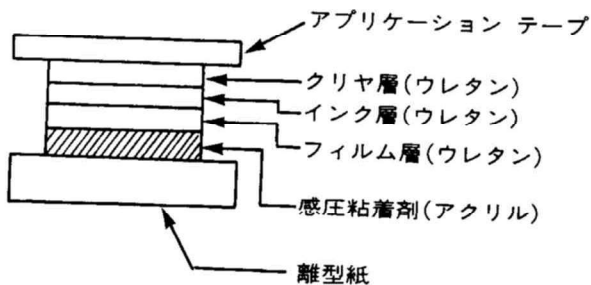


- ・ハサミ(フィルム カット用)



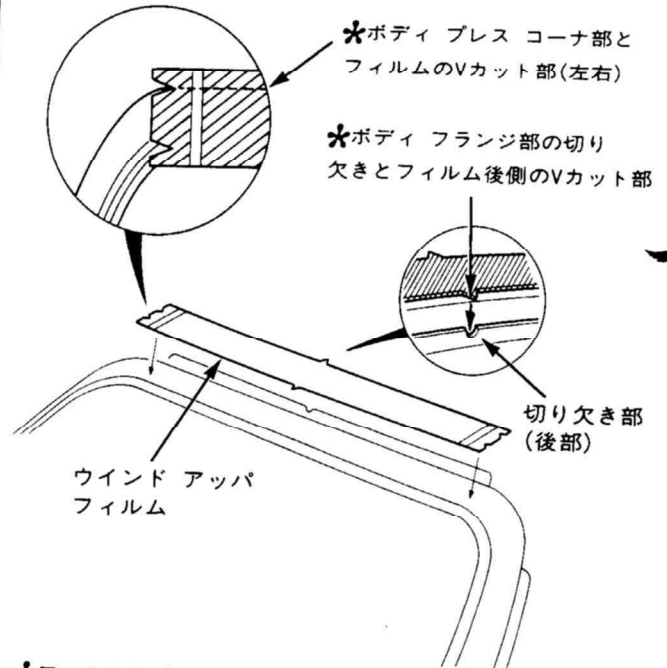
- ・アルコールまたは白ガソリン(脱脂、清浄用)とウエスなど

<エクステリア フィルムの構造>



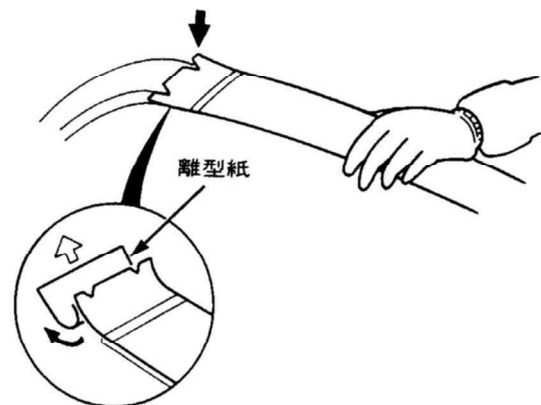
<ウインド アップ フィルム>

- ① ウェザストリップ (14-37頁)とカウル トップ (14-38頁)を取外す。
- ② 古いエクステリア フィルムをはがし、接着剤を完全に取り除く。
- ③ 貼付け面を清浄し、アルコールまたは白ガソリンで完全に脱脂する。
- ④ ウインド アップ フィルムの貼付け位置を確認する。



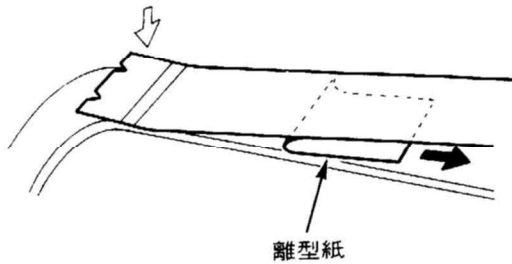
- *フィルムとボディ側の平行度を確認すること。

- ⑤ 貼付け位置がずれないように手で押え、端部の離型紙をはがして圧着する。



⑥片方を持ち上げ、残りの離型紙をはがす。

注意 離型紙をはがす際は、フィルムがしわにならないように保ち、離型紙をフィルムに対して、なるべく平行にはがすこと。

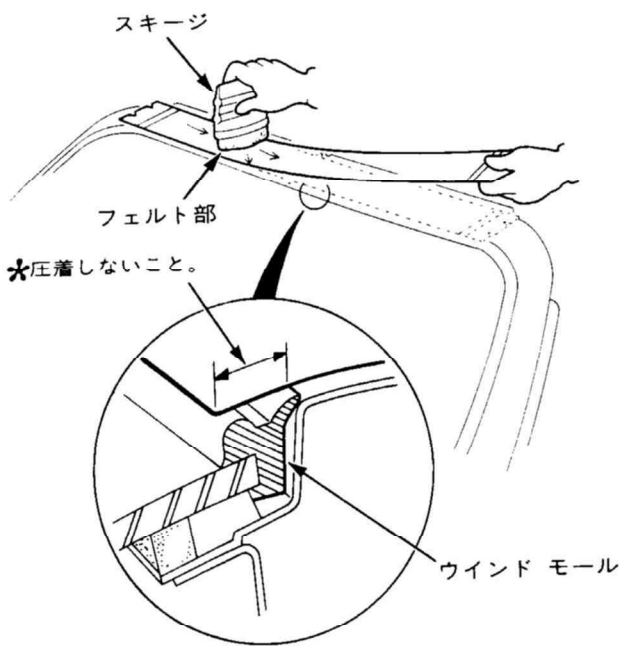


⑦アプリケーション テープの端部を持ち、空気を完全に追い出しながら、スキージのフェルト部で強く圧着する。

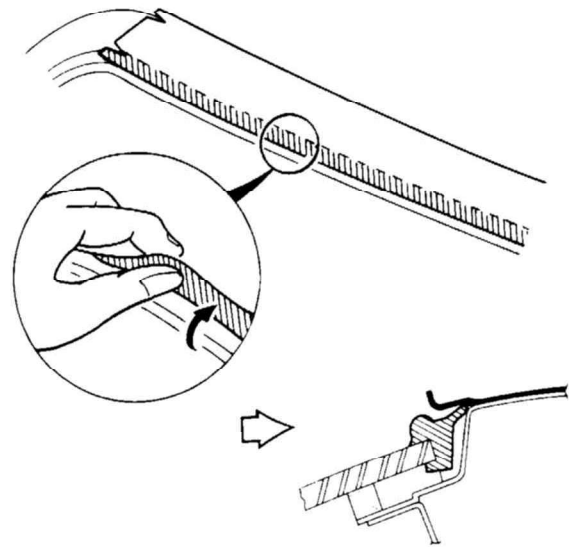
注意 ウインド モールにかさなった部分は圧着しないこと。

*****平行度を確認しながら行う。

注意 圧着後、エア噛み部に針などでエア抜きを行うことはできない。また、エア噛みをした場合は、1度はがし再度作業を行うこと。

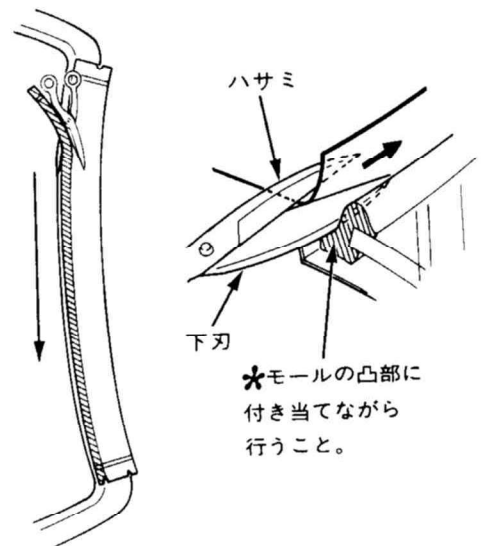


⑧圧着が完了した後、フィルムのウインド モールにかさなった部分(圧着していない所)をめくり上げる。



⑨めくり上げたウインド アップ フィルムをハサミの先端を使用し図のようにカットする。

*****カットする時は、ハサミの下刃をモールに当て、できるだけボディと平行にし、2~3mm残してカットすること。



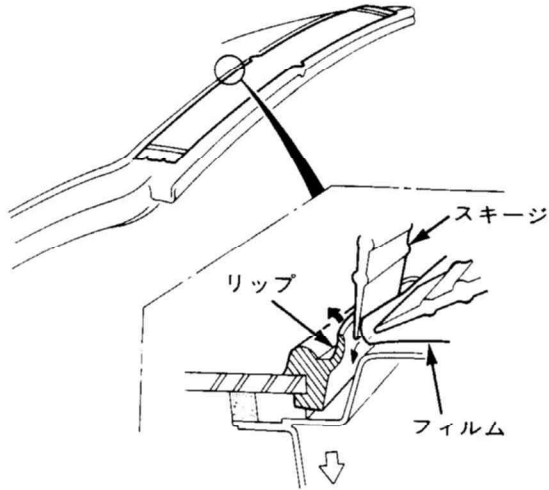
注意 ハサミは運転席側から助手席側に移動させること。

エクステリア フィルム (ウインド アップ/フロント ピラー)

交換

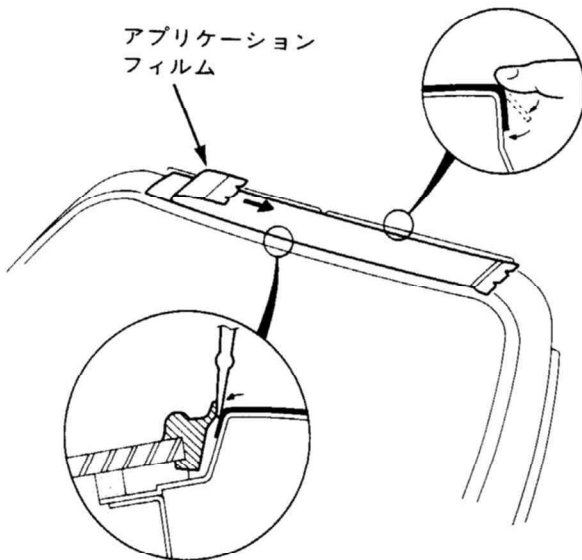
⑩圧着が完了した後、ウインド モールのリップ部分をめくりながら、スキージでフィルムをリップの下に押し込み、圧着する。

注意 ウインド モールやフィルムに傷を付けないように行うこと。



⑪アプリケーション テープをはがす。

注意 アプリケーション テープをはがす際は、ボディ面に対してなるべく平行にはがすこと。フィルムの後ろをプレス コーナ部から徐々に圧着する。ウインド モール部をスキージのエッジで圧着する。

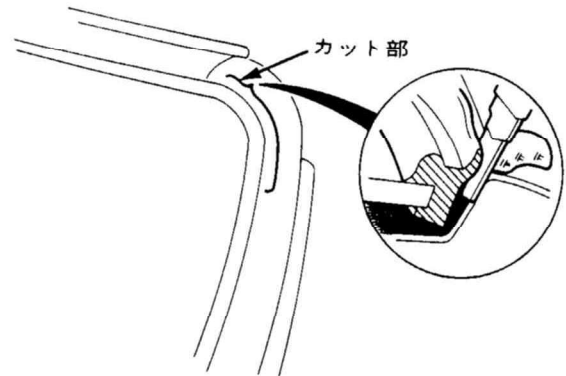


<フロント ピラー フィルム>

⑫貼付け面を清浄し、アルコールまたは白ガソリンで完全に脱脂する。

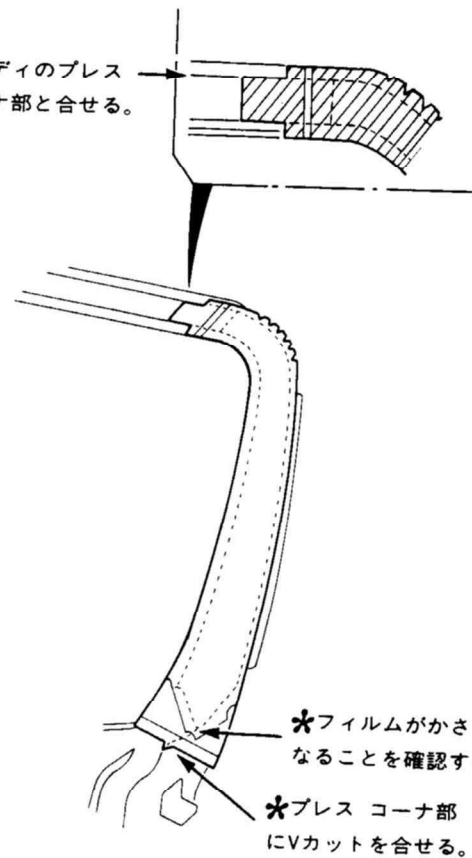
⑬ウインド モール コーナ部のリップをめくり、ガラス接着剤がモールのリップ部分に固着しているか確認する。

*固着している場合はカッタ ナイフなどで接着剤をカットする。



⑭フロント ピラー フィルム貼付け位置を確認する。

*ボディのプレス コーナ部と合せる。



*フィルムがかさなることを確認する。

*プレス コーナ部にVカットを合せる。

⑮離型紙をはがし上端部から圧着する。

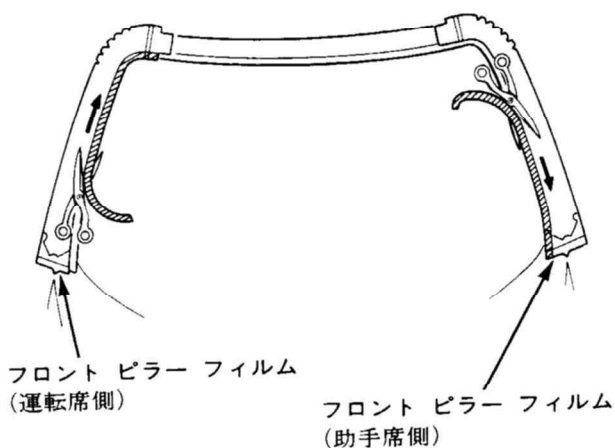
＊フロントピラーの流れに沿って圧着し、外側巻き込み部は8～10mm位を目安とする。

注意 ウインドモールにかさなった部分は圧着しないこと。



⑯圧着が完了した後、ウインドアップフィルムと同じようにフィルムをめくり上げ、ハサミでウインドモールにかさなった部分をカットする。

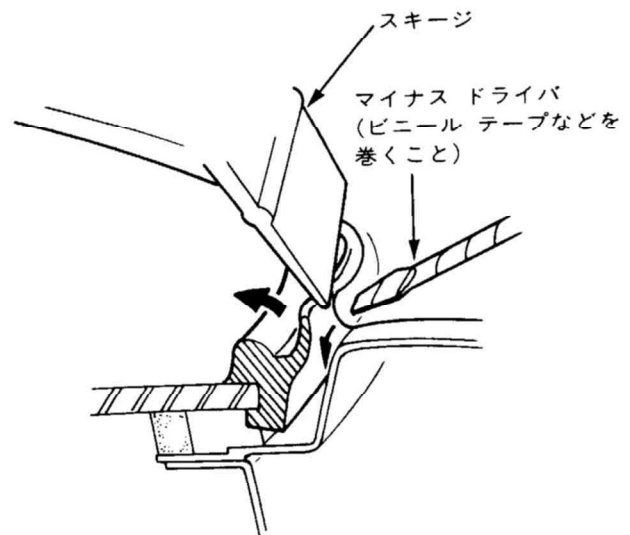
注意 カットする時、運転席側は下から上へ、助手席側は上から下にハサミを移動すること。



⑰ウインドモール部をウインドアップフィルムと同じようにモールのリップ下に押し込み圧着する。

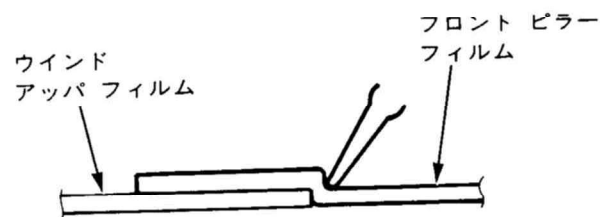
注意 コーナ部を押し込む時は、スキーの角やマイナスドライバなどで少しずつ押し込み、エア噛みやしわなどがないように行うこと。

＊マイナスドライバを使用する時は、必ずテープを巻き、外傷を付けないように行うこと。



⑱アプリケーションテープをはがし、プレスコーナ部とモール部をウインドアップフィルムと同じように圧着する。

＊ウインドアップフィルムとの段差部をスキーのエッジで強く圧着すること。



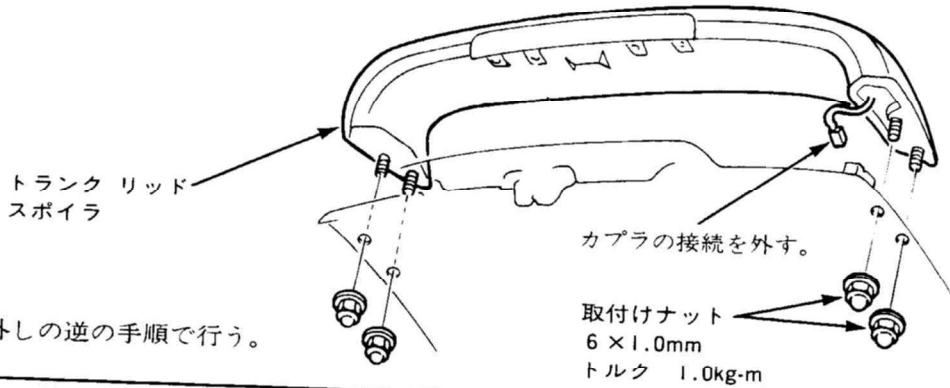
⑲取外した部品を組立てる。

注意 フィルム貼付け後、ウインドモールのリップにゆがみ、なみうちなどがあり元にもどらない場合は、ウインドガラスを外してモールを交換する。(14-21頁)

トランク リッド スポイラ/エア インレット/エンブレム

トランク リッド スポイラの交換

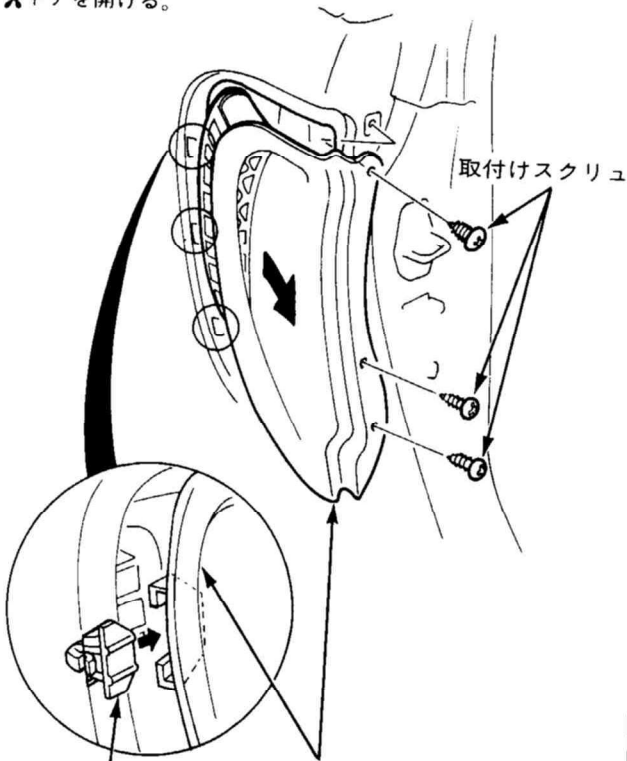
*トランク リッドの塗装面に傷を付けないこと。



取付けは、取外しの逆の手順で行う。

エア インレットの交換

*ドアを開ける。




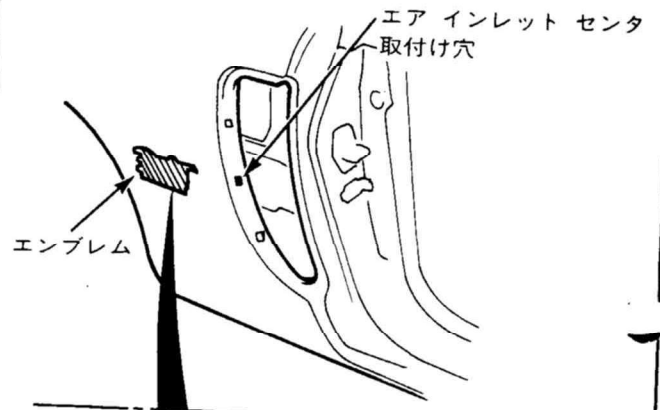
エア インレット
取付けスクリューを外し、エア
インレットを車体前方へスライド
させながらクリップの接続を外し
て取外す。

取付けは、取外しの逆の手順で行う。

- * 取付ける前に、クリップの損傷を点検し、必要ならば交換する。
- ・先にクリップをエア インレットにセットした後、取付ける。

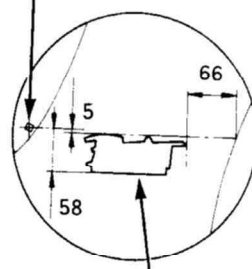
エンブレムの貼付け

- ①エア インレットを取外す。
- ②エア インレット センタ取付け穴を基準に、の寸法位置をマス킹 テープでマーキングする。
- ③貼付け位置をアルコールなどで完全に脱脂する。
*脱脂後、汚れ、油脂、水分などを付着させないこと。付着した場合は再度脱脂すること。
- ④マーキングに合わせて、浮きやしわがないようにエンブレムを貼付け、マス킹 テープをはがす。



左側:

エア インレット センタ
取付け穴

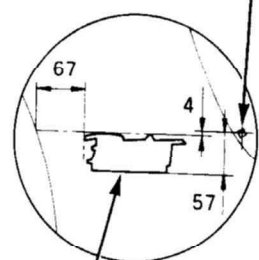


エンブレム

右側:

単位: mm

エア インレット センタ
取付け穴



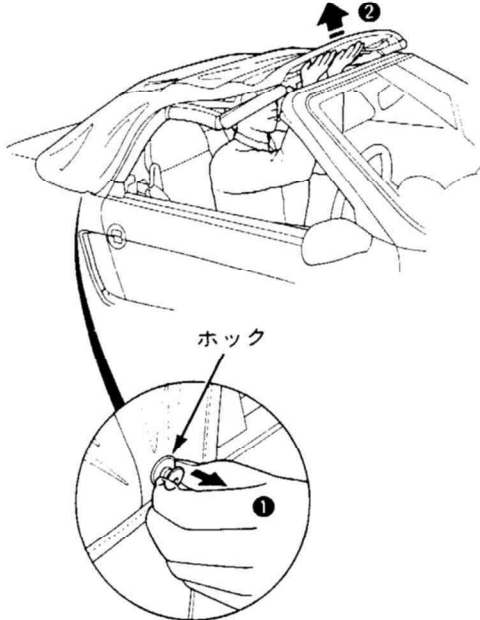
エンブレム

R/Lシート ベルト ベース

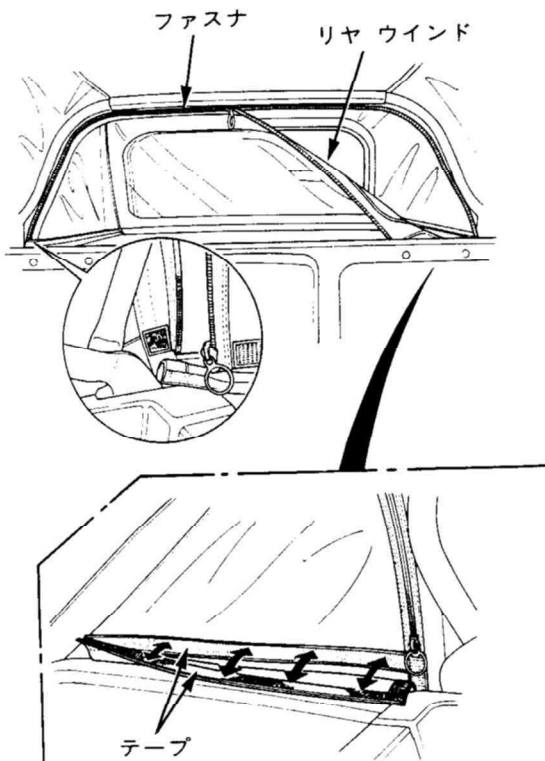
脱着

★作業前にソフト トップ作業上の注意を参照すること。(14-27頁)

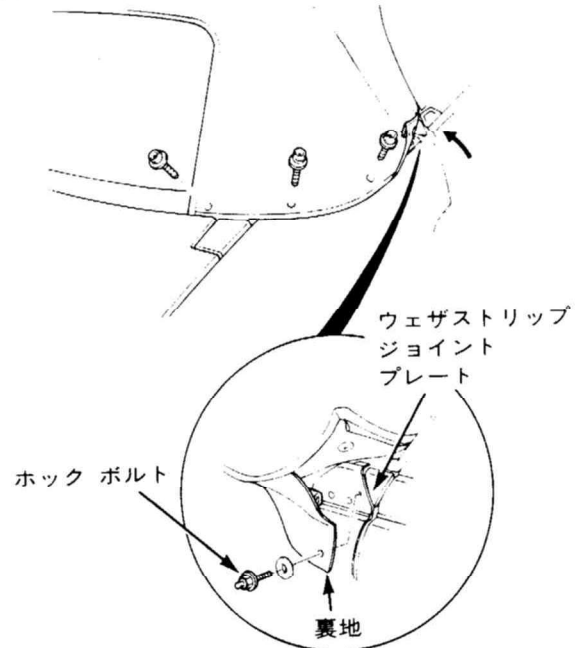
- ①左右のホックを外す。
- ②ドア ガラスを全開にする。
- ③サンバイザを下げロックを解除し、ソフト トップを少し開け全体にたるみを持たせる。



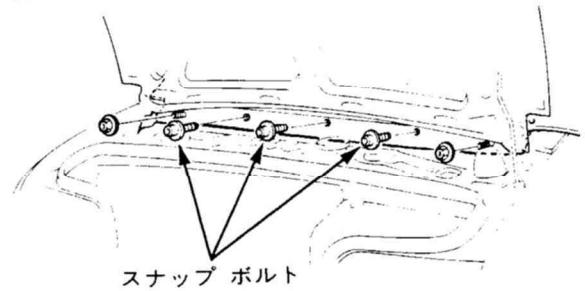
- ④リヤ ウインドのファスナと左右下側のテープを外す。



- ⑤両サイドのスナップ ボルト 6本を外す。
- ⑥ソフト トップ クロスをめぐり、ホック ボルトを外す。

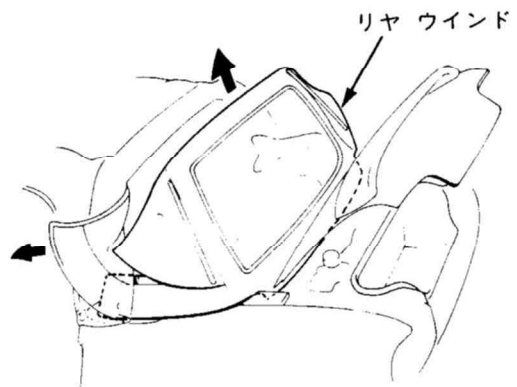


- ⑦トランク リッドを開き、ステイを確実にセットして、左右のナットとスナップ ボルト 3本を取外す。



- ⑧リヤ ウインドをトランク側へ出し、ボディから取外す。

注意 リヤ ウインドに傷や折り目を付けないこと。



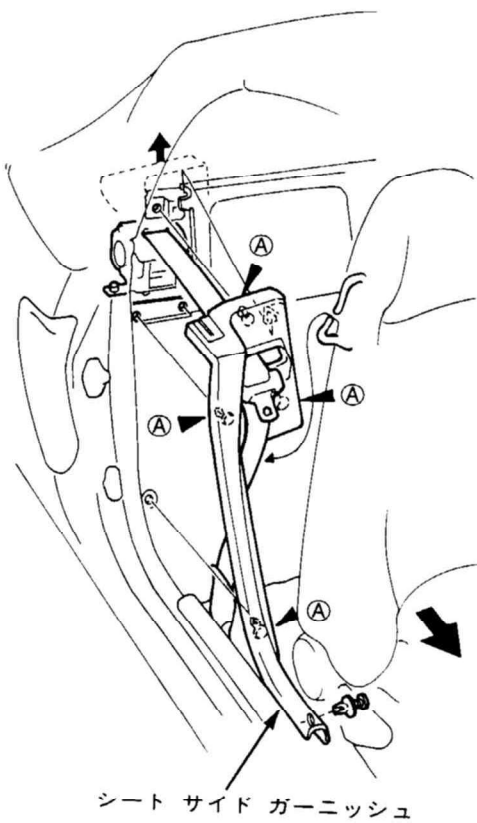
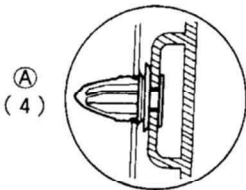
R/Lシート ベルト ベース

脱着

- ⑨シートを前方へいっぱいにはずらす。
- ⑩シート ベルトを引き出し、たるませてシート サイド ガーニッシュのクリップを外す。
- ⑪シート ベルトをいっぱい引き出し、シート サイド ガーニッシュを引き上げて外す。
- ⑫シート サイド ガーニッシュをシートの上に置く。

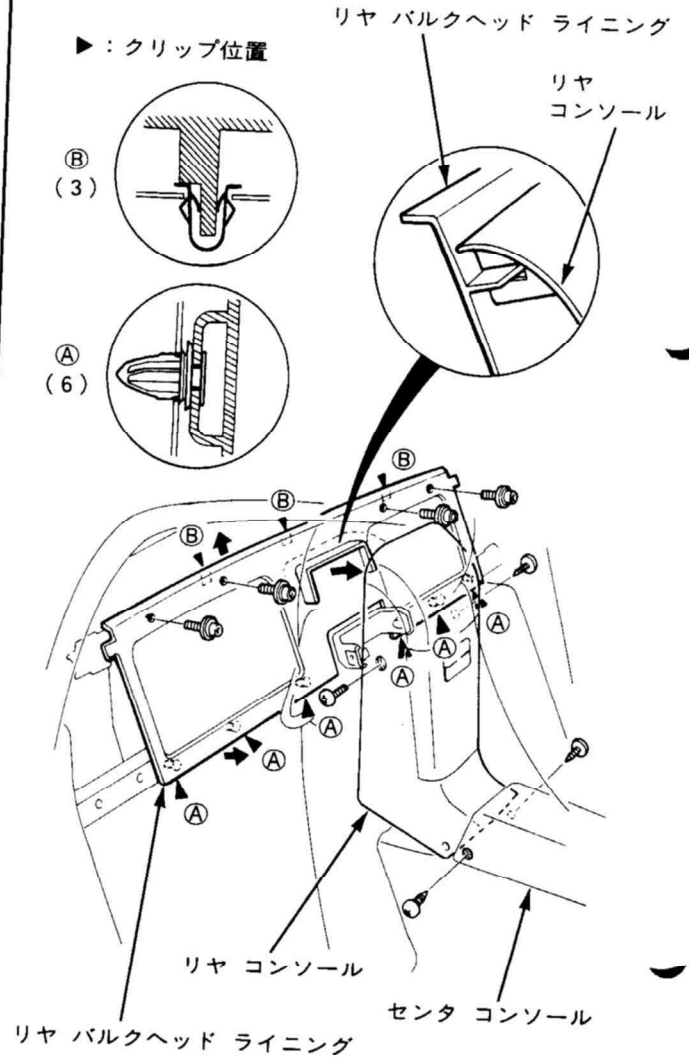
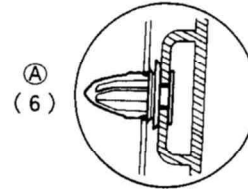
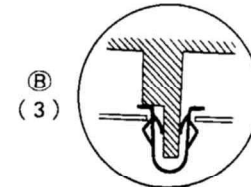
注意 取付けの際は、シート ベルトのねじれがないか確認してガーニッシュを取付ける。

▶：クリップ位置



- ⑬スクリュ4本を外し、リヤ コンソールを外す。
- ⑭クリップを外し、引き上げてリヤ バルクヘッド ライニングを取外す。

▶：クリップ位置

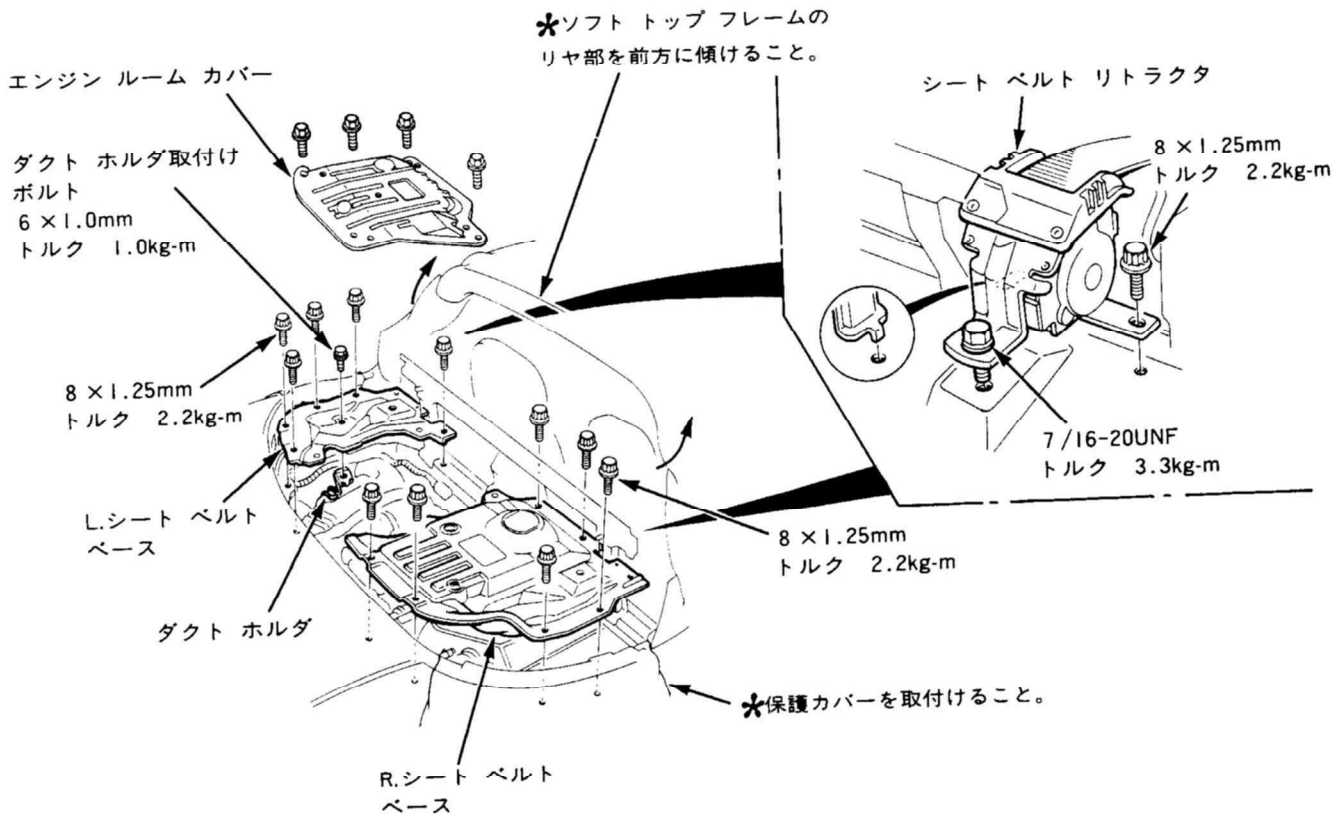
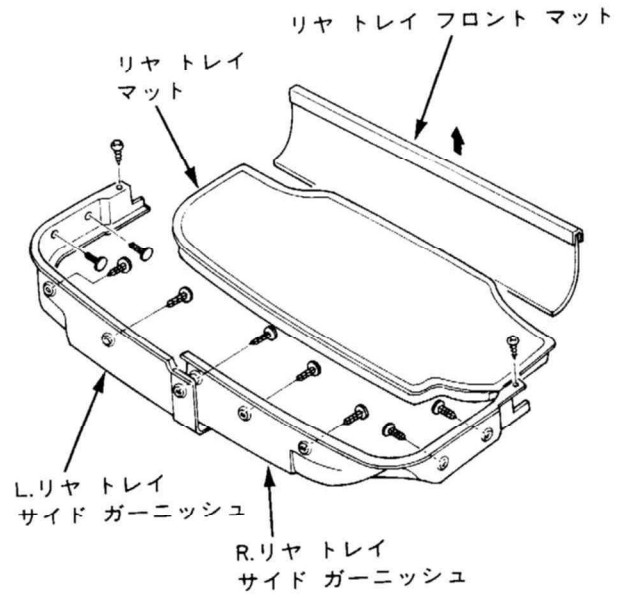


- ⑮ボディに外傷を付けないよう保護カバーを取付ける。
- ⑯リヤトレイ マットを外す。
- ⑰エンジン ルーム カバーを外す。
- ⑱クリップとスクリュを外し、左右のサイド ガーニッシュを外す。
- ⑲シート ベルト リトラクタを外す。

*****損傷を与えないようにして、シート サイド ガーニッシュと共にシートの上に置くこと。

- ⑳ソフト トップ クロスをめくる。
- ㉑取付けボルトを外し、左右のシート ベルト ベースを外す。

注意 シート ベルト ベースの脱着やその他関連作業を行う際は、ソフト トップ クロスにガソリン、オイル、グリース、冷却水などを付着させないこと。



- ㉒取付けは、取外しの逆手順で行うが次の点に注意すること。
- ・シート ベルト ベースおよびシート ベルト リトラクタ取付けボルトは、ソケットを真上から差し込み確実にトルク管理をすること。

注意 シート ベルトをねじったまま取付けないこと。

サブ フレーム

締付けトルク：

